

ベトナム国
北西部水源地域における
持続可能な森林管理プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成 26 年 2 月
(2014 年)

独立行政法人国際協力機構
地球環境部

環境
J R
14-030

ベトナム国
北西部水源地域における
持続可能な森林管理プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成 26 年 2 月
(2014 年)

独立行政法人国際協力機構
地球環境部

目 次

プロジェクト位置図
写真
略語表
評価調査結果要約表

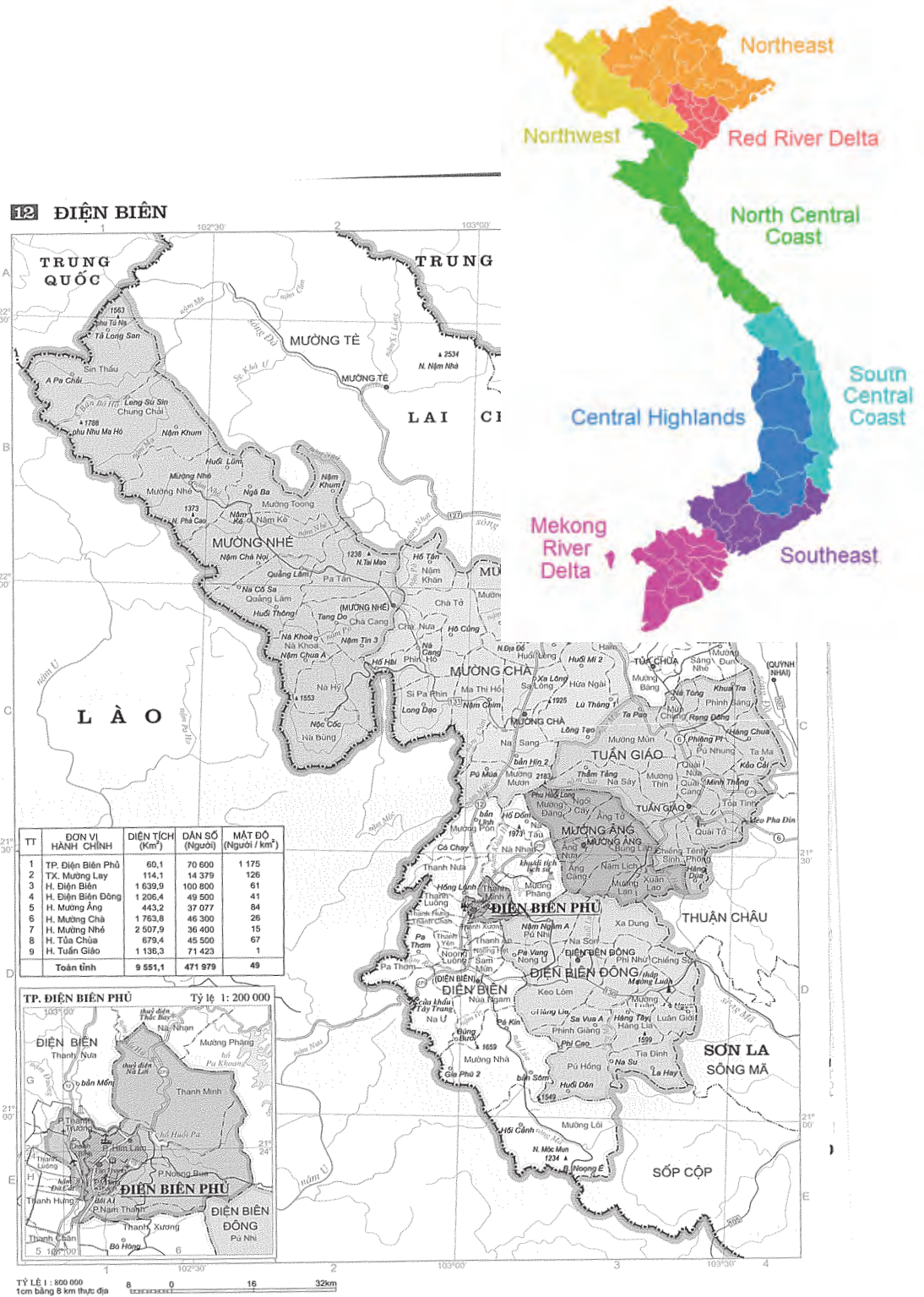
第1章 中間レビュー調査の概要.....	1
1-1 調査背景.....	1
1-1-1 プロジェクト実施背景（記載情報は案件要請時のもの）.....	1
1-1-2 「ディエンビエン省 REDD+パイロットプロジェクト」の成果の SUSFORM-NOW への統合.....	2
1-2 調査目的.....	3
1-3 調査団構成.....	4
1-3-1 JICA 側.....	4
1-3-2 ベトナム側.....	4
1-4 調査期間.....	5
第2章 中間レビューの方法.....	6
2-1 調査の流れ.....	6
2-2 調査項目.....	6
2-2-1 プロジェクトの実績の確認.....	6
2-2-2 実施プロセスの検証.....	6
2-2-3 評価項目ごとの分析.....	6
2-3 データ収集・分析手法.....	7
第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス.....	8
3-1 投入実績.....	8
3-1-1 日本側の投入.....	8
3-1-2 ベトナム側の投入.....	9
3-2 アウトプットの実績.....	10
3-2-1 アウトプット1の実績.....	10
3-2-2 アウトプット2の実績.....	11
3-2-3 アウトプット3の実績.....	13
3-3 プロジェクト目標の達成度.....	14
3-4 実施プロセスにおける特記事項.....	16
3-4-1 活動実施工程の修正.....	16
3-4-2 モニタリング及び意思疎通の仕組み（システム）.....	16
3-4-3 プロジェクト活動の情報及び成果の整理・分類.....	16

第4章 評価結果	18
4-1 妥当性	18
4-1-1 ベトナムの開発計画及び林業政策との適合性	18
4-1-2 ベトナムに対するわが国の ODA 政策との整合性	18
4-1-3 ターゲット・グループのニーズへの適合性	19
4-1-4 プロジェクト周辺の環境の変化	19
4-2 有効性	19
4-2-1 プロジェクト目標の達成見込み	19
4-2-2 有効性に係る促進・阻害要因	20
4-2-3 アウトプットからプロジェクト目標に至るまでの外部条件の変化や影響	20
4-3 効率性	20
4-3-1 投入	20
4-3-2 効率性に係る促進・阻害要因	21
4-3-3 プロジェクトの運営・管理の適切性	21
4-3-4 他の JICA 案件との連携や援助機関等の協力による成果	21
4-3-5 活動からアウトプットに至るまでの外部条件の変化や影響	22
4-4 インパクト	22
4-4-1 上位目標達成の見込み	22
4-4-2 プロジェクト実施の効果及び予期しない影響	23
4-5 持続性	23
4-5-1 政策的持続性	23
4-5-2 組織体制的持続性	23
4-5-3 技術的持続性	24
4-5-4 財政的持続性	24
第5章 結論	25
第6章 提言	26
6-1 プロジェクトに対する提言	26
6-1-1 活動オプションの再考	26
6-1-2 モニタリングシステムの改善	26
6-1-3 活動実施アプローチの改善	26
6-1-4 成功事例の収集・整理及び普及・啓もう	26
6-1-5 技術資料の共有	26
6-1-6 PDM の修正	27
6-2 ベトナム側に対する提言	27
6-2-1 C/P 予算の支出	27

6-2-2	実施機関の関与及び意識の向上.....	27
6-2-3	職務環境改善への支援	27
第7章	PDM・PO の修正.....	28
7-1	REDD+パイロットプロジェクト概要	28
7-2	PDM・PO 修正に係る特記事項.....	28
7-2-1	省 REDD+制度の構築	28
7-2-2	SUSFORM-NOW の手法等の REDD+活動への活用.....	28
7-3	PDM の修正	29
7-4	PO の修正	32
第8章	団長所感	33
8-1	森林管理と生計向上が両立するアプローチ仮説・オプションの有効性.....	33
8-2	NRAP の促進への貢献.....	33
8-3	中央政府機関（VNFOREST）の巻き込み強化.....	34
8-4	「気候変動対策の森林分野における潜在的適地選定調査（開発調査）」によって得られたデータの有効活用.....	34
8-5	職務環境の改善	35
8-6	今後のベトナムの森林・自然環境分野に対する支援について	35
付属資料：		
1.	合同評価報告書（英文）	39
2.	協議議事録（M/M）	105

地図

(プロジェクトサイト位置図)



写 真



プロジェクトサイトにおける等高線栽培



リボルビングファンドを活用した
家畜（豚）飼育



JCC での調査結果報告



M/M 調印後の関係者集合写真

略 語 表

略語	英文名称	和文名称
AF	Afforestation	新規植林、造林
ANR	Assisted Natural Regeneration	天然更新
C/P	Counterpart	カウンターパート
DARD	Department of Agriculture and Rural Development	(ディエンビエン)省農業農村開発局
FIPI	Forest Inventory and Planning Institute, Ministry of Agriculture and Rural Development	森林調査計画研究所(農業農村開発省)
FMP	Forest Management Plan	森林管理計画
FORMIS	Development of Management Information System in Forestry Sector	森林セクター管理情報システム開発プロジェクト
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
LDC	Livelihood Development Component	生計向上コンポーネント
LDP	Livelihood Development Plans	生計向上計画
M/M	Minutes of Meetings	協議議事録
MARD	Ministry of Agriculture and Rural Development	農業農村開発省
NORRD	Northwest Region Rural Development Project in Vietnam	北西部山岳地域農村開発プロジェクト
NRAP	National REDD+ Action Programme	国家 REDD+アクションプログラム
NTFP	Non-Timber Forest Products	非木材林産物
ODA	Official Development Assistance	政府開発援助
OJT	On the Job Training	オンザジョブ・トレーニング
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PF	Protecting Forest	森林保護
PFES	Payment for Forestry Ecosystem Services	森林環境サービスへの支払い
PMU	Project Management Unit	プロジェクト・マネジメント・ユニット
PO	Plan of Operation	活動計画
PRAP	Provincial REDD+ Action Plan	省 REDD+アクションプラン
R/D	Record of Discussion	討議議事録

REDD+	Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation in developing countries; and the role of conservation, sustainable management of forests and enhancement of forest carbon stocks in developing countries	開発途上国における森林の減少及び劣化による排出の削減並びに森林保全、持続可能な森林経営及び森林炭素蓄積量の増大
RENFODA	The Project for Rehabilitation of Natural Forest in Degraded Watershed Area in the North of Vietnam	ベトナム国北部荒廃流域天然林回復計画
R/D	Record of Discussion	討議議事録
SUSFORM-NOW	Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area	北西部水源地域における持続可能な森林管理プロジェクト
T	Tending	保育
VNFOREST	Vietnam Forest Administration	ベトナム農業農村開発省森林総局
VRO	Vietnam REDD+ Office	ベトナム REDD+ オフィス

評価調査結果要約表

1. 案件の概要		
国名：ベトナム社会主義共和国	案件名： 北西部水源地域における持続可能な森林管プロジェクト	
分野：自然環境保全	援助形態：技術協力プロジェクト	
所管部署：地球環境部 森林・自然環境グループ 森林・自然環境保全第一課	協力金額（評価時点）： 6.27 億円	
協力期間	(R/D)： 2010年5月28日	先方関係機関： ディエンビエン省農業農村開発局（DARD）、農業農村開発省（MARD）
	2010年8月15日～ 2015年8月14日 (5年間)	日本側協力機関：農林水産省 林野庁
		他の関連協力：
<p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>ベトナム社会主義共和国（以下、「ベトナム」と記す）の森林は、「500万 ha 国家造林計画（661プログラム）」（1998年）、「森林開発戦略（2001年～2010年）」（2001年）、「ベトナム林業開発戦略（2006年～2020年）」（2007年）などのベトナム政府による各種の施策の結果、1995年には28%まで低下した森林被覆率を2008年時点で39.6%にまで回復させている。しかしながら、ディエンビエンを含む4省からなる北西部地域の森林は、貧困率の高さに起因する薪炭材の採取、焼畑や森林の農地転用などから、その劣化が依然として激しいため、対策が急務となっている。</p> <p>この状況に対し、技術協力プロジェクト「ベトナム北部荒廃流域天然林回復計画（RENFODA）」（2003年～2008年）は、天然林回復の適正な技術体系を整備することを目的として、ホアビン省において活動を実施し、現場で活用可能な農林畜産技術の開発（研究及びオンファームトライアル）等について成果を上げた。</p> <p>北西部の森林回復を現実のものとし、森林による水源涵養機能の発揮を図るためには、①RENFODAの成果としてのオンファームトライアルの発展的活用・非木材林産物（NTFP）の導入を通じた農民の生計向上により森林減少の抑制を図ること、②分与された森林をコミュニティ林として管理すること、③上記の活動の主体となる北西部各省の農業農村開発局や林業関連組織の実施能力を強化すること、④将来の普及展開戦略を策定することが必要である。</p> <p>以上の背景から、カウンターパート（C/P）機関であるMARD森林総局（VNFOREST）はわが国に対し、北西部の持続可能な森林保全に係る技術協力を要請した。国際協力機構（JICA）は、2009年10月に詳細計画策定調査を実施し、協力内容について合意に至った。右合意を踏まえ、2010年5月28日、先方政府との間で討議議事録（R/D）の署名・交換が行われ、2010年8月から「北西部水源地域における持続可能な森林管理プロジェクト（Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area : SUSFORM-NOW）」（以下「SUSFORM-NOW」）を開始した。</p> <p>今般、プロジェクト開始後、2年5カ月が経過した中間段階にあることから、中間レビューを実施することとなった。</p>		

1-2 協力内容

(1) 上位目標

ディエンビエン省内のパイロットサイトに類似した条件地において、参加型による森林管理と住民の生計向上の両立が進む。

(2) プロジェクト目標

他地域に適用可能なアプローチにより、パイロットサイトにおいて、参加型による森林管理と住民の生計向上が両立する。

(3) アウトプット

- 1) 土地利用計画と生計向上計画が両立するアプローチが検証される。
- 2) 実施機関（中核機関、支援機関）の、パイロット活動を推進するために必要な技術・制度的キャパシティが向上する。
- 3) ディエンビエン省において、パイロット活動における成果の省内普及戦略が採用される。

(4) 投入

日本側：

長期派遣専門家：3名 短期派遣専門家：5名 業務実施契約：生計向上コンポーネント（LDC）8,088万円 研修員受入：29名	機材：700万円（17億8,200万ドン） ローカルコスト：5,800万円（146億3,000万ドン）
---	--

ベトナム側：

C/P：30名 施設・設備：事務スペース（2部屋）、光熱費・電話料金等	ローカルコスト：2,300万円（5億9,300万ドン）
--	-----------------------------

2. 評価調査団の概要

調査者

日本側：

氏名	担当	所属
宮 藺 浩 樹	総括	JICA 国際協力専門員
志 摩 克	REDD+政策・制度	林野庁 森林整備部 計画課 海外林業協力室 海外指導班 課長補佐
阿 部 真 士	参加型森林管理／REDD+現地活動計画	JICA 地球環境部 森林・自然環境保全第一課 特別嘱託
山 本 健 一 朗	調査企画	JICA 地球環境部 森林・自然環境保全第一課 職員
福 山 誠	評価分析	A&M コンサルタント有限公司 シニア・コンサルタント

ベトナム側：

氏名	担当	所属
Mr. Lo Quang Chieu	ベトナム側レビューチーム 総括	ディエンビエン省 DARD 副局長
Ms. Hoang Thi Dung	同上 メンバー	ディエンビエン省 DARD 計画課 専門官
Mr. Nguyen Van Thang	同上 メンバー	ディエンビエン職業訓練学校 農業・林業部 部長

調査期間	2013年1月16日～2月5日	評価種類：中間レビュー
3. 調査結果の概要		
3-1 実績の確認		
(1) アウトプット		
アウトプット1		
<p>アウトプット1に係る活動の最も顕著な成果としては、7つのパイロットサイト内の15村落における森林管理及び生計向上の両計画の策定である。指標1-2に関連する活動はまだ開始されていない。指標1-3については、活動は開始されたが成果は発現していない段階である。したがって、アウトプット1全体の達成状況は、「比較的高い」と判断されるのが適切である。</p>		
アウトプット2		
<p>C/Pを含めた実施機関職員の能力向上は、ある程度達成されたと判断される。質問票の中の設問に対しても、すべての回答者が、実施機関の技術・制度的能力が高いレベルで向上したと回答した。この結果は、C/Pがトレーニングプログラム及びオンザジョブ・トレーニング(OJT)について高く評価していることを示唆するものである。</p> <p>一方、「パイロット活動実施のための実施プロセスマニュアル(Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation)」がアウトプット2に係る活動として、越語及び英語にて策定された。したがって、アウトプット2の全体的な達成状況は「比較的高い」と判断される。</p>		
アウトプット3		
<p>指標3-1については、技術ガイドラインが、最終的に「パイロット活動実施のための実施プロセスマニュアル」の一部として編纂されたことから、その達成度は「高い」とみなされる。一方、指標3-2に係る活動は、今後のディエンビエンREDD+パイロットプロジェクトとの統合により、プロジェクトの枠組みが変更されるため取り消しとなった。よって、現時点でのアウトプット3の全体的な達成状況は「高い」と判断するのが妥当である。</p>		
(2) プロジェクト目標の実績		
<p>ほぼすべての林業関連活動が森林管理計画(FMP)に沿って実施されていること、また生計向上活動により現金収入の創出も始まったことが確認された。本プロジェクトは5年間の協力期間の途中にあるが、上記のプロジェクト目標に対する2つの指標の達成状況、並びに3つの期待されるアウトプットの達成状況から、活動のアプローチ及び実施状況は適切であると判断される。したがって、プロジェクト目標の全体的な達成状況は「比較的高い」と評価されるのが妥当である。</p>		
3-2 評価結果の要約		
(1) 妥当性		
<p>妥当性は「高い」と判断される。本プロジェクトの内容は、ベトナムの国家開発政策及びわが国のベトナムに対する政府開発援助(ODA)政策にも合致している。また、政策的及び経済的な観点から、ターゲット・グループのニーズにも適切に対応したも</p>		

のとなっている。

(2) 有効性

有効性は「**比較的高い**」と考えられる。プロジェクト目標は、プロジェクト期間終了までに高いレベルで達成されることが見込まれる。定期的な会合及びワークショップが有効性を高めることに貢献している。「収入向上（生計向上）」分野の長期派遣専門家の確保が困難であったことは、プロジェクト管理上の阻害要因となった。

(3) 効率性

効率性は「**比較的高い**」と判断される。日本側からの投入は、「収入向上（生計向上）」分野の長期派遣専門家の派遣以外は、ほぼ計画どおりに行われた。ベトナム側からの投入は、C/P 予算の手当の遅れ及び支出額の不足が効率的な活動実施の妨げとなった。

一方、定例会議等の実施は、効率的なプロジェクトの管理に貢献する要因となった。他の JICA プロジェクト及び機関との連携は効率性を向上させるものとして期待される。

(4) インパクト

インパクトは「**比較的高い**」。参加型による森林管理及び生計向上の普及にあたっては、好ましい環境が整っているため、仮に必要な資金が確保されるならば、プロジェクト終了後3年から5年の間に上位目標は達成されると思われる。パイロット活動参加者の意識の向上において、特に顕著な正のインパクトの発現がみられる。負のインパクトは確認されていない。

(5) 持続性

持続性は「**中庸**」と判断される。政策的な持続性は、非常に高い。組織体制的な持続性は、プロジェクトの終了に向けて高まると思われる。技術的側面からは、関係者により習得された技術や知識が維持されると見込まれる。財政的には、地方政府等により資金が投入されることにより改善されることが望まれる。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

(該当なし)

(2) 実施プロセスに関すること

- 1) 活動モニタリングは、現場レベルでは主にレポーティング・システムにより行われており、パイロットサイト内の村落から、コミュニティ、郡、省レベルへと報告を上げる仕組みにより行われている。また別のモニタリングシステムとして、合同調整委員会（JCC）会議以外に、月例ワーキング・グループ会合及び半年毎に行われる進捗状況報告ワークショップが継続して行われおり、すべての C/P、JICA 専門家及びプロジェクト・スタッフが参加し、プロジェクト活動の成果や実施プロセスといった全体的なモニタリングのための主要な機会ともなっている。
- 2) 関連事務所間の意思疎通の仕組みについては、円滑化及び迅速化を図るため、2つの郡事務所にスキャナーを供与することにより、改善がなされた。
- 3) プロジェクトでは、これまでに報告書やマニュアルを含む多数の技術資料が作成されてきており、すべてがハード及びソフト形式にて適切に整理・保管されている。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

(該当なし)

(2) 実施プロセスに関すること

- 1) 「収入向上（生計向上）」分野の長期派遣専門家の確保が予定とおりになされず、活動工程の見直し及び活動実施プロセスの変更を迫られた。
- 2) ベトナム側からの C/P 予算の支出の遅れ及び支出額の不足が、プロジェクト活動の実施に負の影響を与えたことは否めない。

3-5 結論

いくつかの阻害要因にもかかわらず、ほとんどすべての予定されていた活動がプロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) 及び活動計画 (PO) に沿っておおむね順調に実施されてきた。アウトプットの一部には、7つのパイロットサイト内の 15 村落での FMP 及び生計向上計画の策定、実施機関職員の能力向上、「パイロット活動実施のための実施プロセスマニュアル (*Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation*)」等、既に達成されたもの、あるいは達成されつつあるものもある。これらのアウトプット及び活動の結果として、パイロットサイト内での参加型森林管理が進み生計が向上しつつあることが、今回の中間レビューの結果、明らかとなった。したがって、2015 年 8 月のプロジェクトの協力期間の終了までに、プロジェクト目標は達成されると判断される。

一方、評価 5 項目による評価の観点からは、妥当性、有効性、効率性、インパクトの 4 項目については、「高い」、あるいは「比較的高い」という良好な結果が得られた。最も低い評価となった「持続性」を担保するためには、特に関係機関のオーナーシップを高めること、またベトナム側の予算措置を含めた出口戦略の検討を行うことが、プロジェクトにとって極めて重要である。

3-6 提言 (当該プロジェクトに関する具体的な措置、提案、助言)

3-6-1 プロジェクトに対する提言

(1) 活動オプションの再考

現在、プロジェクトにより、特に生計向上分野において多くの活動が支援されている。しかしながら、活動のいくつかは、森林保護、あるいは持続的森林管理との明確な連関がみられない。したがって、それぞれの活動の利点及び欠点を特定するために、すべての活動をいくつかの基準に基づいて整理することが重要である。この措置は、追加パイロットサイトでの活動を選定することにも役立つこととなる。

(2) モニタリングシステムの改善

本プロジェクトでは、これまでに活動やその他の事柄をモニタリングするためのいくつかのシステム、あるいは手法が用いられてきた。既述のとおり、モニタリングボランティアが、主にパイロット活動参加者の内発的発展を観察するために各パイロットサイトに配置されてきたが、このシステムは適切、あるいは効率的に機能していないことが指摘されていることから、このやり方は中止し、別の手法の導入を検討することが提言される。また、森林管理に係るモニタリングシステム、手法も、特に林況の変化に関する定量的及び定性的なデータ、情報を収集できるよう再考されることが望まれる。

(3) 活動実施アプローチの改善

現在の活動の計画策定及び実施のアプローチは、限られた数の地域住民に対して集中的に支援を行い、森林管理及び生計向上モデルの開発を行うものである。次のフェーズでは、プロジェクト活動をより多くの地域住民に普及するために、現行のシステムを更に効率的にするよう改良する必要がある。例えば、技術研修に参加する機会を、パイロットサイト内の希望するすべての地域住民に与えることが検討されるべきである。

(4) 成功事例の収集・整理及び普及・啓もう

多くのパイロットサイトにおいて、森林管理及び生計向上に係る優れた実践事例として、例えば、森林保護に関する厳格な規則の制定、リボルビングファンドを活用した豚の飼育により得られた資金の森林巡視への活用が確認されている。これらの優れた実践事例及びプロジェクトによる正のインパクトを収集・整理し、また他地域への普及のあり方について検討することが提言される。

(5) 技術資料の共有

プロジェクトではこれまでに 121 もの技術資料が作成されてきた。これらの資料を、種類、重要性、ニーズ別等に分類し、例えばウェブサイトを通じて他機関等と共有することが検討されるべきである。

(6) PDM の修正

本プロジェクトは、ディエンビエン REDD+パイロットプロジェクトとの統合が予定されていることから、PDM を修正することが必要である。

3-6-2 林業省に対する提言

(1) C/P 予算の支出

ベトナム側による C/P 予算の支出の遅れ及び不足が、プロジェクト活動に実施上、負の影響を与えてきたことは否めない。更なる予算が、ディエンビエン省人民委員会から DARD へ配分されることが提言される。

(2) 実施機関の関与及び意識の向上

プロジェクト実施期間中、実施機関のプロジェクトへの関与の度合いは高まってきたと評価される。しかし、重要な会議等への参加率が低位に留まるなど、まだ関与の度合いが低いと思われる場合がある。したがって、プロジェクト運営・管理における実施機関の役割を再考し、プロジェクト活動を更に促進し、また、高いレベルの持続性を確保するためにオーナーシップを高める努力が求められる。一案として、フルタイムの C/P 数名をプロジェクト・オフィスに配置することが推奨される。

(3) 職務環境改善への支援

職務環境を改善し、プロジェクト活動を更に支援するために、ベトナム側は、オフィスのスペースを増やし、DARD 内の会議室及び運転手を優先的に使用できるよう便宜を図ることが求められる。この措置により、特にディエンビエン REDD+パイロットプロジェクトとの統合後に、プロジェクトがより多くの業務を遂行できる環境作りに寄与すると期待される。

第1章 中間レビュー調査の概要

1-1 調査背景

1-1-1 プロジェクト実施背景（記載情報は案件要請時のもの）

ベトナム社会主義共和国（以下、「ベトナム」と記す）政府は近年、1998年に「500万ha国家造林計画」（661プログラム）、2001年に「森林開発戦略（2001年～2010年）」を作成し、各国援助機関の協力も得ながら、森林面積の増大、住民生活の向上等に取り組んできた。また、援助機関の考えも積極的に取り入れつつ、上記戦略を改訂し、より包括的かつ高度な内容の「森林開発戦略（2006年～2020年）」を策定し、森林の質・量の回復に取り組んでいる。さらに、「661プログラム」の一部見直し（2007年7月）を行い、非木材林産物（Non-Timber Forest Products：NTFP）¹への特別な配慮をすることなどの指針を定めている。これらをはじめとする各種の施策の結果、1995年には28%まで低下した森林被覆率を2005年時点で37.8%にまで回復させている。しかしながら、特に、ホアビン、ソンラ、ディエンビエン、ライチャウの4省からなる北西部地域の森林は、かつては豊富な木材・特用林産物資源と高い水源涵養機能を有していたが、貧困率の高さに起因する薪炭材の採取、焼畑や農地転用などから、森林劣化が依然として激しく対策が急務である。

このうちディエンビエン省では、森林計画上は保全林が林地の約55%、生産林が約40%を占め、保全と利用の両立を目指している。しかし実際には生産林、保全林、特別利用林の3区分それぞれの境界、ならびにこれら林地と農地などの境界が不明瞭であり、更に林地の半分近くが荒廃（森林被覆が減退）した状況にある。また北西部地域は全体的に他の地域に比べて各世帯への森林の分与が進んでいるものの、机上で進められた分与と少数民族が伝統的に利用している現地との状況とが必ずしも対応していないことが、森林所有・利用権の曖昧さを生んでおり、効果的な森林管理に多くの課題を抱えている。

この状況に対し、技術協力プロジェクト「ベトナム北部荒廃流域天然林回復計画（The Project for Rehabilitation of Natural Forest in Degraded Watershed Area in the North of Vietnam：RENFOODA）」（2003年10月～2008年9月）は、天然林回復の適正な技術体系を整備することを目的として、ホアビン省において活動を実施し、現場で活用可能な農林畜産技術の開発（研究及びオンファームトライアル²）等について成果を上げてきた。

北西部の森林回復を現実のものとし、森林による水源涵養機能の発揮を図るためには、
(i) RENFOODAの成果としてのオンファームトライアルの発展的活用・NTFPの導入を

¹ バイオ燃料やキノコのような非木質林産物

² ①支援活動、②林業活動、③非林業活動からなり、ホアビン省の5コミューン、10村（2007年5月現在の総世帯数749世帯）を対象に、オンファーム活動を通じて、森林再生と農民の生計向上との一体的な推進などの教訓が導かれた。

①支援活動：スタディツアー、研修・訓練（家畜飼育、湖面養殖、養蜂、養鶏、ヤマアラシ飼育、植栽研修、獣医師研修、獣医薬・器具供与

②林業活動：苗木生産、植栽、エンリッチメント植栽、補植

③非林業活動：飼料栽培と家庭菜園、家畜の飼育、家畜の供与、リボルビングシステムの導入、家畜小屋、その他の活動（拡声スピーカーの設置、村落図書、トイレの建設、水供給（水タンク、井戸、水供給パイプ）、機器・設備（製粉機、散布機、トウモロコシ脱穀機、耕耘機、乾燥用コンクリート）、女性グループ向け小規模金融）

通じた農民の生計向上により森林破壊の抑制を図ること、(ii) 分与された森林をコミュニティとして管理すること、(iii) 上記の活動の主体となる北西部各省の農業農村開発局や保全林管理事務所の実施能力を強化すること、(iv) 将来の普及展開戦略を策定することが必要である。

以上の背景から、カウンターパート (Counterpart : C/P) 機関であるベトナム農業・農村開発省森林総局 (Vietnam Administration of Forestry : VNFOREST) はわが国に対し、北西部の持続可能な森林保全に係る技術協力を要請した。

国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency : JICA) は 2009 年 10 月に詳細計画策定調査を実施し、協力内容について合意に至った。右合意を踏まえ、2010 年 5 月 28 日、先方政府との間で討議議事録 (Record of Discussion : R/D) の署名・交換を了し、2010 年 8 月から「北西部水源地域における持続可能な森林管理プロジェクト (Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Areas : SUSFORM-NOW)」(以下「SUSFORM-NOW」と記す) を開始した。

今般、プロジェクト開始後 2 年 5 カ月が経過した中間段階にあることから、中間レビュー評価を実施した。

1-1-2 「ディエンビエン省 REDD+パイロットプロジェクト」の成果の SUSFORM-NOW への統合

技術協力プロジェクト「ディエンビエン省 REDD+パイロットプロジェクト」(以下、「REDD+パイロットプロジェクト」と記す) は、ベトナムにおける「開発途上国における森林の減少及び劣化による排出の削減並びに森林保全、持続可能な森林経営及び森林炭素蓄積量の増大 (Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation in developing countries; and the role of conservation, sustainable management of forests and enhancement of forest carbon stocks in developing countries : REDD+)」への取り組みが進むなか、国家レベルでの REDD+準備と並行して「準国家 (地方省) レベルでのパイロット」を行い、そこで得られた知見を REDD+政策・制度構築へと生かすことで将来的な REDD+全国展開を目指す同国の方針を踏まえ、ディエンビエン省を実施地域として 2013 年 3 月より開始された。REDD+パイロットプロジェクトは 2013 年 9 月まで実施予定であるが、SUSFORM-NOW の中間レビュー調査に合わせて REDD+パイロットプロジェクトの成果を SUSFORM-NOW に統合する旨、ベトナム側と REDD+パイロットプロジェクトの詳細計画策定調査時 (2011 年 10 月) に協議議事録 (Minutes of Meeting : M/M) で合意している。

したがって、本調査では、SUSFORM-NOW のこれまでの投入実績・活動等を評価するとともに、REDD+パイロットプロジェクトの成果との統合のためのプロジェクト・デザイン・マトリックス (Project Design Matrix : PDM) や活動計画 (Plan of Operations : PO) の修正をベトナム側と実施した。

各案件スケジュール

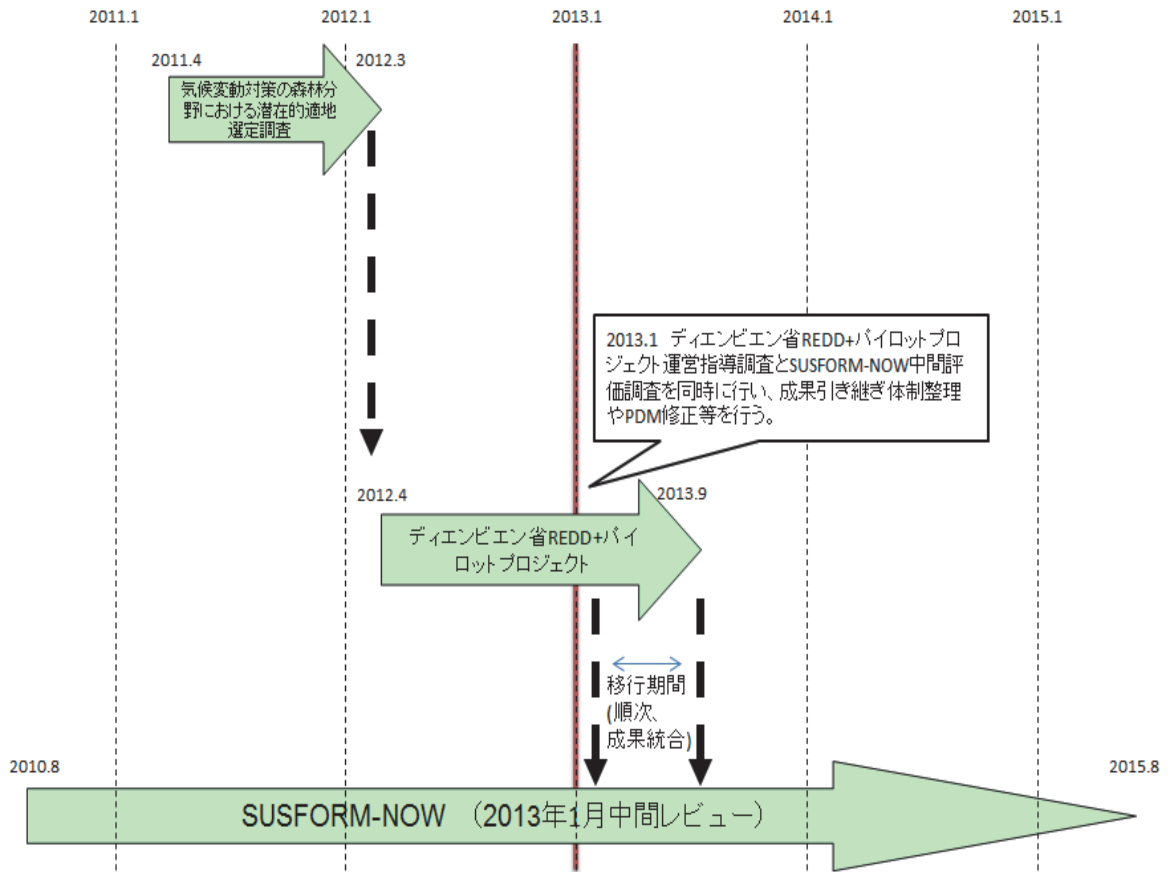


図1 各プロジェクトのスケジュール

1-2 調査目的

- (1) SUSFORM-NOW の投入実績・活動の進捗状況を確認するとともに、評価5項目等からプロジェクトを再評価し、プロジェクトの促進・阻害要因や今後の課題等を分析・評価する。評価結果は合同評価報告書に取りまとめ、合同調整委員会 (Joint Coordinating Committee or Joint Coordination Committee : JCC) に報告を行う。
- (2) 評価結果を元に当初計画の見直しや運営体制の改善についてベトナム関係者と協議を行った上で、REDD+パイロットプロジェクトの成果を統合することにより PDM や PO の修正を行う。
- (3) 修正版 PDM、PO、その他特記事項について、ベトナム中央政府機関である VNFOREST 及びディエンビエン省人民委員会、ディエンビエン省農業農村開発局 (Department of Agriculture and Rural Development : DARD) と M/M にて合意する。

1-3 調査団構成

1-3-1 JICA側

氏名	担当業務	所属・職位	期間
宮菌 浩樹	総括	JICA 国際協力専門員	1月20日 ～2月1日
志磨 克	REDD+政策・制度	林野庁	1月20日 ～2月1日
阿部 真士	参加型森林管理/REDD+現地活動計画	地球環境部 森林・自然環境保全第一課 特別囑託	1月16日 ～2月1日
山本 健一朗	調査企画	JICA 地球環境部 森林・自然環境保全第一課 職員	1月16日 ～2月1日
福山 誠	評価分析	A&M コンサルタント (有) シニア・コンサルタント	1月16日 ～2月5日

※このほか、JICA ベトナム事務所の江頭英二企画調査員が同行した。

1-3-2 ベトナム側

氏名	担当業務	所属・職位
Mr. Lo Quang Chieu	ベトナム側レビューチーム 総括	ディエンビエン省 DARD 副局長
Mrs. Hoang Thi Dung	同上 メンバー	ディエンビエン省 DARD 計画課 専門官
Mr. Nguyen Van Thang	同上 メンバー	ディエンビエン職業訓練学校 農業・林業部 部長

1-4 調査期間

調査期間は平成25年1月26日（日）から2月5日（金）までである。

2012/1/16	Wed	Move to Hanoi
2012/1/17	Thu	- Move to Dien Bien - Meeting / Interview with project(REDD+, SUSFORM-NOW).
2012/1/18	Fri	Meeting / Interview with project(REDD+, SUSFORM-NOW)
2012/1/19	Sat	- Meeting / Interview with project(REDD+, SUSFORM-NOW) - Move to Hanoi
2012/1/20	Sun	Preparation for next week
2012/1/21	Mon	- Meeting with JICA Vietnam Office - Meeting with VNFOREST leaders - Meeting with VNFOREST staff level
2012/1/22	Tue	- Move to Dien Bien - Meeting with JICA experts
2012/1/23	Wed	- Meeting with DARD (and PPC)
2012/1/24	Thu	site visit (present SUFRORM-NOW site)
2012/1/25	Fri	site visit (REDD+ pilot site)
2012/1/26	Sat	Discussion, Make the Co-evaluation report
2012/1/27	Sun	Discussion, Make the Co-evaluation report
2012/1/28	Mon	Discussion, Make the Co-evaluation report
2012/1/29	Tue	- Reporting to JCC (exchange the co-evaluation report) - Finalization of M/M with DARD - Move to Hanoi
2012/1/30	Wed	- Reporting to VNFOREST leaders - Meeting with VNFOREST staff level [including Dien Bien representative for finalization of M/M]
2012/1/31	Thu	- Signing of M/M [including Dien Bien representative] - JICA Vietnam reporting - Embassy of Japan reporting
2012/2/1	Fri	(Main Mission) Move to Japan (Consultant) interview
2012/2/2	Sat	(Consultant) interview
2012/2/3	Sun	(Consultant) interview
2012/2/4	Mon	(Consultant) interview
2012/2/5	Tue	(Consultant) interview

第2章 中間レビューの方法

2-1 調査の流れ

今回のレビューは、『新 JICA 事業評価ガイドライン（第1版）』に準拠して行った。また、評価の基になる PDM は、2010年11月に修正された PDM バージョン 2.0 を使用した。

調査に先立ち、プロジェクト関係文書（詳細計画策定調査報告書、技術協力プロジェクト実施運営総括表、投入実績表、専門家作成の自己評価表等を含む）のレビューを行い、その結果に基づき、評価のデザインとしての評価グリッド（付属資料 1. 合同評価報告書（英文）Annex 5 参照）、また C/P を対象とした質問票を作成した。

現地では、日本側及びベトナム側双方の合同中間レビュー調査団員は、過去のプロジェクト記録等の資料調査、プロジェクト関係者への面談（インタビュー）、また現地視察・調査を行い、関連情報・データを収集した。これらの成果を基に、合同評価報告書案を英文にて作成し、JCC 会議にて、主に C/P 及びプロジェクト関係者、並びに JICA 専門家を含むプロジェクト・スタッフに対し報告書案を発表し、その後の討議を経て、同報告書を完成させた。

2-2 調査項目

2-2-1 プロジェクトの実績の確認

R/D 及び PDM の計画に沿ってプロジェクトの投入、アウトプット、プロジェクト目標が達成された度合いを検証する。

2-2-2 実施プロセスの検証

プロジェクトの実施過程全般を評価する視点であり、活動が計画どおり行われているか、またプロジェクトのモニタリングやプロジェクト内の意思疎通が円滑に行われているかなどについて検証する。また、実施プロセスに影響を与えた促進要因や阻害要因の特定も行う。

2-2-3 評価項目ごとの分析

- (1) 妥当性 (Relevance) : プロジェクトの目指している効果（プロジェクト目標や上位目標）が、受益者のニーズに合致しているか、問題や課題の解決策として適切か、相手国と日本側の政策との整合性はあるか、プロジェクトの戦略・アプローチは妥当か、公的資金である政府開発援助（Official Development Assistance : ODA）で実施する必要があるかなどといった「援助プロジェクトの正当性・必要性」を問う視点。
- (2) 有効性 (Effectiveness) : プロジェクトの実施により、受益者もしくは社会への便益がもたらされているのか（あるいはもたらされるか）を問う視点。
- (3) 効率性 (Efficiency) : 主にプロジェクトのコストと効果の関係に着目し、資源が有効に活用されているかを問う視点。

- (4) インパクト (Impact) : プロジェクト実施によりもたらされる、より長期的、間接的な効果や波及効果を見る視点。予期していなかった正・負の効果、影響を含む。
- (5) 持続性 (Sustainability) : 援助が終了しても、プロジェクトで発現した効果が持続するかを問う視点。

2-3 データ収集・分析手法

本調査では、情報の偏りなどを減らし、調査の信頼性を高めるために、さまざまな情報源から複数のデータ収集手法を用いて情報収集を行った。今回の調査では、定量的なデータとともに、定性的な情報の収集にも注力している。定量的なデータは既存の資料で既にある程度入手可能であるのに対し、定性的な情報、すなわち、プロジェクト実施に当たったの貢献要因・阻害要因といった詳細な情報については、文献調査のみでは把握できないためである。したがって、インタビュー、観察、そして自由記述欄を多く設けた質問票調査など、定性的な情報を引き出すための手法を中心に調査を行った。データ入手手法と情報源については、表1に示すとおりである。

表1 データ入手手段と情報源

データ入手手段	情報源
文献・資料調査	プロジェクト関連資料（報告書、マニュアル、自己評価表等を含む）
質問票調査	C/P
面談（インタビュー）	日本人専門家、プロジェクト・ナショナル・コンサルタント等（LDC コンポーネント）、C/P、パイロット活動参加住民
観察、インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> ● Phieng Ban パイロットサイト、ディエンビエン郡 ● Tia Ghenh C パイロットサイト、ディエンビエンドン郡 ● Ta Leng パイロットサイト、ディエンビエンフー市

文献・資料調査は、主に現地調査前に国内で行い、プロジェクトのアウトプットと実施プロセスを中心に確認した。また、現地調査開始前に C/P に対する質問票³をプロジェクトへ送付し、ベトナム語への翻訳及び対象者への配布を依頼した。調査団の現地入り後、日本人専門家、プロジェクト・ナショナル・コンサルタントなど（LDC コンポーネント）、C/P に対して面談を行い、補足情報の収集を行った。なお、C/P に対する質問票は、面談時に回収した。

さらに、評価団は Phieng Ban、Tia Ghenh C、Ta Leng の3つのパイロットサイトにおいて、参加住民による活動を視察する機会を得たほか、インタビューを行い、情報を収集した。収集したデータ／情報を、評価5項目ごとに分析し、その分析結果を、「第4章 評価結果」に示した。

³ C/P に対する質問票は、マネジメント・レベルとフィールド・レベルの2種類作成された。マネジメント・レベルは、DARD 及び市／郡事務所所属する職員であり、一方、フィールド・レベルは、区／コミュニティに所属する職員（普及員）である。

第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス

3-1 投入実績

3-1-1 日本側の投入

(1) 専門家派遣

「チーフアドバイザー／森林計画」及び「業務調整員」の2つのポストに計3名のJICA長期専門家が派遣された（付属資料1. 合同評価報告書（英文）のAnnex 6参照）。初代「業務調整員」は、2012年4月に約2年間の任期を終え、同年3月に現在の「業務調整員」と交替した。また、プロジェクト開始当初、「収入向上（生計向上）」分野の長期専門家派遣の計画もあったが、適切な人材を確保することができず実現しなかった。プロジェクトでは、JICA側とも相談の上、長期専門家に替えてシャトルタイプの短期専門家を投入することとしたが、結局これに対しても人材が確保できず、短期専門家が2011年7月から約2カ月半にわたり、1回限り派遣された。これは、プロジェクト開始後、既に11カ月後のことであった。この業務は、2011年10月より業務実施契約にて生計向上コンポーネント（Livelihood Development Component：LDC）に引き継がれ、現在に至っている。LDCの専門家の担当技術分野は、生計向上、市場開発、アグロフォレストリー、山村生活改善、小規模農林水産加工、薪炭材節約（バイオガス／改良竈など）などである。

短期専門家については、これまでに前述の「収入向上（生計向上）」に加え、「ファシリテーションスキル（3回）」「参与観察データの定性的分析」の3つの分野に派遣が行われた。

(2) 研修員受入

2010年から2013年にかけて日本で実施された以下の4分野の研修コース（7回実施）に、計29名の実施機関の職員が参加した（ベトナム国 道の駅の地域振興機能強化、②森林管理計画（Forest Management Plan：FMP）、③Integrated Agriculture and Rural Development through the Participation of Local Farmers、④Livelihood Development and Life improvement in Rural Area of Japan）〔付属資料1. 合同評価報告書（英文）のAnnex 7参照〕。

(3) 機材供与

これまでに車両、パーソナル・コンピュータ、プリンタ、デジタルカメラ、GPS機器、その他事務機器等29品目、総額17億8,200万ベトナムドン（700万円）相当の機材が供与された（付属資料1. 合同評価報告書（英文）のAnnex 8参照）。これらの機材は適切に使用及び管理されていることが、調査団により確認された。

(4) 現地業務費の負担

表2は、日本側により投入された現地業務費⁴を日本及びベトナムの予算年度別に整理したものであり、総額は約146億3,000万ベトナムドン（5,800万円）になる（費目別の支出額は、付属資料1. 合同評価報告書（英文）のAnnex 9を参照のこと）。

表2 日本側によるプロジェクト予算負担額

JFY	期間	(VND)	(JPY) *
2010	10年7月-11年3月	2,303,474,806	9,202,382
2011	11年4月-12年3月	6,326,017,794	25,272,441
2012	12年4月-12年12月**	5,999,797,809	23,969,192
計		14,629,290,409	58,444,015

VFY	期間	(VND)	(JPY) *
2010	7月～12月	561,545,340	2,243,374
2011	1月～12月	5,935,631,947	23,712,850
2012	1月～12月**	8,132,113,122	32,487,792
計		14,629,290,409	58,444,016

注：* 換算レート：VND 1 = JPY 0.003995

** 2012年12月11日時点の暫定値

3-1-2 ベトナム側の投入

(1) C/Pの任命

2012年12月にC/Pの任命に関する改定が行われ、それまでの23名から30名へと増員が図られた。主な変更点は、それまで対象となっていなかった市／郡の人民委員会の副委員長及び区／コミューンのスタッフが新たにC/Pに任命されたことである。30名の内訳は、7名が省レベル（DARD）、8名がディエンビエンフー市、7名がディエンビエン郡、8名がディエンビエンドン郡を拠点にする地方自治体の職員である（付属資料1. 合同評価報告書（英文）のAnnex 10参照）。

(2) ローカルコスト負担

ベトナム側により投入されたローカルコスト（日本及びベトナムの予算年度別）は表3に示されるとおりであり、総額は約5億9,200万ベトナムドン（230万円）になる。この額は、農業農村開発省（Ministry of Agriculture and Rural Development：MARD）／ディエンビエン省人民委員会による拠出予定額（42億6,000万ベトナムドン）の14%に留まっている状況である。また、ベトナム政府によるプロジェクト承認手続きの遅れにより、最初の予算の配分は、プロジェクト開始後1年以上も経過してからのことであった。これらの事象は、プロジェクト活動の実施に対して負の影響を与えたと判断される。

⁴ プロジェクトの在外事業強化費及びLDCの業務実施契約の一般業務費を含むものである。

表3 ベトナム側によるプロジェクト予算負担額

JFY	期間	(VND)	(JPY) *
2010	10年7月-11年3月	18,435,965	73,652
2011	11年4月-12年3月	281,018,508	1,122,669
2012	12年4月-12年12月**	293,246,990	1,171,522
計		592,701,463	2,367,842

VFY	期間	(VND)	(JPY) *
2010	7月～12月	16,910,228	67,556
2011	1月～12月	212,487,635	848,888
2012	1月～12月**	363,303,600	1,451,398
計		592,701,463	2,367,842

注：* 換算レート：VND 1 = JPY 0.003995

(3) 施設・設備の提供

R/Dの「Annex V List of offices and facilities」によれば、①DARD内のプロジェクト事務所(家具付き)、②電気、水道、通信設備(電話、ファックス、電子メールサービス含む)は、ベトナム側より提供されるものとなっている。この合意に基づき、ベトナム側は、DARD内に2部屋を事務スペースとして提供し、また電気・水道・電話料金及び事務所と車両の維持管理費の負担を行っている状況である。

3-2 アウトプットの実績

PDMには3つのアウトプットが明示されており、それぞれの実績については、以下に詳述するとおりである。なお、各指標に係る達成状況は、「高い」「比較的高い」「中庸」「やや低い」「低い」の5段階で評価することとした。

3-2-1 アウトプット1の実績

アウトプット1「土地利用計画と生計向上計画が両立するアプローチが検証される」は、以下の3つの指標によりその達成度が計られることとなっている。

- 1-1. プロジェクト開始後6カ月目までに、当初のパイロットサイトにて、省の森林計画に沿った土地利用計画と、生計向上計画がプロジェクト関係者及び住民の間で合意される。
- 1-2. プロジェクト開始後30カ月目までに、追加パイロットサイトにて、省の森林計画に沿った土地利用計画と、生計向上計画がプロジェクト関係者及び住民の間で合意される。
- 1-3. プロジェクトの終了時まで両立するアプローチが選定される。

指標 1-1. プロジェクト開始後6カ月目までに、当初のパイロットサイトにて、省の森林計画に沿った土地利用計画と、生計向上計画がプロジェクト関係者及び住民の間で合意される(達成度：比較的高い)

ディエンビエン及びディエンビエンドン郡の6つのパイロットサイトにおける FMP

(土地利用計画)及び生計向上計画(Livelihood Development Plans : LDP)がプロジェクト開始後 11 カ月目に策定された。ディエンビエンフー市(ターレン・パイロットサイト)について、両計画が、3 村落においては 13 カ月目に策定されたが、残り 6 村落については現在最終の策定段階にある。この遅滞の主要な原因の 1 つは、前述した生計向上分野における長期派遣専門家の派遣が予定どおり行われなかったためである。

指標 1-2. プロジェクト開始後 30 カ月目までに、追加パイロットサイトにて、省の森林計画に沿った土地利用計画と、生計向上計画がプロジェクト関係者及び住民の間で合意される

中間レビュー時点において、プロジェクト開始から約 30 カ月が経過しているが、この指標に係る特定の活動は実施されていない。これは、中間レビュー時に REDD+パイロットプロジェクトとの統合が検討され、また追加パイロットサイトが選定される予定であったが、中間レビューの実施時期が当初より 6 カ月遅れたためである。

指標 1-3. プロジェクトの終了時まで両立するアプローチが選定される

現在、プロジェクトでは、森林管理及び生計向上の両計画を策定し、いくつかの生計向上オプションを支援するというアプローチを採用している。両立するアプローチの選定はなされていないものの、アプローチの検証は進められている。

アウトプット 1 の全体的な達成状況：比較的高い

アウトプット 1 に係る活動の最も顕著な成果としては、7 つのパイロットサイト内の 15 村落における森林管理及び生計向上の両計画の策定である⁵。指標 1-2 に関連する活動はまだ開始されていない。指標 1-3 については、活動は開始されたが成果は発現していない段階である。したがって、アウトプット 1 全体の達成状況は、「**比較的高い**」と判断されるのが適切である。

3-2-2 アウトプット 2 の実績

アウトプット 2「**実施機関(中核機関、支援機関)の、パイロット活動を推進するために必要な技術・制度的キャパシティが向上する**」は、以下の 3 つの指標によりその達成度が計られることとなっている。

- | |
|---|
| 2-1. 2010 年末までにプロジェクトの実施体制が承認される。
2-2. トレーニングプログラムの教育内容についての理解度が 80%に達する。
2-3. 参加者数の 90%が、トレーニングプログラムで習得した内容を日常業務の中で活用する。 |
|---|

指標 2-1. 2010 年末までにプロジェクトの実施体制が承認される(達成度：高い)

SUSFORM-NOW は、予定より大幅に遅れたが、ベトナム政府により(Decision 1293/QD-BNN-HTQT) 2011 年 6 月 15 日に正式に承認された。そして、同規定に基づき、2011 年 7 月 8 日にプロジェクト・マネジメント・ユニット(Project Management Unit :

⁵ 6 村落については、策定の最終段階である。

PMU) がディエンビエン省人民委員会により (Decision 663/QD-UBND) 正式に設立された。遅延の主要な理由は、ベトナム側の関連機関内の煩雑かつ長期間にわたる手続きに起因するものである。

指標 2-2. トレーニングプログラムの教育内容についての理解度が 80%に達する (達成度 : 比較的高い)

プロジェクト開始以来、多数かつ多種にわたるトレーニングプログラムが実施されてきた (付属資料 1. 合同評価報告書 (英文) の Annex 11 参照)。これまで計 12 のコースに、178 名の実施機関の職員が参加した⁶。進捗状況報告ワークショップでの C/P の自己評価によれば、基本的にトレーニングプログラム参加者の能力は向上したが、その理解度は 80%には達していないことが確認されたとのことである。中間レビュー時の C/P との面談においても、理解度を定量 (数値) 的に把握することに努めたが、C/P によれば、その度合いはトレーニングプログラムのテーマや参加者のレベルにより異なるので、回答が困難とのことであった。例えば、これまで 1 コースのみのトレーニングに参加経験のある C/P は、その理解度は、面談した C/P の中では最高の 100%であったと回答した。一方、2、3 コースに参加したという別の C/P は、理解度の平均が、面談した C/P の中では最低の 40%から 50%であったと回答した。その結果、面談した C/P の理解度の平均の概算は、80%弱と目標には達していないと判断された。また、理解度が低い原因の 1 つとして、C/P の一部は、主に別の業務のため、研修への参加率が低いことが挙げられた。プロジェクトの終了に向けて、プロジェクトは、トレーニングプログラム参加者の理解度の向上のために何らかの方策をとること、また理解度を計る手法を確立することが望まれる。

指標 2-3. 参加者数の 90%が、トレーニングプログラムで習得した内容を日常業務の中で活用する (達成度 : 比較的高い)

前項の「研修内容の理解度」と同様に、進捗状況報告ワークショップでの C/P の自己評価によれば、トレーニングプログラムで習得した内容を日常業務に活用している C/P の割合は、90%に達していないとの結果となったと報告されている。また、C/P との面談時に確認したところでは、ほとんどの参加者が、研修で習得した知識・技術を日常業務に活用しているとのことだったが、その割合は 90%をやや下回る程度と推定された。この要因の 1 つとして、近い将来の人事異動の可能性を考慮して、研修課題に関連する業務に実際には従事していない者が研修員として選定されていることが挙げられている。

アウトプット 2 の全体的な達成状況 : 比較的高い

上記の指標 2-2 及び 2-3 で述べたとおり、C/P を含めた実施機関職員の能力向上は、ある程度達成されたと判断される。質問票のなかでなされた設問「アウトプット 2『実施機関 (中核機関、支援機関) の、パイロット活動を推進するために必要な技術・制度

⁶ これまでに実施されたトレーニングプログラムの総数は 43 であり、参加者の総数は、実施機関の職員以外 (主にパイロット活動参加者及び村長) を含め 2,430 名である。

的キャパシティが向上する』は達成されたと思うか？」に対して、すべての回答者が、「思う」あるいは「強く思う」と回答し、その平均は、マネジメント・レベルで 4.2、またフィールド・レベルで 4.8 であった⁷。この結果は、C/P がトレーニングプログラム及びオンザジョブ・トレーニング（On the Job Training : OJT）について高く評価していることを示唆するものである。他方の成果として、「パイロット活動実施のための実施プロセスマニュアル（Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation）」がアウトプット 2 に係る活動として 2012 年に策定された。このマニュアルは、越語及び英語で編纂されたもので、「第 1 部：計画策定及びファシリテーション（Planning and facilitation）」及び「第 2 部：選定パイロット活動の実施プロセス（Implementing process of selected pilot activities）」の 2 編からなるものである。このマニュアルは、実際に現場で活用されるなかで、既に数回改定されている。さらに、トレーニングプログラムとは別に、実施機関の職員を対象とした国内でのスタディツアーが 13 回実施されており、82 名の実施機関の職員が参加した⁸（付属資料 1. 合同評価報告書（英文）の Annex 12 参照）。したがって、アウトプット 2 の全体的な達成状況は「**比較的高い**」と判断される。

3-2-3 アウトプット 3 の実績

アウトプット 3「ディエンビエン省において、パイロット活動における成果の省内普及戦略が採用される」は、以下の 2 つの指標によりその達成度が計られることとなっている。

- 3-1. 2013 年初頭までに、技術ガイドラインがまとめられる。
- 3-2. プロジェクトの終了時まで、パイロット活動を通じて選択されたアプローチを普及するための省の計画が省政府に承認される。

指標 3-1. 2013 年初頭までに、技術ガイドラインがまとめられる（達成度：高い）

参加型森林管理・生計向上計画のための技術ガイドラインの初版は、2011 年の前半に作成された。その後、このガイドラインは 2 回改定され、2012 年の終盤に、最終的に「パイロット活動実施のための実施プロセスマニュアル（Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation）」の「第 1 部：計画策定及びファシリテーション（Planning and facilitation）」の別冊「1：計画コンセプト及びファシリテーションスキル（Planning concept and facilitation skills）、2：計画策定（Plan formulation）」として、越語及び英語にて編纂された。

指標 3-2. プロジェクトの終了時まで、パイロット活動を通じて選択されたアプローチを普及するための省の計画が省政府に承認される

この活動は、中間レビュー前に一度実施される予定となっていた。しかし、プロジェクトと JICA 本部との打合せにより、今後、SUSFORM-NOW は省 REDD+ アクションプラン（Provincial REDD+ Action Plan : PRAP）に基づいて実施される予定となっているた

⁷ 評価スケールは、以下の通り：「強く思う = 5」「思う = 4」「どちらでもない = 3」「思わない = 2」「全く思わない = 1」「分からない、適用なし = 0」。

⁸ これまでに実施されたスタディツアーの総数は 16 であり、参加者の総数は、実施機関の職員以外（主にパイロット活動参加者及び村長）を含め 176 名である。

め、この指標が示す省の計画を作成する必要はないと判断され、本活動は取り消しとなった。

アウトプット3の全体的な達成状況：高い

指標 3-1 については、技術ガイドラインが、最終的に「パイロット活動実施のための実施プロセスマニュアル」の一部として編纂されたことから、その達成度は「高い」とみなされる。一方、指標 3-2 に係る活動は、今後の REDD+パイロットプロジェクトとの統合により、プロジェクトの枠組みが変更されるため取り消しとなった。よって、現時点でのアウトプット3の全体的な達成状況は「**高い**」と判断するのが妥当である。

3-3 プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標は、「他地域に適用可能なアプローチにより、パイロットサイトにおいて、参加型による森林管理と住民の生計向上が両立する」と設定されており、以下の2つの指標によりその達成度が計られることとなっている。

1. プロジェクトの終了時まで、両立可能なアプローチが採用されたパイロットサイトにおいて、土地利用計画に沿って森林管理が行われる。
2. プロジェクトの終了時まで、両立可能なアプローチが採用されたパイロットサイトにおいて、生計向上計画に基づいて活動を実践した参加世帯の現金収入が増加する。

指標 1. プロジェクトの終了時まで、両立可能なアプローチが採用されたパイロットサイトにおいて、土地利用計画に沿って森林管理が行われる（達成度：比較的高い）

林業関連活動については、表4に示されるとおり、造林（afforestation：AF）、森林保護（protecting forest：PF）、天然更新（assisted natural regeneration：ANR）、保育（tending：T）の4種の作業が、2012年にパイロットサイト活動の参加者により実施された。

表中のデータは、ほとんどの林業関連活動が FMP（土地利用計画）に準じて実施されたことを示唆している。Ta Leng パイロットサイトの Ke Nenh 及び Phieng Bua の2つの村落においては、計画されていた造林を前倒しで実施したことを特筆すべきである。他方で、現在のモニタリングシステムでは、森林が実際に保護されたのか、あるいは ANR 天然更新されたのかを定量的に判断することは極めて困難である。しかし、中間レビューのチームメンバーが Phieng Ban パイロットサイトで現地視察時に観察した限りにおいては、保護の対象の森林は、劣化あるいは森林資源の過剰な採取の痕跡も見られず、適切に管理されている様子がうかがえた。すべての活動がほぼ軌道に乗っており、本指標がプロジェクト終了までに達成されることが見込まれることを勘案すれば、現在の本指標の達成度は「**比較的高い**」と判断される。

表 4 2012 年の林業関連活動実績

パイロットサイト (村落)	計画		実績	達成度 (%)
	活動種	目標 (ha)		
Sai Luong	AF	20.0	0	0
	PF	132.9	保護	100
	ANR	30	更新	30
Phieng Ban	AF	15	38.6	257
	PF	15	保護	100
Tia Ghenh C	PF	209	保護	100
Huoi Mua A	T	122.1	パトロールの み	?
Na Phat A	ANR	30	0.6	2
	PF	61	保護	100
Hang Tro B	PF	292	保護	100
Ta Leng (Na Nghe)	AF	204.72	14.2	7
Ta Leng (Ke Nenh)	AF	(40 in 2013)	(24.4)	(61)
Ta Leng (Phieng Bua)	AF	(23.7 in 2015)	(5.4)	(23)

注：Ta Leng パイロットサイトの Ke Nenh 及び Phieng Bua 村落における造林は、計画の前倒しで実施された。

指標 2. プロジェクトの終了時まで、両立可能なアプローチが採用されたパイロットサイトにおいて、生計向上計画に基づいて活動を実践した参加世帯の現金収入が増加する (達成度：比較的高い)

これまでに、プロジェクト対象の 9 村落において、11 種の生計向上関連活動が支援された [付属資料 1. 合同評価報告書 (英文) の Annex 13 参照]。これらに含まれるのは、牛の飼育、養豚、魚の養殖、養鶏、バイオガス、家庭菜園、果樹栽培、等高線栽培、改良竈、モンペワイン製造、籐生産である。

プロジェクトがこれまでに、各対象村落において FMP 及び生計向上計画を策定し、上記のすべての活動に対する支援を開始したことは高く評価されるべきことである。通常、現金収入の創出が確認されるまでには時間を要するが、Phieng Ban 及び Tia Ghenh C のパイロットサイトにおいては、中間レビューのチームメンバーの視察時に、豚飼育、野菜栽培及びモンペワイン製造により既に現金収入が得られたことが確認された。最近になり、LDC チームにより、現金収入創出を含むインパクト調査が 7 つのパイロットサイトにおいて開始されたことから、その結果が、本指標に対する達成度をより正確に評価するために活用されることが可能となる。上記の結果から、現在の本指標の達成度は「**比較的高い**」とみなされる。

プロジェクト目標の全体的な達成状況：比較的高い

ほぼすべての林業関連活動が FMP に沿って実施されていること、また生計向上活動により現金収入の創出も始まったことが確認された。SUSFORM-NOW は 5 年間の協力期間の中途にあるが、上記のプロジェクト目標に対する 2 つの指標の達成状況、並びに 3 つの

期待されるアウトプットの達成状況から、活動のアプローチ及び実施状況は適切であることが示唆された。したがって、プロジェクト目標の全体的な達成状況は「**比較的高い**」と評価されるのが妥当である。

3-4 実施プロセスにおける特記事項

プロジェクトの実施プロセスについて、以下の3つの特記事項が挙げられる。

3-4-1 活動実施工程の修正

活動工程における最も顕著な変更は、既述の通り、「収入向上（生計向上）」分野の長期派遣専門家の確保が困難であったことにより引き起こされた。プロジェクトでは、この問題に対し、活動工程の見直し及び活動実施プロセスの変更により対応することとなった。

3-4-2 モニタリング及び意思疎通の仕組み（システム）

SUSFORM-NOW の現場レベルでのモニタリングは、主にレポーティング・システムにより行われている。対象村落の村長は、プロジェクトとの間で合意されたフォーマットに基づき、月例報告書を作成することが義務づけられている。また、普及員は、家畜飼育活動及び非家畜飼育活動（林業関連活動含む）別のモニタリングのために、毎週／隔週／毎月、パイロットサイトを訪問することとなっている。これらのモニタリングに関する報告書は、コミューンを経由して、市／郡レベルに送付される決まりとなっている。また、市／郡レベルの C/P は、その報告書をレビューした後、プロジェクト・オフィスへ転送し、そこですべての C/P 及び JICA 専門家と共有されるという仕組みとなっている。一方で、これまでいくつかの大学からボランティアが派遣され、主にパイロット活動の参加者の内発的発展に関するモニタリングを行ってきた。

また、別のモニタリングシステムとして、JCC 会議に加え、月例ワーキング・グループ会合及び半年毎に行われる進捗状況報告ワークショップが、情報共有、活動進捗確認、関連事項の討議等を目的として継続して行われてきた。これらの会合は、すべての C/P、JICA 専門家及びプロジェクト・スタッフが参加するため、プロジェクト活動の成果や実施プロセスといった全体的なモニタリングのための主要な機会ともなっている。

関連事務所間の意思疎通の仕組みについては、円滑化及び迅速化を図るため、2つの郡事務所⁹にスキャナーを供与することにより、改善がなされた。

3-4-3 プロジェクト活動の情報及び成果の整理・分類

プロジェクトでは、これまでに報告書やマニュアルを含む多数の技術資料が作成されてきた。その総数はこれまでに 121¹⁰にのぼり、すべてがハード及びソフト形式にて適切に整理・保管されている。この作業は、プロジェクトの目的を達成する一助となるこ

⁹ ディエンビエン市事務所は、プロジェクト事務所から近距離に位置するという理由により、スキャナーは供与されていない。

¹⁰ 総数は、プロジェクトにより作成されたすべての資料であり、異なる言語（越語、英語、日本語）で作成された同じ内容の文書を含むものである。

とが期待される。

第4章 評価結果

4-1 妥当性

要約：妥当性は「高い」と判断される。SUSFORM-NOW の内容は、ベトナムの国家開発政策及びわが国のベトナムに対する ODA 政策にも合致している。また、政策的及び経済的な観点から、ターゲット・グループのニーズにも適切に対応したものとなっている。

4-1-1 ベトナムの開発計画及び林業政策との適合性

SUSFORM-NOW の上位目標及びプロジェクト目標は、ベトナムの国家計画である社会経済開発戦略（Socio-Economic Development Strategy：SEDS 2011-2020）や社会経済開発計画（Socio-Economic Development Plan：SEDP 2011-2015）に合致したものである。SEDS は、持続的開発の観点から環境保護・改善を含むいくつかの重要事項に重点を置いたものとなっている。さらに、主要な目的の1つとして、環境的な開発に係る指標として、2020年までに森林被覆率を45%に引き上げること、また気候変動への積極的かつ効果的な対応が明記されている。

林業セクターにおいては、2007年に策定された「ベトナム林業開発戦略（Vietnam Forestry Development Strategy）2006-2020」が最も重要な政策である。同戦略には、①管理、保護、資源活用の統合／調和、②経済成長、貧困削減、環境保護への顕著な貢献、③持続的管理、利用、開発、④林業活動の社会化及び森林保護・開発のための投資資源の誘致、の4つの開発視点が明記されている。現在のプロジェクトの活動は、上記の4つの視点に直接的に関連したものとなっている。「森林保護・開発計画（Forest Protection and Development Plan）2011-2020¹¹」は、既存の森林を保護し、ANR 及び AF により林地を増大すること、また地域コミュニティの生計を向上することを目的としている。一方、森林環境サービスに対する支払い（Payment for Forest Ecosystem Services：PFES）¹²は、森林保護へのファンドを集め、地元の森林所有者に分配するシステムであり、全国的な実施が開始されたところである。林業セクターにおける非国家予算による重要な資金源となることが期待されている。

以上から、SUSFORM-NOW はベトナムの開発計画及び林業政策に合致したものであると評価することができる。

4-1-2 ベトナムに対するわが国の ODA 政策との整合性

SUSFORM-NOW の上位目標及びプロジェクト目標は、わが国の ODA 政策に合致している。ODA 大綱によれば、「地球温暖化及び環境問題」を含む地球規模の課題に取り組むことは、優先分野の1つである。一方で、2012年に策定された対ベトナムの国別援助方針には、①成長と競争力強化、②脆弱性への対応、③ガバナンス強化、の3つの優先分野が明示されている。SUSFORM-NOW は、自然環境及び気候変動等の脅威への対応を支援すると明記された「脆弱性への対応」分野について、直接的に関連している。ま

¹¹ 首相令 (Prime Minister Decision) No. 57/ Q-TTg.

¹² 法令 (Government Decree) No. 99 / 2010/ ND-CP.

た、農村開発への支援は、貧困削減のためになされることも示唆されている。したがって、SUSFORM-NOW は、ベトナムに対するわが国の ODA 政策に合致したものであると判断される。

4-1-3 ターゲット・グループのニーズへの適合性

SUSFORM-NOW のターゲット・グループは、PDM により、実施機関職員及びパイロットサイトのグループメンバーと規定されている。「3-1-2 ベトナム側の投入、(1) C/P の任命」で述べたとおり、多様なレベルかつ分野の関係機関が SUSFORM-NOW に関与している。これらの関連機関の政策には、意識向上及び生計向上による参加型森林管理を通じた林業開発が含まれている。質問票による調査においても、プロジェクト目標とニーズの間の妥当性について、すべての回答者が、「強く思う」ないしは「思う」と回答している。パイロット活動への参加者については、C/P との面談においても、プロジェクトの活動が進むにつれ、参加者及び非参加者によるニーズの高まりがみられるという声が聞かれたことから、プロジェクト目標及びアプローチは、地域のニーズに合致したものであることがうかがえる。したがって、SUSFORM-NOW は異なるターゲット・グループのニーズに十分に対応したものとなっているといえる。

4-1-4 プロジェクト周辺の変化

プロジェクト開始以降、木材加工工場がプロジェクト対象地域近郊に造成されたことを除き、その他の自然条件、社会経済条件、政策的条件等に顕著な変化はみられない。木材加工工場は、ディエンビエン郡 (Nua Ngam コミューン) 及びトゥアンザオ (Tuan Giao) 郡にそれぞれ 1 カ所ずつ造成され、最近になって操業が開始されたものであり、原材料となる木材や竹の需要が急増している。これらの工場 (会社) は、地域住民による植林を支援するために、苗木を配布し、植林などの技術指導を行っているといわれている。このため、パイロット活動の参加者、特に Nua Ngam コミューン内の Sai Luong パイロットサイトの住民は植林に対してより熱心になったと伝えられている。この変化は、パイロット活動の参加者は勿論、それ以外の地域住民の森林管理に対する意識が更に向上することが期待されるなど、プロジェクトにとっては好ましいものである。

4-2 有効性

要約：有効性は「比較的高い」と考えられる。プロジェクト目標は、プロジェクト期間終了までに高いレベルで達成されることが見込まれる。定期的な会合及びワークショップが有効性を高めることに貢献している。「収入向上 (生計向上)」分野の長期派遣専門家の確保が困難であったことは、プロジェクト管理上の阻害要因となった。

4-2-1 プロジェクト目標の達成見込み

プロジェクト目標は、「他地域に適用可能なアプローチにより、パイロットサイトにおいて、参加型による森林管理と住民の生計向上が両立する」と設定されている。「3-3 プロジェクト目標の達成度」でも触れたとおり、パイロットサイト内の森林は、現在適切に管理されており、現金収入創出のいくつかの事例も確認されている。参加型

による森林管理と生計向上という2つのコンポーネントの連関を検証する手法／アプローチについての技術的な問題が残ってはいるが、プロジェクトのアプローチの意義・重要性は関係者により高く評価されていることから、プロジェクト目標は、プロジェクト協力期間終了までに高いレベルで達成されることが見込まれる。

4-2-2 有効性に係る促進・阻害要因

プロジェクトのアウトプットの達成に関する最も顕著な促進要因は、プロジェクト管理及び意思疎通の仕組みにあるといえる。「3-4 実施プロセスにおける特記事項」において指摘したとおり、プロジェクトでは、月例ワーキング・グループ会合及び進捗状況報告ワークショップが、プロジェクト活動の成果や実施プロセス等の全体的なモニタリングのために継続して行われている。意思疎通の仕組みについては、2つの郡事務所にスキャナーを供与することなどにより、改善がなされた。

一方で、阻害要因の1つとなったのが、「3-1-1 日本側の投入」で述べた「収入向上（生計向上）」分野の長期派遣専門家の派遣が叶わなかったことである。また、別の阻害要因としては、ベトナム側によるローカルコストの支出が遅れたこと、またその額が低いレベルに留まっていることである。現在、JICA側が暫定的にC/P及びその他の実施機関の職員が現場で活動する際の日当、宿泊、交通費を肩代わりしている状況である。

4-2-3 アウトプットからプロジェクト目標に至るまでの外部条件の変化や影響

PDMでは、プロジェクト目標を達成するための外部条件として、①住民の森林管理への参加が制約を受けるほどに、政府の森林政策が大きく変更されない、②大規模な自然災害が発生しない、③経済条件が大きく変動しない、④パイロットサイトの内部並びに周辺の人口が急激に変化しない、の4つが設定されている。現在のところ、これらの外部条件に対する顕著な変化は生じていない。

4-3 効率性

要約：効率性は「比較的高い」と判断される。日本側からの投入は、「収入向上（生計向上）」分野の長期派遣専門家の派遣以外は、ほぼ計画通りに行われた。ベトナム側からの投入は、C/P 予算の手当の遅れ及び支出額の不足が効率的な活動実施の妨げとなった。一方、定例会議等の実施は、効率的なプロジェクト管理に貢献する要因となった。他の JICA プロジェクト及び機関との連携は効率性を向上させるものとして期待される。

4-3-1 投入

日本側からの投入として、専門家派遣、機材供与、現地業務費負担、研修員受入について、「収入向上（生計向上）」分野の長期専門家の派遣及び車両の調達以外は、ほぼ計画どおり行われた。「3-1-1 日本側の投入」で既述のとおり、「収入向上（生計向上）」分野の長期専門家のポストは、LDCにより置き換えられ、その結果として、柔軟な人材の配置が可能となった。プロジェクトでは、プロジェクト開始後早期に2台の車両（四輪駆動車及びミニバス）を調達し、北西部山岳地域農村開発プロジェクト

(Northwest Region Rural Development Project in Vietnam : NORRD) が調達する車両 2 台と合わせて、共同で使用する予定であった。しかし、実際の調達は、プロジェクト開始の 9 カ月後となり、また NORRD の車両の調達が更に遅れたため、一時期公用車両が使用できない状態であった。SUSFORM-NOW の車両調達の遅延は、ベトナム側による A4 フォームの JICA への提出の遅れなど手続きに時間を要したこと、またベトナム国内に車両の在庫がなかったため、日本から輸送する必要があったことが主な要因である。

一方、ベトナム側からの投入については、C/P の任命はほぼ計画どおり行われた。しかしながら、「3-1-2 ベトナム側の投入」で述べたとおり、ローカル予算の低い支出率（支出予定総額の 14%）は、プロジェクト実施に対して負の影響を与えたといわざるを得ない。このような状況に対処するため、プロジェクトでは、本来は先方政府側が負担すべき費用を JICA 側の予算にて肩代わりする措置をとっている。これらの費用は、C/P を含む実施機関の職員の日当、宿泊費、交通費、またプロジェクト車両の燃料費・洗車費等であり、2012 年だけで、少なくとも 2 億 3,800 万ベトナムドンに上る額となっている。

4-3-2 効率性に係る促進・阻害要因

JICA 専門家の派遣については、効率性に係る促進及び阻害の両方の要因が存在する。「収入向上（生計向上）」分野の長期専門家が確保できなかったことは、効率性の観点から明らかに活動実施の阻害要因であった。しかし、最終的に同分野の長期専門家の代わりとなった現在の LDC チームの派遣は、長期あるいは短期専門家の派遣と比較して、主に業務工程の面で柔軟な対応が可能であることから、効率的であると考えられる。

他方、効率性に係る阻害要因としては、前項で述べたベトナム側による低いレベルのローカル予算支出が最も顕著なものである。

4-3-3 プロジェクトの運営・管理の適切性

「4-2 有効性」で既述のとおり、月例ワーキング・グループ会合及び進捗状況報告ワークショップは、有効性に係る促進要因の 1 つであるが、同時に、プロジェクト運営・管理の観点から、プロジェクト関係者の時間と労力を節約する効果もあり、効率性に係る促進要因でもあると考えられる。さらには、JCC 会合がこれまでに 2010 年 11 月と 2011 年 12 月の 2 回、実施されている。第 2 回の JCC 会合においては、ディエンビエン REDD+パイロットプロジェクトとの統合問題等の重要事項が協議されるなど、JCC は適正に機能していると判断される。

4-3-4 他の JICA 案件との連携や援助機関等の協力による成果

本項の「4-3-1 投入」でも触れたとおり、現在 4 台の車両が NORRD と共同で活用されている。調達が大幅に遅れたにもかかわらず、現在、すべての車両は両プロジェクトにより効率的に使用され、また適正に管理されている。

また、前項で述べたとおり、SUSFORM-NOW とディエンビエン REDD+パイロットプロジェクトとの統合が中間レビュー後に予定されている。これまでに、両プロジェクトの間で、統合に向けた調整のための打合せ等が頻繁に行われる一方、SUSFORM-NOW

にて開発された技術マニュアルがディエンビエン REDD+パイロットプロジェクトと共有されるなど連携が進められてきた。

さらに、REDD+分野での協力の可能性を探るため住友林業との協議が断続的に実施されてきており、その結果、ディエンビエン REDD+パイロットプロジェクトのパイロットサイト内に位置する2つの対象村落が、住友林業が支援するプロジェクトのパイロットサイトとして選定されることがほぼ確実な情勢となっている。

4-3-5 活動からアウトプットに至るまでの外部条件の変化や影響

PDM 上では、活動からアウトプットに至る外部条件として、①林地に関する政府の政策が大きく変更されず、土地利用計画が予定とおりに作成される、②トレーニングプログラムの参加者がプロジェクトに継続して関与する、の2つが示されている。1つ目の条件は、これまでにプロジェクトに負の影響を与えるような林業関連政策に変更はなかったことから、満たされたと判断される。2つ目については、トレーニングプログラムの対象である当初のC/Pのうち、3名がC/Pから外れることとなった〔うち2名は通常の異動により別の職場に配置換え、1名（PMUの副ダイレクター）は定年退職〕。これは、プロジェクトにとって、さほど深刻な影響を及ぼすには至らなかったため、この外部条件もほぼ満たされたと考えられる。

4-4 インパクト

要約：インパクトは「比較的高い」。参加型による森林管理及び生計向上の普及にあたっては、好ましい環境が整っているため、仮に必要な資金が確保されるならば、プロジェクト終了後3年から5年の間に上位目標は達成されると思われる。パイロット活動参加者の意識の向上において、特に顕著な正のインパクトの発現がみられる。負のインパクトは確認されていない。

4-4-1 上位目標達成の見込み

SUSFORM-NOWの上位目標は、「ディエンビエン省内のパイロットサイトに類似した条件地において、参加型による森林管理と住民の生計向上の両立が進む」と規定されている。本中間レビューの質問票調査、面談及び現場視察を通じて、現在のプロジェクトの活動に対する強いニーズがあることが明らかとなり、また、C/P自身もプロジェクトのアプローチに強い関心を寄せていることも確認された。したがって、仮にプロジェクトが終了期間までに期待される結果を出すことができれば、その成果の普及にあたっては好ましい環境が整っているといえることができる。唯一の制約要因は資金であるが、数名のC/Pが面談において述べたとおり、省、郡、コミューン等の地方政府が予算を配分することが期待される¹³。この取組みを促進するためにも、アウトプット3「ディエンビエン省において、パイロット活動における成果の省内普及戦略が採用される」がプロジェクトにより適切に達成されることが望まれる。

¹³ これは、PDMで規定されている外部条件の1つでもある。

4-4-2 プロジェクト実施の効果及び予期しない影響

SUSFORM-NOW はちょうど中間点に達したばかりであることから、成果、特に正のインパクトを期待するのは時期尚早ではある。しかし、プロジェクトの関係者によると、いくつかの明白な正のインパクトの発現がみられる。例えば、非パイロット活動参加者によるパイロット活動の導入として、養豚、養鶏、野菜栽培、バイオガス利用等が開始されたことは顕著な事例である。また、別の事例として、Phieng Ban パイロットサイトにおいては、養豚のインタレストグループのメンバー数が、当初の 34 から 47 に増加したこと、更にメンバーが雌豚を次の世帯に回す期間を短縮するためにリボルビングファンドの額を増額したことも確認されている。これらの事例は、コミュニティ内の意識の向上と同時に、将来のプロジェクト活動の普及の可能性も示すものである。また、毎月発行される LDC ニュースは、パイロット活動参加者に良い影響を与えていることも示唆された。

なお、これまでに、明確な負のインパクトは確認されていない。

4-5 持続性

要約：持続性は「中庸」と判断される。政策的な持続性は、非常に高い。組織体制的な持続性は、プロジェクトの終了に向けて高まると思われる。技術的側面からは、関係者により習得された技術や知識が維持されると見込まれる。財政的には、地方政府等により資金が投入されることにより改善されることが望まれる。

4-5-1 政策的持続性

プロジェクト目標及び上位目標に関連する参加型森林管理及び生計向上等の国家政策は、プロジェクトにとって非常に好ましい状況であり、当面の間、顕著な変更はなされないと思われる。むしろ、省を直接的に支援／動機づけするようないくつかの新しい政策が策定された。例えば、省内の Da 川及びその他の流域内の森林を保護することにより、PFES から省が受益する可能性は高い。「森林保護・開発計画 2011-2020」は、ANR 及び新規植栽を通じた劣化林の復旧、また地域コミュニティの生計向上を目的としている。国家 REDD+アクションプログラム (National REDD+ Action Programme : NRAP)¹⁴は 2012 年に承認され、ディエンビエン省は JICA の REDD+パイロットプロジェクトと連携して、パイロット省の 1 つとなることを目指している。

4-5-2 組織体制的持続性

プロジェクトでは、省レベル (DARD) からコミュニケーションレベルに至るまでの既存の運営・管理システムの強化に取り組んできた。組織体制的な能力に係るプロジェクト関係者の意識は、プロジェクトの終了に向けて高まっていくことが見込まれるため、このシステムは持続していくと予測される。また、DARD の指導者達は、C/P 機関とパイロット活動の参加者、また省・郡とコミュニケーションの普及員との関係を保持することにより組織体制的な持続性を確保したいという考えを持っていることも確認された。

¹⁴ 首相令 (Prime Minister Decision) No. 799/ QD-TTg.

他方、現場レベルでは、現在、パイロットサイトの各村落において、村落管理委員会（Village Management Board）が形成されつつあることから、組織体制的な持続性は高いと判断される。

4-5-3 技術的持続性

プロジェクト開始以降、研修、スタディツアー、OJT等を通じてプロジェクト関係者の能力向上を図るために、多大な努力が払われてきた。本報告書の「3-2-2 アウトプット2の実績」で述べたとおり、質問票調査の結果から、すべての回答者が、実施機関の技術的及び組織体制的な能力は強化されたと感じているということが判明した。この傾向は、プロジェクトの終了に向けて、更に強まって行くことが期待される。したがって、習得された技術や知識は、プロジェクト終了後も関係者により維持されると判断される。しかし、技術の普及にあたっては、アウトプット3（ディエンビエン省において、パイロット活動における成果の省内普及戦略が採用される）がプロジェクトにより適切に達成されることが必須である。

一方、パイロットサイトレベルでの技術的持続性は、非パイロット活動参加者への技術普及の事例にみられる通り、高いと判断される。

JICAにより供与された機材は、現在のところ、各事務所により適切に使用・管理されていることが確認され、今後もこの傾向は継続されるものと思われる。このことは、質問票調査の結果からも裏づけられることである。

4-5-4 財政的持続性

「3-1-2 ベトナム側の投入」及び「4-3 効率性」で述べたとおり、現在のプロジェクトの財政的状況は、主にベトナム側からの限られた投入のため、非常に厳しい状況である。この件は、しばしば活動実施を阻害する要因の1つとなっている。財政的な状況は、プロジェクトの開始時と比較して、改善されつつあるが、一段の努力がベトナム側によりなされる必要がある。プロジェクトの目に見える成果が、予算支出に係る状況の改善を促進することに貢献し、更にこれがプロジェクト終了後に、プロジェクトの成果を維持し、プロジェクトの上位目標の達成に向けて、他地域への普及につながることを期待される。

第5章 結論

いくつかの阻害要因にもかかわらず、予定されていた活動がほとんどすべて PDM 及び PO に沿っておおむね順調に実施されてきた。アウトプットの一部には、7つのパイロットサイト内の 15 村落での FMP 及び生計向上計画の策定、実施機関職員の能力向上、「パイロット活動実施のための実施プロセスマニュアル (Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation)」など、既に達成されたもの、あるいは達成されつつあるものもある。これらのアウトプット及び活動の結果として、パイロットサイト内での参加型森林管理及び生計向上が向上しつつあることが、今回の中間レビューの結果、明らかとなった。したがって、2015 年 8 月のプロジェクトの協力期間の終了までに、プロジェクト目標は達成されると判断される。

一方、評価 5 項目による評価の観点からは、妥当性、有効性、効率性、インパクトの 4 項目については、「高い」、あるいは「比較的高い」という良好な結果が得られた。最も低い評価となった「持続性」を担保するためには、特に関係機関のオーナーシップを高めること、またベトナム側の予算措置を含めた出口戦略の検討を行うことが、プロジェクトにとって極めて重要である。

第6章 提言

6-1 プロジェクトに対する提言

6-1-1 活動オプションの再考

現在、プロジェクトにより、特に生計向上分野において多くの活動が支援されている。しかしながら、活動のいくつかは、森林保護、あるいは持続的森林管理との明確な連関がみられない。したがって、それぞれの活動の利点及び欠点を特定するために、すべての活動をいくつかの基準に基づいて整理することが重要である。この措置は、追加パイロットサイトでの活動を選定することにも役立つこととなる。

6-1-2 モニタリングシステムの改善

SUSFORM-NOW では、これまでに活動やその他の事柄をモニタリングするためのいくつかのシステム、あるいは手法が用いられてきた。既述のとおり、モニタリングボランティアが、主にパイロット活動参加者の内発的発展を観察するために各パイロットサイトに配置されてきたが、このシステムは適切、あるいは効率的に機能していないことが指摘されていることから、このやり方は中止し、別の手法の導入を検討することが提言される。また、森林管理に係るモニタリングシステム／手法も、特に林況の変化に関する定量的及び定性的なデータ／情報を収集できるよう再考されることが望まれる。

6-1-3 活動実施アプローチの改善

現在の活動の計画策定及び実施のアプローチは、限られた数の地域住民に対して集中的に支援を行い、森林管理及び生計向上モデルの開発を行うものである。プロジェクト後半では、プロジェクト活動をより多くの地域住民に普及するために、現行のプロジェクトの仕組みを更に効率的にするよう改良する必要がある。1つのオプションとして、技術研修に参加する機会を、パイロットサイト内の希望するすべての地域住民に与えることが検討されるべきである。

6-1-4 成功事例の収集・整理及び普及・啓もう

多くのパイロットサイトにおいて、森林管理及び生計向上に係る優れた実践事例として、例えば、森林保護に関する厳格な規則の制定、豚の回転資金（リボルビングファン）の森林巡視への活用等が確認されている。これらの優れた実践事例及びプロジェクトによる正のインパクトを収集・整理し、また他地域への普及のあり方について検討することが提言される。

6-1-5 技術資料の共有

「3-4 実施プロセスにおける特記事項」で既述のとおり、プロジェクトではこれまでに121もの技術資料が作成されてきた。これらの資料を、種類、重要性、ニーズ別等に分類し、例えばウェブサイトを通じて他機関等と共有することが検討されるべきである。

6-1-6 PDMの修正

SUSFORM-NOWは、ディエンビエン REDD+パイロットプロジェクトとの統合が予定されていることから、PDMが修正されることが必要である。修正案は、付属資料1. 合同評価報告書（英文）のAnnex 14に示されるとおりである。

6-2 ベトナム側に対する提言

6-2-1 C/P予算の支出

ベトナム側によるC/P予算の支出の遅れ及び不足が、プロジェクト活動の実施上、負の影響を与えてきたことは否めない。更なる予算が、ディエンビエン省人民委員会からDARDへ配分されることを提言する。

6-2-2 実施機関の関与及び意識の向上

プロジェクト実施期間中、実施機関のプロジェクトへの関与の度合いは高まってきたと評価される。しかし、重要な会議等への参加率が低位に留まるなど、まだ関与の度合いが低いと思われる場合がある。したがって、プロジェクト運営・管理における実施機関の役割を再考し、プロジェクト活動を更に促進し、また、高いレベルの持続性を確保するためにオーナーシップを高める努力が求められる。一案として、フルタイムのC/P数名をプロジェクト・オフィスに配置することが推奨される。

6-2-3 職務環境改善への支援

職務環境を改善し、プロジェクト活動を更に支援するために、ベトナム側は、オフィスのスペースを増やし、DARD内の会議室及び運転手を優先的に使用できるよう便宜を図ることが求められる。この措置により、特にディエンビエン REDD+パイロットプロジェクトと統合後に、プロジェクトがより多くの業務を遂行できる環境作りに寄与すると期待される。

第7章 PDM・PO の修正

中間レビュー調査結果を踏まえ、REDD+パイロットプロジェクトの成果をSUSFORM-NOW に統合させる目的でPDM・POの修正をベトナム側と実施した。

7-1 REDD+パイロットプロジェクト概要

REDD+パイロットプロジェクトは、ディエンビエン省における省 REDD+アクションプランの策定を通じて、ディエンビエン省がNRAPに沿ってREDD+を実施するための技術、制度を強化することを目的とする。

省 REDD+アクションプランはNRAP及びそれに準じて定められる各種実施方針に即して作成する必要があり、REDD+に関連する諸政策とも関連することから、これらの状況と進展を十分に把握・理解し、PRAPの作成に適切に反映させることが重要となる。

具体的な活動としては、開発調査「ベトナム気候変動対策の森林分野における潜在的適地選定調査」の成果の1つであるディエンビエン省 REDD+基本計画案の改訂、パイロットエリアの選定、パイロットエリアにおける実施計画（アクションプラン）、省MRVシステムの開発、BDS オプションの開発、等を実施中である。また、これら活動から得られる知見・教訓は、国家レベルの政策・制度構築へとフィードバックし、ベトナム国のREDD+政策実施に寄与することを想定している。

REDD+パイロットプロジェクトは2013年9月まで実施予定であるが、SUSFORM-NOWの中間レビュー調査に合わせて成果をSUSFORM-NOWに統合する旨、ベトナム側とREDD+パイロットプロジェクト詳細計画策定調査時（2011年10月）にM/Mで合意していた。このことから、本統合に伴うPDM・POの修正をベトナム側と行った。

7-2 PDM・PO 修正に係る特記事項

7-2-1 省 REDD+制度の構築

REDD+パイロットプロジェクトは他ドナーに先行して省レベル REDD+制度構築を進めており、その活動は中央政府及び他ドナーにも注目されている。また、プロジェクトから得られる教訓・知見は同国における省 REDD+制度のモデルとなることが期待される。

統合後のプロジェクトにおいては、従来のSUSFORM-NOWのアプローチを考慮しつつ、省 REDD+制度の構築を重要な成果として設定した。

7-2-2 SUSFORM-NOW の手法等¹⁵の REDD+活動への活用

REDD+の実施にあたっては村落レベルでの REDD+活動実施計画を策定するが、例えば、SUSFORM-NOW で実施検証している参加型森林管理・生計向上活動を組み込んだ村落開発計画の策定手法等、SUSFORM-NOW がこれまで培った内容を今後も継続検証するとともに REDD+活動の実施に活用することが求められる。

¹⁵ SUSFORM-NOW で実施検証した参加型森林管理・生計向上活動に係る手法等

これらを効果的に実施するため、パイロットサイトを、①当初パイロットサイト（プロジェクト開始当初に選定した7サイト）、②追加パイロットサイト（REDD+パイロットプロジェクトにて選定した2サイト）と区分した。各サイトの目的は以下のとおりである。

当初パイロットサイト：村落開発計画の策定実施など SUSFORM-NOW が実施している活動の継続的なノウハウ蓄積、及び追加パイロットサイトへのノウハウ提供

追加パイロットサイト：REDD+アクションプラン（REDD+ Action Plan：RAP）の策定・実施

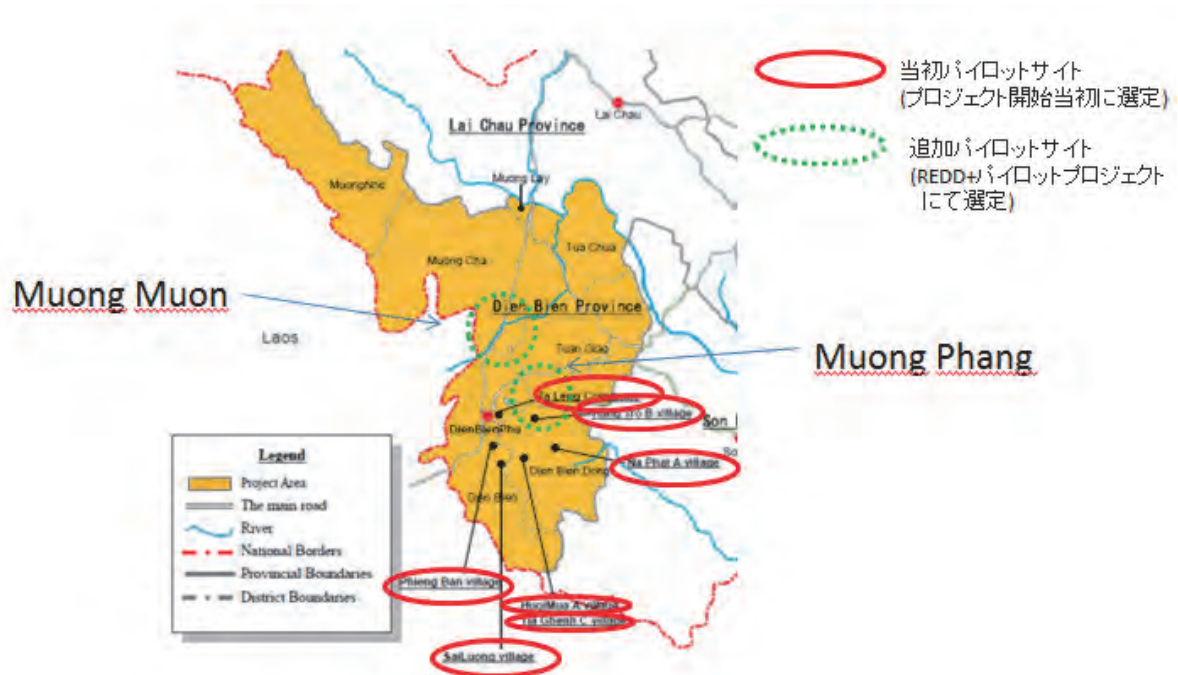


図2 パイロットサイト図

7-3 PDMの修正

ベトナム側との協議を通じて表5のとおりPDMを修正した（下線部分が主な変更点。指標等は付属資料を参照）。

表5 PDM 変更内容

変更前	変更後
<p>上位目標： ディエンビエン省内のパイロットサイトに類似した条件地において、参加型による森林管理と住民の生計向上が両立する。</p>	<p>上位目標： ディエンビエン省内の追加パイロットサイトに類似した条件地において、<u>省 REDD+アクションプランの実施を通じて、参加型による森林管理と生計向上が進む。</u></p>
<p>プロジェクト目標： 他地域に適用可能なアプローチにより、パイロットサイトにおいて、参加型による森林管理と住民の生計向上が両立する。</p>	<p>プロジェクト目標： <u>省 REDD+アクションプランの実施を通じて、参加型による森林管理と住民の生計向上が進む。</u></p>
<p>プロジェクト成果：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土地利用計画と生計向上計画が両立するアプローチが検証される。 2. 実施機関（中核機関、支援機関）の、パイロット活動を推進するために必要な技術・制度的キャパシティが向上する。 3. ディエンビエン省において、パイロット活動における成果の省内普及戦略が採用される。 	<p>プロジェクト成果：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>追加パイロットサイトにおける REDD+アクションプランの有効性・実現可能性が検証される。</u> 2. 実施機関（中核機関、支援機関）の<u>省 REDD+アクションプラン実施のために必要な技術・制度的能力が強化される。</u> 3. ディエンビエン省において、<u>省 REDD+実施のために必要な計画と技術資料が作成される。</u>
<p>活動：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1. パイロットサイトを選定する。 1-2. 選定されたパイロットサイトにおいて社会経済調査を通じて、土地利用と土地利用権（Land Use Right）の現状を明確化し、ステークホルダーの合意を得る。 1-3. パイロット活動の計画と導入に向けて住民の参加を促す。 1-4. 各パイロットサイトにおいて参加型森林管理と生計向上計画（i.e. 土地利用計画と生計向上計画）を策定する。 	<p>活動：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1.パイロットサイトを選定する¹⁶。 1-2.社会経済調査を実施する¹⁷。 1-3.<u>土地利用と森林の使用権の現状を明確化し、利害関係者の合意を得る¹⁸。</u> 1-4.<u>コンサルテーション会合を通じて、パイロット活動の導入と形成に向けて住民の参加を促す¹⁹。</u> 1-5.<u>当初パイロットサイトにおいて参加型森林管理計画と生計向上計画を策定する。</u> 1-6.<u>当初パイロットサイトにおいて参加型森林管理計画と生計向上計画を実施する。</u>

¹⁶ 「パイロットサイト」は、次のとおり区分する。(1) 当初パイロットサイト（プロジェクト開始当初に選定した7サイト）、(2) 追加パイロットサイト（REDD+パイロットプロジェクトにて選定したサイト）。追加パイロットサイトは、2 コミューン（Muong Muon, Muong Phang）を選定。

¹⁷ 社会経済調査に関しては当初パイロットサイトでは実施済である。追加パイロットサイトに関しては、今後、実施予定。

¹⁸ 当初パイロットサイトに関しては実施済である。追加パイロットサイトに関しては、今後、実施予定。

¹⁹ コンサルテーションに関しては当初パイロットサイトに関しては実施済である。追加パイロットサイトに関しては、今後、実施予定。

<p>1-5. パイロットサイトにおいて活動 1-4 で作成した計画の実施を促進する。</p> <p>1-6. パイロット活動の進捗をモニタリングする。</p> <p>1-7. パイロット活動の結果を評価・分析し、教訓を共有する。</p>	<p><u>1-7.各追加パイロットサイトにおいて REDD+アクションプランを策定する。</u></p> <p><u>1-8.各追加パイロットサイトにおいて REDD+アクションプランを実施する。</u></p> <p>1-9.パイロット活動の進捗をモニタリングする²⁰。</p> <p><u>1-10.パイロット活動の結果を評価・分析する。</u></p> <p><u>1-11.パイロット活動の教訓を利害関係者と共有する。</u></p>
<p>2-1. 実施機関の役割を特定し、実施体制と活動計画を策定する。</p> <p>2-2. 実施機関によるパイロット活動の実施を支援する (OJT 方式)。</p> <p>2-3. 実施機関スタッフを対象とした技術研修を実施する (非 OJT 方式)。</p> <p>2-4. 実施体制の有効性を評価し、改善に向けた提言を行う。</p>	<p>2-1.実施機関の役割を特定し、<u>省 REDD+アクションプランの実施体制と年間活動計画を策定する。</u></p> <p>2-2.実施機関による<u>省 REDD+アクションプランの実施を支援する。</u></p> <p>2-3.実施機関スタッフを対象に<u>省 REDD+アクションプラン実施のための技術研修を実施する。</u></p> <p>2-4.実施体制の有効性及び<u>実施機関の能力を</u>評価し、改善に向けた提言を行う。</p>
<p>3-1. 参加型森林管理と住民生計向上計画についての既存の技術資料をレビューする。</p> <p>3-2. 同様の活動実施に利用可能な既存の政府資金ならびにその他の外部資金をレビューする。</p> <p>3-3. 既存の技術資料 (活動 3-1)、利用可能な資金情報 (活動 3-2)、パイロット活動を通じて得られたノウハウを整理統合して、技術ガイドラインを編纂する。</p> <p>3-4. ディエンビエン省内用に、パイロット活動の成果普及のための省計画を作成する。</p> <p>3-5. 中央政府ならびに関連機関に提言を</p>	<p>3-1.参加型による森林管理と住民生計向上についての既存の技術資料をレビューする。</p> <p>3-2.<u>省 REDD+アクションプランの実施に</u>利用可能な既存の政府資金ならびにその他の外部資金をレビューする。</p> <p>3-3.既存の技術資料 (活動 3.1)、利用可能な資金情報 (活動 3.2)、パイロット活動を通じて得られたノウハウを整理統合して、技術ガイドラインを編纂する。</p> <p>3-4.<u>省 REDD+アクションプランを実施し、ディエンビエン省における REDD+パイロット活動の成果をレビューする。</u></p> <p>3-5.必要に応じ<u>省 REDD+アクションプランを改訂する。</u></p>

²⁰ パイロット活動とは、当初パイロットサイトと追加パイロットサイトのおおのこの計画の中で実施される活動を指す。

提出する。	3-6.提言を取りまとめ、中央政府並びに他の 関連機関に提出する。
-------	--------------------------------------

7-4 POの修正

PDMの修正に伴い、POの修正を行った（内容は付属資料を参照）。

第8章 団長所感

8-1 森林管理と生計向上が両立するアプローチ仮説・オプションの有効性

SUSFORM-NOW 設計当初、プロジェクト前半で検証する仮説を「オンファームトライアル（On-Farm Trial）と NTFP の採取・栽培が可能な林地の分与をセットにし、農林産物の市場アクセス開発によって代替現金収入を確保するアプローチが持続可能な森林管理推進には効果的である」と設定していた。また、仮説検証のためのオプションとして以下3点を設定していた。

- (1) 省内主要都市をターゲットにした生産物販売を通じた所得向上による森林管理の促進
- (2) 既存の幹線網の活用による産業用原材料の販売を通じた所得向上による森林管理の促進
- (3) 一般世帯に対する植栽済みの生産林分与と一体化した産業用商品原材料の契約栽培を通じた所得向上による森林管理の促進

プロジェクトでは主にオプション(1)及び(3)に沿った生計向上活動を実施した。家畜(豚)飼育のリボルビングファンドに貯まった資金を新規家畜購入や森林パトロール資金に活用している事例等から、所得向上を通じて森林管理促進を行うアプローチ仮説の一定の有効性が認められる。一方、各世帯の所得向上及び森林管理促進に係る定量的なデータは更なる取得が必要である。

プロジェクト後半では、パイロットエリアの森林面積変化や各世帯の所得水準変化を定量的なデータから把握し、所得向上と森林管理促進との間の因果関係を明らかにしていく必要があるが、今後 SUSFORM-NOW では REDD+推進のため森林面積変化の定量的なモニタリング等を実施する予定であることからその部分の強化が期待される。

8-2 NRAP の促進への貢献

ベトナム国政府は、REDD+の実施促進のため首相令により NRAP を昨年発令した。NRAP では Phased Approach を採用し、2012 年から 2020 年の間にベトナム国政府及び関係者によって取られるべき必要なステップを示している。そのステップのなかで省 REDD+制度構築のために最低 8 省がパイロット省として指定されることとなっているが（公式な指定スケジュール等は未定）、ディエンビエン省はベトナムにおいて省 REDD+制度構築に取り組む最初の省であり、ベトナム政府もディエンビエン省を重要なパイロット省候補の 1 つとして認識している。

本調査では、VNFOREST 等との間で SUSFORM-NOW が同省における PRAP の実施を通して NRAP の促進に貢献することを改めて確認し、ベトナム側がディエンビエン省をパイロット省の 1 つとして正式に指定することを検討することを M/M に記載した。それにより SUSFORM-NOW から得られる教訓・知見は、同国における省 REDD+制度のモデルとなることが期待される。

REDD+を含め広くベトナムの森林分野に有用なさまざまなデータが開発された(時系列森林変化図、AR-CDM 地図、国家森林インベントリーの電子データなど)。これらの成果は、これまで気候変動枠組み条約関連会議などで紹介され、国際的にも高く評価されている。2012年6月に開催されたVNFOREST、FIPI、フィンランド大使館、森林セクター管理情報システム開発プロジェクト(Development of Management Information System in Forestry Sector: FORMIS)、JICA間の会議では、これらの有用なデータはFORMISのポータルサイトなどをおして関係者にアクセス可能なものにするとして同意されたが、まだその措置がなされていないことから、VNFORESTに対し早急に対応するよう要請した。

8-5 執務環境の改善

今後の円滑なプロジェクト実施に向けては、C/P予算の支出増額と専任のC/Pの配置、適切なオフィススペース、運転手の確保等ベトナム側が取るべき措置が多々あることから、それらに関してもM/Mで確認した。

8-6 今後のベトナムの森林・自然環境分野に対する支援について

これまで本分野に対するわが国の支援は、技術協力、無償、有償を効果的に組み合わせて行ってきたところである。そのなかで、他ドナー等はREDD+支援の強化、またベトナムから大量の木材・木製品を輸入している先進国は森林法執行・ガバナンス・貿易(Forest Law Enforcement, Governance, and Trade: FLEGT)関連支援など、それぞれスコープを絞った特徴ある支援を展開している感がある。そのようななか、わが国の本分野に対する支援についても、今後は、より戦略的に焦点を絞った効果的かつ効率的な展開を図っていく必要がある。このため、今回の調査においては、現在実施中の2プロジェクトを統合しREDD+推進を図っていく方向性を明確にしたところである。またプロジェクト実施に当たっては、ディエンビエン省でREDD+のフィジビリティ・スタディ(Feasibility Study: FS)事業を計画している日本の民間企業(住友林業)との連携も予定されており、官民連携の具体的な事例となることが期待される。REDD+についてはベトナムに限らず各国でドナー間の競争ともいえるような状況にあり、他ドナーとどのように具体的な連携を進めていくかが大きな課題となっている。その観点では、これまでのJICAプロジェクト成果の共有をそれら関係者間で促進していくことや、また今後の案件形成に当たっては、連携を視野にプロジェクトデザインを行うなどの工夫も必要である。

ベトナムは、これまでの政府の努力、国際社会の支援等により森林面積が増加傾向にある稀な途上国であり、また、他の途上国に先駆けてPFESを制度化するなど、森林セクターでは極めて意欲的な取り組みが進められている。一方で、例えばベトナムは中国に次ぐ家具生産・輸出国(日本は米国に次ぐ輸入国)であるものの、その原材料の8割を輸入に頼っているなど、さまざまな課題を抱えている²¹。このような状況から、本セクターにおいては今後も高い支援ニーズが存在するところであるが、わが国の支援を検討するに当たっては、(再度繰り返しになるが)、より戦略的に焦点を絞った効果的かつ効率的な展開を図っていくことが重要である。

²¹ http://www.jofca.or.jp/_files/publication/A20.pdf

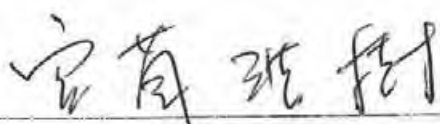
付 属 資 料

1. 合同評価報告書（英文）
2. 協議議事録（M/M）

THE PROJECT FOR SUSTAINABLE FOREST
MANAGEMENT IN THE NORTHWEST
WATERSHED AREA

JOINT EVALUATION REPORT
(MIDTERM REVIEW)

29 January 2013



Mr. Hiroki Miyazono

Leader

Japanese Mid-term Review Team



Mr. Lo Quang Chieu

Leader

Vietnamese Mid-term Review Team

TABLE OF CONTENTS

List of Tables	ii
Abbreviation and Acronyms.....	iii
Summary of Midterm Review.....	1
1. Introduction.....	8
1.1. Objectives of Midterm Review	8
1.2. Members of the Review Team	8
1.3. Schedule of the Review	9
2. Outline of the Project.....	9
2.1. Background of the Project	9
2.2. Summary of the Project	10
3. Method of the Review.....	12
3.1. Five evaluation criteria	12
3.2. Data collection methods and analysis	13
4. Project performance and implementation process	14
4.1. Inputs by the Government of Japan	14
4.1.1. Dispatch of JICA experts.....	14
4.1.2. Training in Japan	15
4.1.3. Machinery and equipment provided by the Government of Japan.....	15
4.1.4. Field activity cost borne by the Government of Japan	15
4.2. Inputs by the Government of Vietnam	16
4.2.1. Assignment of C/P.....	16
4.2.2. Local cost borne by the Government of Vietnam	16
4.2.3. Facilities provided by the Government of Vietnam.....	17
4.3. Achievement of the outputs	17
4.3.1. Achievement of the Output 1	17
4.3.2. Achievement of the Output 2	18
4.3.3. Achievement of the Output 3	20
4.4. Achievement of the project purpose	21
4.5. Implementation process	23
5. Evaluation results.....	24
5.1. Relevance.....	24
5.2. Effectiveness	25
5.3. Efficiency	27
5.4. Impact	29
5.5. Sustainability	30
6. Conclusions.....	31
7. Recommendations.....	32

List of Annexes

Annex 1	Schedule of midterm review	34
Annex 2	Project Design Matrix (PDM)	35
Annex 3	Annual Plan of Operations (APO)	37
Annex 4	Implementation structure	39
Annex 5	Evaluation Grid	40
Annex 6	List of JICA experts dispatched to the Project	46
Annex 7	List of C/P trained in Japan	47
Annex 8	List of equipment provided by the Japanese side	48
Annex 9	Project cost provided by Japanese side	49
Annex 10	List of C/P	50
Annex 11	List of training courses organized by the Project	51
Annex 12	List of in-country/ regional study tours organized by Project	54
Annex 13	Major activities and progress	55
Annex 14	Proposed modified PDM	56

List of Tables

Table 1	List of initial pilot sites.....	12
Table 2	Data collection methods and source of information	13
Table 3	Project cost provided by Japanese side.....	15
Table 4	Project cost provided by Vietnamese side	16
Table 5	Achievements of forestry related activities in 2012	22

mu

He
HT

Abbreviation and Acronyms

APO	Annual plan of operations
CPC	Commune People's Committee
C/P	Counterpart
DAC	Development Assistance Committee
DARD	(Provincial) Department of Agriculture and Rural Development
DB	Dien Bien (District)
DBD	Dien Bien Dong (District)
DBP	Dien Bien Phu (City)
DPC	District People's Committee
FMP	Forest Management Plan
IG	Interest group
JCC	Joint Coordinating Committee
JICA	Japan International Cooperation Agency
JFY	Japanese financial year
JPY	Japanese Yen
LDC	Livelihood Development Component
LDP	Livelihood Development Plan
MARD	Ministry of Agriculture and Rural Development
MIA	Most important activity
N/A	Not applicable
NORRD	Northwest Region Rural Development Project in Vietnam
NRAP	National REDD+ Action Programme
NTFP	Non-timber forest product
ODA	Official Development Assistance
OECD	Organization for Economic Cooperation and Development
OFT	On-farm trial
OJT	On-the-job training
PDM	Project Design Matrix
PFES	Payment Forestry Ecosystem Services
PMU	Project Management Unit
POs	Plan of Operations
PPC	Provincial People's Committee
PRAP	Provincial REDD+ Action Plan
R/D	Record of Discussions

Man

Ko

REDD+	Reducing emissions from deforestation and forest degradation, conservation of forest carbon stocks, sustainable management of forests and enhancement of forest carbon stocks
RENFODA	Project for Rehabilitation of Natural Forest in Degraded Watershed Area in the North of Vietnam
SEDP	Socio-Economic Development Plan
SEDS	Socio-Economic Development Strategy
Sub-DFP	Sub-Department of Forest Protection
Sub-DoF	Sub-Department of Forestry
SUSFORM-NOW	Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area
TOT	Training of trainers
VDP	Village Development Plan
VFY	Vietnamese financial year
VND	Vietnamese dong
VNFOREST	Vietnam Administration of Forestry

Summary of Midterm Review

I. Outline of the Project		
<i>Country:</i> Socialist Republic of Vietnam		<i>Project title:</i> Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area
<i>Issue/Sector:</i> Nature conservation		<i>Cooperation scheme:</i> Technical Cooperation Project
<i>Division in charge:</i> Forestry and Nature Conservation Division 1, Global Environment Department, JICA		
<i>Period of Cooperation</i>	(R/D): 28 May 2010	<i>Partner Country's Implementing Organization:</i> Department of Agriculture and Rural Development (DARD), Dien Bien Province; Ministry of Agriculture and Rural Development (MARD)
	15 August 2010 – 14 August 2015 (5 years)	
<i>Related Cooperation:</i> 1. The Project for Rehabilitation of Natural Forest in Degraded Watershed Area in the North of Vietnam (RENFODA)		
I. Background		
<p>As the results of Vietnamese Government's initiatives including the 'Decision by the Prime Minister on Objectives, Tasks, Policies and Organization for the Establishment of Five Million Hectares of New Forest (661 Programme)' in 1998, the Forest Development Strategy (2001-2010), and the Vietnam Forestry Development Strategy (2006-2020), the country's forest cover, which had fallen as low as 28% in 1995, recovered to 39.6% in 2008. However, forest degradation is still continuing especially in the northwest regions including Dien Bien Province due to over harvesting for fuelwood, shifting cultivation, and conversion to farmland, derived from the high poverty ratio.</p> <p>Upon the above conditions, JICA supported to implement the Project for Rehabilitation of Natural Forest in Degraded Watershed Area in the North of Vietnam (RENFODA) (2003-2008) in Hoa Binh Province of the northwest region. As the results, agricultural and forestry techniques that can be used in the field were developed under the components of Research and On-farm Trials (OFT).</p> <p>To realize forest rehabilitation in the northwest region and improve the watershed conservation function, it is essential to i) control deforestation through livelihood improvement with progressive application of the OFTs and efficient utilization of NTFPs, ii) manage the allocated forests by communities, iii) develop the capacity of key actors such as the Department of Agriculture and Rural Development (DARD) and the related forestry agencies in each province, iv) develop the future strategy towards extension of the initiatives.</p> <p>Based on the above background, the Vietnam Administration of Forestry (VNFOREST) of MARD requested the Government of Japan a technical co-operation project which aimed at sustainable forest conservation in the northwest region. Responding to the request, the Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area was initiated in August 2010 with the planned period of five years. This Midterm Review (The Review) was made since the Project reached at the middle of its cooperation period.</p>		

2. Project Overview

(1) Overall Goal

Participatory forest management and livelihood development are extended to the sites with similar conditions to the Project pilot sites in Dien Bien Province.

(2) Project Purpose

Participatory forest management and livelihood development are mutually sustained in the pilot sites, using approaches also applicable to other areas.

(3) Outputs

- 1) Workable approaches on landscape plans and land-based livelihood development plans are verified.
- 2) Technical and institutional capacities of implementing agencies (executing agencies, supporting agencies) are strengthened.
- 3) Provincial plan for dissemination of the achievements of pilot activities is adopted for Dien Bien Province.

(4) Inputs

Japanese side:

Long-term Expert: 3 persons Short-term Expert: 5 person Livelihood Development Component (LDC) Trainees received in Japan: 29 persons	Equipment: VND 1,782 million (JPY 7 million) Field activity cost: VND 14,630 million (JPY 58 million)
--	--

Vietnamese Side:

Counterpart personnel (C/P): 30 persons Land and facilities: Two office rooms at DARD	Local cost: VND 593 million (JPY 2.4 million)
--	---

II. Review Team

Members of Review Team	The Japanese side		
	Mr. Hiroki Miyazono	Leader of Japanese-side Review Team	Senior Advisor, JICA
	Mr. Katsu Shima	REDD+ policy and mechanism	Deputy Director, International Forestry Cooperation Office, Forestry Agency, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
	Mr. Shinji Abe	Participatory forest management / REDD+ field activity planning	Special Advisor, Forestry and Nature Conservation Group, Global Environment Department, JICA
	Mr. Kenichiro Yamamoto	Cooperation planning	Deputy Assistant Director, Forestry and Nature Conservation Group, Global Environment Department, JICA
	Mr. Makoto Fukuyama	Evaluation and Analysis	Senior Consultant, A&M Consultant, Inc.

	The Vietnamese side		
	Mr. Lo Quang Chieu	Leader of Vietnamese-side Review Team	Deputy Director, DARD, Dien Bien Province
	Ms. Hoang Thi Dung	Member	Expert, Planning Division, DARD, Dien Bien Province
	Mr. Nguyen Van Thang	Member	Dean, Agriculture and Forestry Faculty, Dien Bien Vocational School
Period of Review	16 – 31 January 2013		Type of Evaluation: Midterm review

III. Results of Evaluation

1. Project performance

1-1. Inputs

The inputs from the Japanese side (experts, counterpart training in Japan, equipment, field activity cost) were generally provided as planned except for a long-term expert in income generation activity (livelihood development), which was replaced by a short-term expert and then Livelihood Development Component (LDC) Team. As for the Vietnamese side, the C/P members were assigned relatively well. However, the delay in counterpart budget disbursement often stands as obstacles for the activity implementation.

1-2. Outputs

1) Output 1

The most significant and obvious outcome of the activities under the Output 1 is development of the FMPs and LDPs for the 15 villages of the seven pilot sites. The activity for the Indicator 1-2 has yet been initiated, while the activity for the Indicator 1-3 has been initiated but no outcome has yet been arisen. Overall, it is fair to say that the overall achievement level of the Output 3 is regarded as '*Relatively high*'.

2) Output 2

Capacity building of the implementing agencies' staff has, to some extent, been achieved. For the question made in the questionnaire; all the respondents agreed that technical and institutional capacities of the implementing agencies had been strengthened with the high level. This result supports the C/P members appreciate the training programme as well as the OJT. The 'Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation' was prepared as an activity under the Output 2 both in Vietnamese and English. It is assessed that the achievement level of the Output 2 is '*Relatively high*'.

3) Output 3

The achievement level of the Indicator 3-1 is regarded as '*High*' because a technical guideline was finally incorporated in the annexes of the 'Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation (Volume 1)'. Since the activities set for the Indicator 3-2 have been cancelled due to modification of the project framework by integration with the Dien Bien REDD+ Pilot Project. Therefore, it is reasonably considered that the current overall achievement level of the Output 3 is regarded as '*High*'.

1-3. Achievement of Project Purpose

It was confirmed that almost all the forestry related activities have been/ are being implemented in accordance with the FMPs, whilst there are some cases of cash income generation revealed. Although the Project is just at the middle of its co-operation period of five years, the current situations for the two indicators for the project purpose as well as the performance of the three expected outputs suggest that the approach and implementation of activities are on the right track. Thus it can be judged that the overall achievement level of the project purpose is '*Relatively high*'.

1-4. Implementation process

1) Scheduled activity implementation

The most noteworthy change in schedule of the activities was occurred by the difficulty in recruiting a long-term expert for income generation activity (livelihood development). The Project was required to revise the activity schedule including modification of the POs as well as to change the activity process.

2) Monitoring and communication system

Monitoring of the project activities at the field level has mainly been carried out through a reporting system by mainly village heads and extensionists to monitor overall activities as well as the individual activities. On the other hand, volunteers have been allocated to the pilot sites to monitor mainly endogenous development of the local participants. As for another system, in addition to the Joint Coordinating Committee (JCC) Meetings, the Project has continually conducted the Monthly Working Group Meetings and Half Year Review Workshops that are the major opportunity for the overall monitoring of the activity performance and implementation process.

3) Compilation of information and outcomes of the project activities

The Project has produced a number of documents such as reports and manuals so far. The total number of the documents has presently reached 121, and all the documents are well sorted out both in hard and soft formats. It is hoped that this arrangement will help support the objectives of the Project.

2. Summary of Evaluation Results

1) Relevance

Relevance is '*High*'. The Project is well aligned with the national development policies of Vietnam as well as with the Japan's ODA policy towards Vietnam. It is also appropriately responding to the needs of the target groups in consistency with policy and also socio-economic point of view.

2) Effectiveness

Effectiveness is '*Relatively high*'. The project purpose is expected to be achieved to a high degree by the end of the project period. Regular meetings and workshops contribute to enhance

effectiveness. Difficulty in recruiting a long-term expert in income generation activity (livelihood development) was obviously a hindering factor.

3) Efficiency

Efficiency is '*Relatively high*'. The inputs from the Japanese side were generally provided as planned except for prolonged vacancy of a long-term expert. As for the Vietnamese side, low level of counterpart budget disbursement and transfer of C/P stand as obstacles for the implementation. Meanwhile, regular meetings are functional and contribute to efficient project management. Collaboration with the other JICA projects and institutions is expected to enhance the efficiency.

4) Impact

Impact is '*Relatively high*'. If the financial resources are secured, the overall goal will be achieved during three to five years after the project end as there is favourable environment for the extension in participatory forest management and livelihood development. Some positive impacts in awareness raising of local people are observed. No major negative impact has been observed.

5) Sustainability

Sustainability is '*Fair*'. Policy sustainability is still very high. Institutional sustainability will be enhanced towards the end of the Project. For technical sustainability, the techniques, knowledge and skills acquired will be maintained by the relevant stakeholders. Financial sustainability needs to be improved by finding fund source such as local governments.

3. Conclusion

Almost all the scheduled activities have been/ are being implemented in spite of some obstacles. Part of some outputs has already been attained or are emerging, including development of the FMPs and LDPs for the 15 villages of the seven pilot sites, capacity development of the implementing agencies' staff, preparation of the 'Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation' which incorporated guiding documents for participatory forest management and livelihood development plan. As the results of the above outputs as well as the activities, participatory forest management and livelihood development in the pilot sites have been largely strengthened. Therefore it is expected that the project purpose will be achieved by the end of the Project.

4. Recommendations

4.1. Recommendations addressed to the Project

1) Reconsideration of activity options

There are currently many activities supported by the Project, particularly in livelihood development. However some of the current activities do not have clear linkage with forest protection and sustainable forest management. This is the right time to sort out all the activities with certain criteria so that the advantages and disadvantages of each activity can be identified. This measure will also help select activities for the new pilot sites.

2) Improvement in monitoring system

As it was revealed that the system to monitor endogenous development of the locals by the monitoring volunteers did not properly work, it should be ended and find another method to assess the endogenous development. Again the monitoring system/ method for forest management should be reconsidered to obtain quantitative and qualitative data/ information, particularly regarding changes in the forest status.

3) Improvement of implementation approach

The current planning and implementation approach is focusing on the development of forest management and livelihood development models by providing intensive support to the limited number of villagers. In the second phase, in order to extend the activities to the larger number of villages, it is necessary to improve the current system to more efficient way. One of the possible options could be to provide training opportunities for all the interested villagers.

4) Compilation and dissemination of good practices

It was revealed that some good practices regarding both forest management and livelihood development had already arisen in many pilot sites, e.g. strict regulations on forest protection, use of pig revolving fund for forest patrolling, use of fund for purchasing more animals. It is crucial to collect and compile those good practices as well as positive impacts, and consider the way to disseminate them to the other areas.

5) Sharing of technical materials

It is recommended to sort out a number of documents in terms of importance and needs, and share them in different forms, e.g. use of the DARD web-site.

6) Modification of PDM

Since the Project is scheduled to be integrated with the Dien Bien REDD+ Pilot Project, the PDM is to be modified.

4.2. Recommendations addressed to the Vietnamese side

1) Disbursement of counterpart budget

It is observed that the delay in allocating counterpart budget has caused some negative effects in implementing the project activities. It is recommended that DARD should make further efforts to request the PPC to accelerate the process of the disbursement.

2) Increase in commitment and awareness of implementing agencies

The commitment of the implementing agencies has been much improved during the course of the project implementation. However there are still some cases that the commitment is weak, e.g. low rate of attendance of the key persons to important occasions. It is advisable to reassess the roles of the implementing agencies in the project management and to improve its ownership to further facilitate all the project activities as well as to secure high level of sustainability. As one of options, it is recommended to attach a few fulltime C/P members to the Project Office.

3) Support to working environment

To improve the working environment and further support the project activities, the Vietnamese side is required to consider to increase office space and give priority of the use of meeting room and driver to the project activities. This will help the Project carry out more work particularly after the integration with the Dien Bien REDD+ Pilot Project.

Handwritten signature

Handwritten signature

1. Introduction

1.1. Objectives of Midterm Review

About two and a half years have passed since the inception of the Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area (hereinafter referred to as “the Project”). The Project is scheduled to come to the end in another two and a half years, i.e. August 2015. The project team has been undertaking a range of activities in order to achieve the project purpose. It is important for the concerned authorities to review its progress made so far and to examine to what extent the activities have led to produce the expected outputs. The examination will make it possible to judge and predict how much the Project is likely to achieve the project purpose by the end of the project life.

The purpose of the Midterm Review (hereinafter referred to as “the Review”) is to objectively evaluate the level of the achievements of the Project and to identify the reasons behind it. Based on the results of the evaluation, the Review is to give suggestions and recommendations to the concerned organizations with the aim of providing lessons learnt, which will be useful for the future direction of the Project and also for similar projects.

1.2. Members of the Review Team

The Review Team (hereinafter referred to as “the Team”) is composed of the following personnel:

Japanese side:

Mr. Hiroki Miyazono	Leader of Japanese-side Review Team	Senior Advisor, JICA
Mr. Katsu Shima	REDD+ policy and mechanism	Deputy Director, International Forestry Cooperation Office, Forestry Agency, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
Mr. Shinji Abe	Participatory forest management / REDD+ field activity planning	Special Advisor, Forestry and Nature Conservation Group, Global Environment Department, JICA
Mr. Kenichiro Yamamoto	Cooperation planning	Deputy Assistant Director, Forestry and Nature Conservation Group, Global Environment Department, JICA
Mr. Makoto Fukuyama	Evaluation and Analysis	Senior Consultant, A&M Consultant, Inc.

Vietnamese side:

Mr. Lo Quang Chieu	Leader of Vietnamese-side Review Team	Deputy Director, DARD, Dien Bien Province
Ms. Hoang Thi Dung	Member	Expert, Planning Division, DARD, Dien Bien Province
Mr. Nguyen Van Thang	Member	Dean, Agriculture and Forestry Faculty, Dien Bien Vocational School

1.3. Schedule of the Review

The Review was conducted for 16 days between 16 and 31 January 2013 (Annex 1).

2. Outline of the Project

2.1. Background of the Project

The Government of Vietnam has promoted to increase forest area as well as to uplift rural peoples' livelihoods with formulating the 'Decision by the Prime Minister on Objectives, Tasks, Policies and Organization for the Establishment of Five Million Hectares of New Forest (661 Programme)' in 1998 and the Forest Development Strategy (2001-2010) (prepared by the Ministry of Agriculture and Rural Development (MARD)). It reviewed the above programme and strategy through discussions with donor community, and developed the Vietnam Forestry Development Strategy (2006-2020) whose contents were more comprehensive and advanced. Furthermore the government amended the 661 Programme in 2007 and some stipulations, including special consideration in development of non-timber forest products (NTFPs) in conservation forests, were added. As the results of these initiatives, the country's forest cover, which had fallen as low as 28% in 1995, recovered to 39.6% in 2008. However, forest degradation is still continuing especially in the four provinces of Hoa Binh, Son La, Dien Bien and Lai Chau in the northwest regions due to over harvesting for fuelwood, shifting cultivation, and conversion to farmland, derived from the high poverty ratio.

Upon the above conditions, JICA supported to implement the Project for Rehabilitation of Natural Forest in Degraded Watershed Area in the North of Vietnam (RENFODA) (Oct 2003 - Sep 2008) in Hoa Binh Province of the northwest region, with an aim to develop sets of technically appropriate and economically affordable measures for natural forest rehabilitation. As the results, agricultural and forestry techniques that can be used in the field were developed under the components of Research and On-farm Trials (OFT).

To realize forest rehabilitation in the northwest region and improve the watershed conservation function, it is essential to i) control deforestation through livelihood improvement of local people with progressive application of the OFTs and efficient utilization of NTFPs, ii) manage the allocated forests by communities, iii) develop the capacity of key actors such as the Department of Agriculture and Rural Development (DARD) and the related forestry agencies in each province, iv) develop the future strategy towards extension of the initiatives.

Based on the above background, the Vietnam Administration of Forestry (VNFOREST)¹ of MARD requested the Government of Japan a technical co-operation project which aimed at sustainable

¹ Formerly known as Department of Forestry of MARD, at the time of request in 2008.

forest conservation in the northwest region. Responding to the request, JICA conducted the Detailed Planning Survey in October 2009 and agreed with the Vietnamese side on the contents of the cooperation to initiate the Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area. Following the agreement, the Record of Discussions (R/D) was signed and exchanged between the two parties on 28 May 2010.

The Project started its activity in August 2010 with the planned period of five years. This Review was made since the Project reached at the middle of its cooperation period.

2.2. Summary of the Project

The Project is currently being conducted in line with the Project Design Matrix (PDM) (**Annex 2**) and Plan of Operations (POs) (**Annex 3**) stipulated in the R/D signed on 28 May 2010, which was agreed upon by the Vietnamese and Japanese sides. The Review was undertaken based on the following specifications (overall goal, project purpose, outputs and activities) stipulated in the PDM.

(1) Overall Goal

Participatory forest management and livelihood development are extended to the sites with similar conditions to the Project pilot sites in Dien Bien Province.

(2) Project Purpose

Participatory forest management and livelihood development are mutually sustained in the pilot sites, using approaches also applicable to other areas.

(3) Outputs

- 1) Workable approaches on landscape plans and land-based livelihood development plans are verified².
- 2) Technical and institutional capacities of implementing agencies (executing agencies, supporting agencies) are strengthened.
- 3) Provincial plan for dissemination of the achievements of pilot activities is adopted for Dien Bien Province.

(4) Activities

1) Output 1

- 1-1 Select the pilot sites.

² The word 'established' is used instead of 'verified' in some official documents such as the R/D and M/M (PO), however, through the Review, it was confirmed that the latter should be used officially.

- 1-2 Clarify and gain stakeholder's consent on current status of land use and land use rights through socio-economic survey in the selected pilot sites.
- 1-3 Mobilize local people for formulation and introduction of pilot activities.
- 1-4 Formulate participatory forest management and livelihood development plans (i.e. landscape plans and land-based livelihood development plans) in each pilot site.
- 1-5 Facilitate implementation of the plans developed in Activity 1-4 in the pilot sites.
- 1-6 Monitor the progress of pilot activities.
- 1-7 Evaluate and analyze pilot activity results and share lessons learned.

2) Output 2

- 1-1 Identify the roles of implementing agencies, develop implementation structure and work plan.
- 1-2 Provide support to implementing agencies in carrying out pilot activities (as "on-the-job training" (OJT)).
- 1-3 Provide technical training to implementing agency staff (non-OJT).
- 1-4 Evaluate the effectiveness of the implementation structure and provide recommendations for improvement.

3) Output 3

- 1-1 Review the existing guiding documents for participatory forest management and livelihood development plans.
- 1-2 Review the existing governmental fund, as well as other outside funding sources, that can be utilized for similar activities.
- 1-3 Integrate existing guiding documents and those developed by the Project into one technical guideline.
- 1-4 Provincial plan for dissemination of the achievements of pilot activities is prepared for Dien Bien Province.
- 1-5 Submit recommendations to central government and related agencies.

(5) Target groups

Implementing agency staff and pilot site group members.

(6) Target area

The Project identified seven pilot sites in six communes in three districts/ city, and its pilot activities have been implemented in 15 villages. List of the initial pilot sites is shown in **Table 1**.

Handwritten signature

Handwritten signature

Table 1 List of initial pilot sites

District/ City	Commune/ Ward	Village	Site name
Dien Bien District	Thanh An Commune	Phieng Ban	Phieng Ban
	Nua Ngam Commune	Sai Luong	Sai Luong
Dien Bien Dong District	Keo Lom Commune	Huoi Mua A	Huoi Mua A
		Tia Ghenh C	Tia Ghenh C
	Na Son Commune	Na Phat A	Na Phat A
	Pu Nhi Commune	Hang Tro B	Hang Tro B
Dien Bien Phu City	Ta Leng Commune	Ke Nenh	Ta Leng
		Na Nghe	
		Long Hom	
	Noong Bua Ward	Phieng Bua	
		Hong Liu	
		Khe Chit	
Nam Thanh Ward	Noong Bua		
	Pom Loi		
3	8	15	7

Note: The Ta Leng Site is located in the southern half of Ta Leng Commune, which is cultivated by villagers of the above mentioned nine villages in and around the commune.

(7) Implementation structure

An organizational structure of the Project is indicated in **Annex 4**. The Project Management Unit (PMU) was formed with people from different level of local governments such as province, districts/ city and communes/ wards.

3. Method of the Review

3.1. Five evaluation criteria

The JICA adopted "the Five Evaluation Criteria" for project evaluation. The Five Evaluation Criteria, proposed by the Development Assistance Committee (DAC) at the Organization for Economic Cooperation and Development (OECD) in 1991, are meant to be used for evaluating development assistance activities. The five criteria are namely:

- 1) **Relevance:** A criterion for considering the validity and necessity of a project regarding whether the expected effects of a project (or project purpose and overall goal) meet with the needs of target beneficiaries; whether a project intervention is appropriate as a solution for problems concerned; whether the contents of a project is consistent with policies; whether project strategies and approaches are relevant, and whether a project is justified to be implemented with public funds of Official Development Assistance (ODA).

- 2) Effectiveness: A criterion for considering whether the implementation of project has benefited (or will benefit) the intended beneficiaries or the target society.
- 3) Efficiency: A criterion for considering how economic resource/ inputs are converted to results. The main focus is on the relationship between project cost and effects.
- 4) Impact: A criterion for considering the effects of the project with an eye on the longer term effects including direct or indirect, positive or negative, intended or unintended, and
- 5) Sustainability: A criterion for considering whether produced effects continue after the termination of the assistance.

By examining the Project's progress and achievement by using these five criteria, the Review ascertains the value of the project from different viewpoints. It attempts to assess performance, make a value judgment about the project, and make recommendations and draw lessons learnt.

The structure of the report is two-fold: i) the confirmation of achievements and ii) the review results based on the five evaluation criteria.

3.2. Data collection methods and analysis

The Review collected both quantitative and qualitative data relevant to the Project from a range of information sources by using multiple information-gathering methods. This approach enables the Team to undertake triangulation of methods and information sources, thereby ensuring reliability of the Review. The focus of the Review is on the collection and analysis of qualitative data, rather than quantitative one, since the main purpose of the Review is to make an in-depth analysis of hindering and contributing factors to the implementation of the Project and to understand reasons for having such factors. Thus, research methods adopted for the Review centered on qualitative data collection methods including interviews, observation, and questionnaires with many open-ended questions.

The Team formulated the evaluation grid (**Annex 5**) to clarify data collection methods, the types of data to be collected and their sources of information. **Table 2** summarizes methods used and information sources the Team accessed during the Review period.

Table 2 Data collection methods and source of information

Data collection method	Source of information
Literature/ document review	Project related documents including reports and manuals
Questionnaires	Counterpart personnel (C/P)
Interviews	JICA experts, Project's national consultants (LDC), C/P, local participants in the pilot sites
Observation and	● Phieng Ban Pilot Site/ Village, Dien Bien District

interviews

- Tia Ghenh C Pilot Site/ Village, Dien Bien Dong District
 - Ta Leng Pilot Site (Ke Nenh Village), Dien Bien Phu City
-

Review of literature/ documents had been initiated before the Team visited Vietnam. The main purpose of the literature review was to confirm the level of the project performance and examine the implementation processes. At the same time, the evaluation grid and questionnaires for the Project's C/P³ were prepared. After the Team arrived in Vietnam, in-depth interviews were conducted with key informants such as the C/P and JICA experts. As for the C/P personnel, the interviews were organised by group, i.e. one group for the PMU members at the provincial level (DARD), and three groups for the PMU members at the city/district level and ward/commune level. The interviews mainly aimed to supplement information gathered by the literature review and the questionnaire survey. The Team also had opportunities to observe activities conducted by the local participants in three pilot sites in Phieng Ban, Tia Ghenh C and Ta Leng (Ke Nenh Village), and undertook interviews at each site. The information generated by all the methods was then analyzed based on the five evaluation criteria.

4. Project performance and implementation process

4.1. Inputs by the Government of Japan

4.1.1. Dispatch of JICA experts

A total of three JICA long-term experts assigned for the Chief Advisor with specializing area of Forest Planning and Administrative Coordinator have been dispatched to the Project (**Annex 6**). The first expert for Administrative Coordinator assigned at the commencement of the Project completed the assigned term of nearly two years in April 2012 and was replaced by the second expert in March 2012. There was also a plan to recruit a long-term expert in the field of income generation activity (livelihood development) at the commencement of the Project but it was finally not realized due to unavailability of human resources in Japan. Therefore the Project, in consultation with JICA, determined to seek a 'shuttle-type' short-term expert to supplement the long-term expert and the short-term expert, finally not the 'shuttle-type' but single assignment, was assigned in July 2011 that was almost one year after the initiation of the Project. The work of the expert has been succeeded by a team of Japanese short-term experts for Livelihood Development Component (LDC) from October 2011 until now. The areas that the experts are assigned include livelihood development; market development; agroforestry; rural life improvement; small-scale processing of agriculture, forestry and fisheries products; and improved stove.

³ The questionnaires for the C/P were prepared by two different formats, i.e. one for the management level (staff working at provincial and district offices) and another for the field level (staff working at commune offices).

Regarding the short-term experts, there have been five experts dispatched so far including the aforementioned expert for 'livelihoods development'. The other areas covered by the short-term experts were 'facilitation skills' (three times) and 'qualitative analysis of participant observation data'.

4.1.2. Training in Japan

A total of 29 people of the implementing agencies participated in the seven training courses conducted in Japan between 2010 and 2013 (**Annex 7**). The themes of the training covered were four, i.e. i) Enhancement of Community Capacity and Rural Development Promotion Function for Vietnamese Michinoeki, ii) Forest Management Plan, and iii) Integrated Agriculture and Rural Development through the Participation of Local Farmers, and iv) Livelihood Development and Life improvement in Rural Area of Japan.

4.1.3. Machinery and equipment provided by the Government of Japan

Twenty nine major items of equipment and machinery including vehicles, personal computers, printers, digital cameras, GPS, and other office equipment, which are worth about VND 1,782 million (equivalent to JPY 7 million) in total, has been provided (**Annex 8**). The team confirmed that the items have been used and maintained in a proper manner.

4.1.4. Field activity cost borne by the Government of Japan

Table 3 shows the funds provided by the Japanese side both by the Japanese and Vietnamese financial years (JFY and VFY). The total cost borne by the Government of Japan is approximately VND 14,630 million⁴, which is equivalent to JPY 58 million. The details of funds provided by the Japanese side disaggregated by budget items are indicated in **Annex 9**.

Table 3 Project cost provided by Japanese side

JFY	Period	(VND)	(JPY)*
2010	Jul10-Mar11	2,303,474,806	9,202,382
2011	Apr11-Mar12	6,326,017,794	25,272,441
2012	Apr12-Dec12**	5,999,797,809	23,969,192
Total		14,629,290,409	58,444,015

⁴ These figures include only field activity costs. The costs spent through the JICA Headquarters and JICA Vietnam Office are not covered.

VFY	Period	(VND)	(JPY)*
2010	Jul-Dec	561,545,340	2,243,374
2011	Jan-Dec	5,935,631,947	23,712,850
2012	Jan-Dec**	8,132,113,122	32,487,792
Total		14,629,290,409	58,444,016

Note: * Exchange rate: VND 1 = JPY 0.003995

** Tentative figures as of 11 December 2012

4.2. Inputs by the Government of Vietnam

4.2.1. Assignment of C/P

At the time of the Review, there are a total of 30 members of the C/P personnel, of which seven members are based at the provincial level (DARD), eight based in the eight in Dien Bien Phu City, seven in Dien Bien District and Dien Bien Dong District (**Annex 10**). They have been working as the C/P of the Japanese experts.

4.2.2. Local cost borne by the Government of Vietnam

The funds provided by the Vietnamese side both by the Japanese and Vietnamese financial years were shown in **Table 4**. The total amount is approximately VND 600 million which is equivalent to just 14% of the total amount of commitment by the MARD/ Dien Bien PPC (VND 4,260 million). Again disbursement of the counterpart budget was made more than one year after the Project commencement due to the delay in the official approval for the Project by the Government of Vietnam. This has caused negative effects on the implementation of the project activities.

Table 4 Project cost provided by Vietnamese side

JFY	Period	(VND)	(JPY)*
2010	Jul10-Mar11	18,435,965	73,652
2011	Apr11-Mar12	281,018,508	1,122,669
2012	Apr12-Dec12**	293,246,990	1,171,522
Total		592,701,463	2,367,842

VFY	Period	(VND)	(JPY)*
2010	Jul-Dec	16,910,228	67,556
2011	Jan-Dec	212,487,635	848,888
2012	Jan-Dec**	363,303,600	1,451,398
Total		592,701,463	2,367,842

Note: * Exchange rate: VND 1 = JPY 0.003995

4.2.3. Facilities provided by the Government of Vietnam

According to 'Annex V: List of buildings and facilities' in the R/D, the following items were identified to be provided by the Vietnamese side, i) project office including furniture in DARD and ii) electricity, water supply and necessary telecommunication facilities including telephone, facsimile and e-mail services. Following this agreement, the Vietnamese side has allocated two office rooms at DARD, and DARD covers costs for utilities (water and electricity), telephone charges, general maintenance of the project office and vehicles.

4.3. Achievement of the outputs

Three outputs are stated to be achieved in the PDM and each output is detailed in the following section. The achievement of each indicator is described below and the level of achievement is rated based on the scale of "High", "Relatively high", "Fair", "Relatively low" and "Low".

4.3.1. Achievement of the Output 1

The Output 1, i.e. "Workable approaches on landscape plans and land-based livelihood development plans are verified." is designed to be measured by the following objectively verifiable indicators.

- 1-1. By 6th month after the commencement of the Project, landscape plan is prepared in accordance with the provincial policy, and livelihood development plan is prepared at initial pilot sites.
- 1-2. By the 30th month after the commencement of the Project, landscape plan is prepared in accordance with the provincial policy, and livelihood development plan is prepared at additional pilot sites.
- 1-3. By the end of the Project period, mutually sustainable approaches are selected.

Indicator 1-1. By 6th month after the commencement of the Project, landscape plan is prepared in accordance with the provincial policy, and livelihood development plan is prepared at initial pilot sites (Level of Achievement: Relatively high)

Forest Management Plans (FMPs) (landscape plan) and Livelihood Development Plans (LDPs) for the six pilot sites in Dien Bien and Dien Bien Dong Districts were formulated by the 11th month after the commencement of the Project. As for Dien Bien Phu City (Ta Leng Pilot Site), the FMPs and LDPs were developed by the 13th month in three villages, and those for the remaining six villages are now under finalizing process. One of the major reasons for the delay was difficulty in recruiting the JICA expert for livelihood development as stated in '4.1.1. Dispatch of JICA experts'. In each FMP and LDP, all the processes for the preparation were documented.

Indicator 1-2. By the 30th month after the commencement of the Project, landscape plan is prepared in accordance with the provincial policy, and livelihood development plan is prepared at additional pilot sites (Level of Achievement: N/A)

Although 30 months have already passed since the Project commencement, no particular activity related to this indicator has yet been initiated. This is mainly because of the delay in the Review where discussion on the integration with the Dien Bien REDD+ Pilot Project and selection of the pilot sites was supposed to be made.

Indicator 1-3. By the end of the Project period, mutually sustainable approaches are selected. (Level of Achievement: N/A)

The Project has presently applied an approach to develop the FMP and LDP, and to support some livelihood development options. The verification of the approach is undergoing but the selection has yet been completed.

Overall achievement level of Output 1: Relatively High

The most significant and obvious outcome of the activities under the Output 1 is development of the FMPs and LDPs for the 15 villages of the seven pilot sites. The activity for the Indicator 1-2 has yet been initiated, while the activity for the Indicator 1-3 has been initiated but no outcome has yet been arisen. Overall, it is fair to say that the overall achievement level of the Output 3 is regarded as 'Relatively high'.

4.3.2. Achievement of the Output 2

The Output 2, i.e. "**Technical and institutional capacities of implementing agencies (executing agencies, supporting agencies) are strengthened.**" is designed to be measured by the following objectively verifiable indicators.

- 2-1. By the end of 2010, institutional arrangements for the Project are endorsed.
- 2-2. Understandings of participants in the training program reach 80% of what has been taught.
- 2-3. 90% of participants applies what they have acquired during the training program for their daily activities.

Indicator 2-1. By the end of 2010, institutional arrangements for the Project are endorsed (Level of Achievement: High)

Despite the significant delay, the Project was approved by the Government of Vietnam on 15 June 2011 by Decision 1293/QD-BNN-HTQT, and based on the decision, the PMU was officially

established by the Dien Bien PPC on 8 July 2011 by Decision 663/QD-UBND. The major reason of this delay was mainly derived from the complicated and long procedures for the project approval inside the relevant institutions.

Indicator 2-2. Understandings of participants in the training program reach 80% of what has been taught (Level of Achievement: *Relatively high*)

There have been a variety and a number of training courses organized by the Project since the commencement (**Annex II**). More than 200 (including villagers) implementing agencies' staff have been trained through 12 courses. According to the self evaluation by the PMU members at a meeting, it was confirmed that their capacity had been improved basically, but the level or degree of understandings had not reached to 80%. During the interview session with the C/P during this Review, the Evaluation Team members also tried to obtain the quantitative level of understandings. It was difficult for the interviewees to do so because the degree varied by the training topic and also the participants' level. For example, the highest degree marked by an interviewee was 100%, whilst the lowest was 40% on average of the training courses they had attended so far. As the results, it was assessed that the average degree for the whole interviewees could have not reached 80%. It was also confirmed that one of the reasons of this was derived that some trainees could not fully participate in the training courses due to other work. Towards the end of the project life, the Project is required to take any measure to increase the degree of understandings as well as to develop a method to assess the degree of understandings.

Indicator 2-3. 90% of participants applies what they have acquired during the training program for their daily activities (Level of Achievement: *Relatively high*)

According to the self evaluation by the PMU members, capacity of the participants has been improved basically, but slightly less than 90% of participants have applied what they have acquired during the training program to their day-to-day activities. This is mainly because some trainees were not actually in charge of the works related to the training topics, but nominated considering the potential of changes of their positions in near future.

Overall achievement level of Output 2: *Relatively high*

Capacity development of the staff of implementing agencies has, to some extent, been achieved according to the evaluation mentioned above. For the question made in the questionnaire; 'Output 2 [Technical and institutional capacities of implementing agencies (executing agencies, supporting agencies) are strengthened] has been achieved', all the respondents answered either 'agree' or 'strongly agree' and the average rates of 4.2 for the management level and 4.8 for the field level

were obtained⁵. This result supports the C/P members appreciate training programmes as well as the OJT. As for another outcome, the 'Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation' was prepared in 2012 as an activity under the Output 2 both in Vietnamese and English, and consists of two volumes; Volume 1: Planning and facilitation, and Volume 2: Implementing process of selected pilot activities. The manual has already been revised several times to be more practical. The manual was also shared among the C/P and other implementing agencies' staff members. Apart from the training courses, 13 in-country/ regional study tours with 111 (including 32 villagers) participants have been conducted as well to further enhance the stakeholders' capacity (Annex 12). It is assessed that the achievement level of the Output 2 is 'Relatively high'.

4.3.3. Achievement of the Output 3

The Output 3, i.e. "**Provincial plan for dissemination of the achievements of pilot activities is adopted for Dien Bien Province.**" is designed to be measured by the following objectively verifiable indicators.

- 3-1. By the beginning of 2013, technical guideline is compiled.
- 3-2. By the end of the Project, provincial plan for dissemination of the approaches selected through pilot activities is endorsed.

Indicator 3-1. By the beginning of 2013, technical guideline is compiled (Level of Achievement: High)

The first version of the technical guiding document for participatory forest management and livelihood development plan was prepared in the first half of 2011, and it has been revised twice and finally compiled as annexes (Annex 1: Planning concept and facilitation skills, and Annex 2: Plan formulation) of the 'Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation (Volume 1)' in the end of 2012. The manual was prepared both in Vietnamese and English.

Indicator 3-2. By the end of the Project, provincial plan for dissemination of the approaches selected through pilot activities is endorsed (Level of Achievement: N/A)

This activity was supposed to be conducted once before the Review. However it was judged through the discussions between the Project and the JICA Headquarters that a provincial plan, which utilize the experience of the first half of the project period for the activities in the latter half, was not necessary to be developed because the Project was determined to be implemented based on the Provincial REDD+ Action Plan (PRAP) in the latter half of the project period.

⁵ The assessment scale was: 'Strongly agree = 5', 'Agree = 4', 'Neither agree nor disagree = 3', 'Disagree = 2', 'Strongly disagree = 1' and 'Don't know, N/A = 0'.

Overall achievement level of Output 3: High

The achievement level of the Indicator 3-1 is regarded as '*High*' because a technical guideline was finally incorporated in the annexes of the 'Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation (Volume 1)'. The activities set for the Indicator 3-2 have been cancelled due to modification of the project framework by integration with the Dien Bien REDD+ Pilot Project. Therefore, it is reasonably considered that the current overall achievement level of the Output 3 is regarded as '*High*'.

4.4. Achievement of the project purpose

The project purpose was set as "**Participatory forest management and livelihood development are mutually sustained in the pilot sites, using approaches also applicable to other areas.**" The following two criteria are listed as objectively verifiable indicators to judge the achievement level of the project purpose.

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. By the end of the Project, forests are managed in accordance with the landscape plans at pilot sites where workable approaches are adopted. 2. By the end of the Project, cash income increases in accordance with livelihood development plan at pilot sites where workable approaches are adopted. |
|--|

Indicator 1. By the end of the Project, forests are managed in accordance with the landscape plans at pilot sites where workable approaches are adopted (Level of achievement: Relatively high)

As for the forestry related activities, four activities such as afforestation (AF), protecting forest (PF), assisted natural regeneration (ANR), and tending (T) have been implemented by the participants in the pilot sites in 2012 (Table 6).

The data in the table indicate that almost all the activities have been implemented in accordance with the FMPs (landscape plans). It is notable that some of the villages (Ke Nanh and Phieng Bua of Ta Leng Pilot Site) have accelerated the plan and implemented part of scheduled afforestation. On the other hand, it is very difficult to quantitatively judge if a forest has been protected or regenerated by the current monitoring system, however as far as the Team observed in Phieng Ban Village during the site visit, the forest targeted as 'protecting forest' looked properly controlled or managed without any sign of degradation or overharvesting of forest resources. Considering all the activities are on the right track and it is expected that the targets will be achieved by the end of the Project, it is judged that the current achievement level for this indicator is '*Relatively High*'.

Table 5 Achievements of forestry related activities in 2012

Pilot site (village)	Plan		Achievements	Degree of achievement (%)
	Activity	Target (ha)		
Sai Luong	AF	20	0	0
	PF	132.9	Protected	100
	ANR	30	Regenerated	30
Phieng Ban	AF	15	38.6	257
	PF	15	Protected	100
Tia Ghenh C	PF	209	Protected	100
Huoi Mua A	T	122.1	Patrol only	?
Na Phat A	ANR	30	0.6	2
	PF	61	Protected	100
Hang Tro B	PF	292	Protected	100
Ta Leng (Na Nghe)	AF	204.72	14.2	7
Ta Leng (Ke Nenh)	AF	(40 in 2013)	(24.4)	(61)
Ta Leng (Phieng Bua)	AF	(23.7 in 2015)	(5.4)	(23)

Note: Afforestation in Ke Nenh and Phieng Bua of Ta Leng Pilot Site were carried out with accelerating the original plan.

Indicator 2. By the end of the Project, cash income increases in accordance with livelihood development plan at pilot sites where workable approaches are adopted (Level of achievement: Relatively high)

So far there have been about 11 activities related to livelihood development supported by the Project in nine villages (**Annex 13**). The activities include cow raising, pig raising, fish raising, chicken raising, biogas, vegetable cultivation, fruit tree planting, contour planting, improved stove, Mong Pe wine production and broom production.

It is highly appreciated that the Project has prepared the FMPs and LDPs for each village and initiated all the above activities. Although it usually takes time to confirm the generation of cash income, there are some cases already confirmed by the Team in Phieng Ban and Tia Ghenh C Villages during the site visit, e.g. pig raising, vegetable cultivation and Mong Pe wine production. As an impact study including cash income generation has just been initiated by the LDC Team in the seven pilot sites, the results can be employed to precisely assess the current level of achievement for this indicator. The current achievement level for this indicator is judged as '*Relatively High*'.

Overall achievement level of the project purpose: Relatively high

It was confirmed that almost all the forestry related activities have been/ are being implemented in accordance with the FMPs, whilst there are some cases of cash income generation revealed. Although the Project is just at the middle of its co-operation period of five years, the current situations for the two indicators for the project purpose as well as the performance of the three expected outputs suggest that the approach and implementation of activities are on the right track. Thus it can be judged that the overall achievement level of the project purpose is '*Relatively high*'.

4.5. Implementation process

Related to the implementation process, there are some issues to be considered as important as stated below:

1) Scheduled activity implementation

The most noteworthy change in schedule of the activities was mainly occurred by the difficulty in recruiting a long-term expert for 'income generation activity (livelihood development)' as mentioned in '4.1.1. Dispatch of JICA experts'. The Project was required to revise the activity schedule including modification of the POs as well as to change the activity process.

2) Monitoring and communication system

Monitoring of the project activities at the field level has mainly been carried out through a reporting system. Village heads of the pilot sites are to prepare the monthly report following the format agreed with the Project. Extensionists are also assigned to visit the pilot sites weekly/ bi-weekly/ monthly to monitor the activities separately, animal raising and non-animal raising (including forestry). The information collectors are required to send the reports to the city/ district level. Again the PMU members at the city/ district level are to review the report and forward it to the Project Office where it is shared with all the PMU members and project's experts. On the other hand, volunteers from several universities have been allocated to the villages to monitor mainly endogenous development of the local participants. As for another system, in addition to the Joint Coordinating Committee (JCC) Meetings, the Project has continually conducted the Monthly Working Group Meetings and Half Year Review Workshops with purposes to share information, confirm the activity progress and schedule, and discuss various issues. They also provide the major opportunity for the overall monitoring of the activity performance and implementation process. Both the Monthly Working Group Meetings and Half Year Review Workshops are participated by all the C/P members, and the Project experts and staff members. As for communication system, improvement was made in a way to provide scanners to the two district offices⁶ in order to smoothen and speed up the communication among the relevant offices.

3) Compilation of information and outcomes of the Project activities

The Project has produced a number of documents such as reports and manuals so far (**Annex 14**). The total number of the documents has presently reached 121⁷, and all the documents are well sorted out both in hard and soft formats. It is hoped that this arrangement will help support the objectives of the Project.

⁶ A scanner has not been provided to the Dien Bien Phu City Office as the office is located close to the Project Office.

⁷ The number covers all the documents prepared by the Project but includes the same documents but written in different languages such as Vietnamese, English and Japanese.

5. Evaluation results

5.1. Relevance

Summary: Relevance is 'High'. The Project is well aligned with the national development policies of Vietnam as well as with the Japan's ODA policy towards Vietnam. It is also appropriately responding to the needs of the target groups in consistency with policy and also socio-economic point of view.

1) Relevance to development plans and forestry policy of Vietnam

The Project's Overall Goal and the Project Purpose are well aligned with the Vietnam's national plans such as the Socio-Economic Development Strategy (SEDS) 2011-2020 and Socio-Economic Development Plan (SEDP) 2011-2015. The SEDS gives attention to several key issues including environmental protection and improvement under the development viewpoint of sustainable development. Furthermore as one of the main objectives, environmental development is stressed with a clear indicator of increase in forest cover ratio, 45% by 2020, and active and effective commitment with climate change.

As for the forestry sector, the 'Vietnam Forestry Development Strategy 2006-2020' developed in 2007 is the most important strategy. There are four development viewpoints mentioned in the strategy, i.e. i) integration of management, protection, resource utilization, ii) significant contribution to economic growth, poverty reduction and environmental protection, iii) sustainable management, utilization and development, iv) socialization of forestry activities and attracting investment resources for forest protection and development. The ongoing Project's activities directly relates to the four viewpoints. The Forest Protection and Development Plan 2011-2020 is aimed to protect existing forests and increase forest areas by natural regeneration and new plantings, and to improve livelihoods of local communities⁸. Payment Forestry Ecosystem Services (PFES) – a system which collects funds for forest protection services and distributes to the local forest owners – has started its nation-wide implementation and expected to be an important non-state budget source of forestry sector⁹. Therefore it can be assessed that the Project is still consistent with the development plans and forestry policies of Vietnam.

2) Relevance to Japan's ODA policy towards Vietnam

The Overall Goal and Project Purpose are consistent with the ODA policies of Japan. According to the 'ODA Charter' issued by the Government of Japan, addressing global issues including 'global warming and environmental problems' is one of the priority issues. On the other hand, the Country

⁸ Prime Minister Decision No. 57/Q-TTg.
⁹ Government Decree No. 99 /2010/ND-CP.

Assistance Programme for Vietnam (2012) indicates four priority areas including i) promotion of economic growth and strengthening of international competitiveness, ii) response to vulnerability, and iii) strengthening of governance. The Project directly relates to the priority area of 'response to vulnerability' where it is stated that supports will be provided to cope with threats against natural environment and global warming. It is also mentioned that supports for rural development will be provided for poverty reduction. Thus, it is judged that the Project is relevant with the Japan's ODA policy to Vietnam.

3) Responsiveness to needs of target groups

The target groups of the Project are defined in the PDM version 1.0 as the implementing agency staff and pilot site group members. As stated in '4.2.1 Assignment of C/P', various levels and areas of institutions are assigned to the Project. The relevant institutions' policies include forestry development through awareness raising and participatory forest management by enhancing livelihood. The results of the questionnaire survey also support the relevance between the Project purpose and needs as all the respondents answered as 'strongly agree' or 'agree'. As for other stakeholders such as the group members in the pilot sites, the Project purpose and approach are also well aligned with their needs as the needs from the group members and non-group members have increased as the Project activities are properly been proceeding according to the interviews with the C/P. Therefore, it can fairly say the Project is still well addressing the needs of the different target groups.

4) Changes in environment around the Project

There have been no significant changes in the biophysical, socio-economic, political and other conditions assumed prior to the commencement of the Project except one case of wood processing factories. Two factories have just recently started their operations in Dien Bien District (Nua Ngam Commune) and Tuan Giao District, and require raw materials such as wood and bamboo. It is said that the companies support local people plant more trees by distributing seedlings with technical supports. Some of the local participants in the pilot sites, particularly Sai Luong Pilot Site located in Nua Ngam Commune, have become more enthusiastic on tree planting. This change can be regarded as rather positive to the Project since it is expected that the target group members' awareness on forest management will further be improved.

5.2. Effectiveness

Summary: Effectiveness is 'Relatively high'. The project purpose is expected to be achieved to a high degree by the end of the project period. Regular meetings and workshops contribute to enhance

effectiveness. Difficulty in recruiting a long-term expert in income generation activity (livelihood development) was obviously a hindering factor.

1) Prospect of the achievement of the project purpose

The project purpose was decided as "Participatory forest management and livelihood development are mutually sustained in the pilot sites, using approaches also applicable to other areas". As described in '4.4. Achievement of project purpose', the forests in the pilot sites are presently managed in a proper manner and some cases of cash income generation have already confirmed. Although there is still a technical difficulty remained in the method/ approach to verify the coherence of the two components, the project purpose is expected to be achieved to a high degree by the end of the project period as the importance and significance of the project approach are highly appreciated by all the stakeholders.

2) Contributing and hindering factors to effectiveness

It can be said that the most significant contributing factor to effectiveness in achieving the outputs of the Project is regarding the management and communication system. As already pointed out in the section '4.5. Implementation process', the Project has continually conducted Monthly Working Group Meetings and Half Year Review Workshops for the overall monitoring of the activity performance and implementation process. As for the communication system, scanners were provided to the two district offices to improve communication amongst the relevant stakeholders.

On the other hand, one of the hindering factors is the delay in dispatch of a JICA expert in the field of livelihood development as already indicated in '4.1.1. Dispatch of JICA experts'. Another factor is the delay and low level of financial disbursement from the Vietnamese side. JICA is now temporarily covering the daily subsistence allowance, accommodation and transportation costs of the C/P as well as other implementing agency staff members when they work in the site.

3) Influence of external factors (important assumptions) on the achievement of the project purpose

There are four important assumptions set for achieving the project purpose, i.e. i) Government's forestry policy does not change to limit people's participation in forest management activities, ii) Large scale natural disasters do not occur, iii) Economic conditions do not drastically change, iv) Population in and around the pilot sites does not drastically change. There has no significant change in the condition mentioned in the above assumptions so far.

FM

[Handwritten signature]

5.3. Efficiency

Summary: Efficiency is 'Relatively high'. The inputs from the Japanese side were generally provided as planned except for prolonged vacancy of a long-term expert. As for the Vietnamese side, low level of counterpart budget disbursement and transfer of C/P stand as obstacles for the implementation. Meanwhile, regular meetings are functional and contribute to efficient project management. Collaboration with the other JICA projects and institutions is expected to enhance the efficiency.

1) Provision of inputs

The inputs from Japan, i.e. dispatch of experts, procurement of equipment, financial support, and training for C/P in Japan, were generally provided as planned except for dispatch of a long-term expert for income generation activity (livelihood development) and procurement of vehicles. As already stated in '4.1.1. Dispatch of JICA experts', the post of the expert for livelihood development was replaced by the team of short-term experts, and this resulted in a flexible allocation of human resources. The Project was supposed to procure two vehicles (4WD and mini-bus) at the earliest time after the project commencement and jointly use them with the Northwest Region Rural Development Project in Vietnam (NORRD). However the vehicles were procured nine months after the project's commencement and this led to temporally unavailability of vehicles because the procurement by NORRD was further delayed than that of the Project. The delay for the Project was mainly derived from the fact that the necessary procedures arranged by the Vietnamese side took a long time (A4 form submission to JICA) and also the vehicle had to be shipped from Japan due to lack of stock in Vietnam.

Meanwhile, the inputs from the Vietnamese side in terms of assignment of C/P were generally made as planned. However, the low level financial disbursement (14% against the total amount of commitment) led to a series of negative effects in the project operation and implementation to date as already explained in '4.2.2. Local cost borne by the Government of Vietnam'. To cope with the situation, JICA has been temporarily covering the costs that are supposed to be borne by the counterpart. In 2012 alone, at least VND 238 million have been spent for this purpose including the allowance, accommodation and transportation for the C/P and other implementing agencies' staff members as well as fuel and cleaning for the project vehicles.

2) Contributing and hindering factors to efficiency

Regarding the dispatch of the JICA experts, there are both contributing and hindering factors. Difficulty in recruiting a long-term expert in income generation activity (livelihood development) was obviously a hindering factor of the activity implementation in terms of efficiency. Yet, the

present assignment of the LDC Team, which was finally determined as a replacement of the long-term expert, is regarded as efficient for the flexible arrangement of experts compared with the scheme of short-term experts.

As for the hindering factors of efficiency, the low level financial disbursement from the Vietnamese side, as stipulated in the previous section, is the most significant.

3) Appropriateness of project management

As referred in '5.2. Effectiveness', the Monthly Working Group Meetings and Half Year Review Workshops are one of the contributing factors to effectiveness. It can be considered that they are also a contributing factor to efficiency as they help save time and energy of the stakeholders in terms of the project management. In addition, the JCC meetings were conducted twice in November 2010 and December 2011. The JCC has been functional so far and important issues including integration with the Dien Bien REDD+ Pilot Project were discussed in the second JCC meeting.

4) Outcomes by collaboration with other JICA projects and co-operation with other organisations

As stated in the '(1) Provision of inputs' in this section, four vehicles are currently shared with the NORRD. Despite the delay in procurement of the four vehicles of the both projects, they are now efficiently used and properly managed by the both projects.

Again as mentioned in the previous section, the integration with the Dien Bien REDD+ Pilot Project is planned after this Mid-term Review. There have been many opportunities of co-ordination including a series of meetings. Furthermore technical guidelines developed by the Project were shared with the Dien Bien REDD+ Pilot Project.

Moreover a series of discussion with Sumitomo Forestry Co., Ltd. have been made to seek collaboration in the scheme of the REDD+. As a result, it was almost agreed that Sumitomo Forestry would select two target villages which are located in the present pilot sites of the Dien Bien REDD+ Pilot Project.

5) Changes and influence in important assumptions from activities to outputs

There are two assumptions identified from activities to outputs in the PDM, i.e. i) the government's policy on forest land does not drastically change so that preparation of landscape plan is done as scheduled and ii) those who participated in the training programs continue to be involved in the Project. The first assumption has been fulfilled as there have been no changes in the forestry related policies of the country, which have negatively affected the Project. Concerning the second assumption, three members are no longer C/P to the Project; two have already been transferred to

other offices due to routine shifting of their workplace and one (Vice Director of the PMU) retired from DARD.

5.4. Impact

Summary: Impact is 'Relatively high'. If the financial resources are secured, the overall goal will be achieved during three to five years after the Project end as there is favourable environment for the extension in participatory forest management and livelihood development. Some positive impacts in awareness raising of local people are observed. No major negative impact has been observed.

1) Prospect of achievement of the overall goal

The overall goal of the Project is set as "**Participatory forest management and livelihood development are extended to the sites with similar conditions to the Project pilot sites in Dien Bien Province**". It was revealed by the Review, through the questionnaire survey, interview and site observation, that there are strong needs on the current Project activities. The C/P members are also concerned about the approach of the Project. Thus it can reasonably be said that there is favourable environment for the extension if the Project can produce the expected results by its end. The only constraint can be the issue of funding but as some of the C/P members mentioned in the interview, the local governments such as province, districts and communes may provide funds¹⁰. To facilitate these initiatives, the Project is required to appropriately attain the Output 3 of the Project, i.e. Provincial plan for dissemination of the achievements of pilot activities is adopted for Dien Bien Province.

2) Effects of project implementation and unintended effects

As the Project has just reached the half point, it is still early to expect effects, particularly positive impacts. However, according to the Project stakeholders, there are some cases of positive impacts arisen. Those include adoption of some activities by non-members of any interest groups by their own initiative, e.g. pig raising, chicken raising, vegetable cultivation and biogas utilization. Moreover the Interest Group (IG) members for pig raising have recently increased from 34 to 47 in the Phieng Ban Pilot Site, and the members have raised more fund in order to shorten the time for revolving. This case demonstrates awareness raising in the community as well as future possibility in extension of the project activities. It is also envisaged that the LDC News which basically issued monthly is giving the local participants good effects.

No major unintended negative impact has been observed or confirmed by the Team.

¹⁰ This is also one of the important assumptions stipulated in the PDM.

Handwritten signature

Handwritten signature

5.5. Sustainability

Summary: Sustainability is 'Fair'. Policy sustainability is still very high. Institutional sustainability will be enhanced towards the end of the Project. For technical sustainability, the techniques, knowledge and skills acquired will be maintained by the relevant stakeholders. Financial sustainability needs to be improved by finding fund source such as local governments.

1) Policy and system

The national policies related to the project purpose and overall goal, i.e. sustainable forest management and livelihood development, are still very favourable for the Project, and it is expected that no significant changes will be made. There are also some new policies that will directly support and/ or incentivize the province on these. For example, the province has large potential to benefit from the PFES, through protection of watershed forests of Da River and other micro-watersheds in the province. The Forest Protection and Development Plan 2011-2020 continues to aim at rehabilitation of degraded lands through natural regenerations and new plantings, and to improve livelihoods of local communities. National REDD+ Action Programme (NRAP) was approved in 2012¹¹, and Dien Bien Province is aiming to be one of the pilot provinces through the collaboration with JICA (Dien Bien REDD+ Pilot Project).

2) Institutional sustainability

The Project has been trying to enhance the existing management system from the provincial level (DARD) to the commune level. It is predicted that the system will be sustainable as the Project stakeholders' awareness on institutional capacity will be increasing towards the end of the Project. It was also confirmed that the DARD leaders have an idea to secure institutional sustainability in a way to keep linkage between the C/P and the local participants, and also between the provincial and district level PMU and the commune extensionists.

On the other hand, institutional sustainability at the local level is judged as rather high as the Village Management Board is presently being established in each village of the pilot sites.

3) Technical sustainability

Since the commencement of the Project, huge efforts have been made for attaining capacity development of the relevant stakeholders through trainings, study tours, OJT in the pilot sites and so forth. As already described in 'Overall achievement level of Output 2' of '4.3.2. Achievement of Output 2' in this report, the results of the questionnaire survey revealed that all the respondents felt

¹¹ Prime Minister Decision No. 799/QĐ-TTg

technical and institutional capacities of the implementing agencies had been strengthened. This trend is expected to be further enhanced towards the end of the Project. Therefore it is believed that the techniques, knowledge and skills acquired will be maintained by the relevant stakeholders even after the Project life. For dissemination of the techniques, however, it is necessary that the Output 3 (Provincial plan for dissemination of the achievements of pilot activities is adopted for Dien Bien Province) is surely achieved.

On the other hand, it is judged technical sustainability at the pilot site level can also be rather high as seen in the cases of expansion of the activities to non-participants of the project activities.

Regarding the equipment and machinery provided by JICA, it was confirmed that those have been well maintained by each office, and is assumed that the condition will be sustained. This is also supported by the results of the questionnaire survey.

4) Financial sustainability

As already stated in '4.2.2. Local cost borne by the Government of Vietnam' and also '5.3. Efficiency', the current financial condition of the Project is regarded as very severe mainly due to the low level of disbursement from the Vietnamese side. This issue often stands as one of the obstacles for the project activity implementation. Although the financial condition has been improved compared to the time of the project commencement, the further efforts need to be taken by the Vietnamese side. It is hoped that the project tangible outcomes will facilitate improvement of the financial disbursement to sustain and extend the results of the Project after the cooperation period towards the achievement of the Overall Goal.

6. Conclusions

Almost all the scheduled activities have been/ are being implemented in spite of some obstacles. Part of some outputs has already been attained or are emerging, including development of the FMPs and LDPs for the 15 villages of the seven pilot sites, capacity development of the implementing agencies' staff, preparation of the 'Implementation Process Manual for the Pilot Activity Implementation' which incorporated guiding documents for participatory forest management and livelihood development plan. As the results of the above outputs as well as the activities, participatory forest management and livelihood development in the pilot sites have been largely strengthened. Therefore it is expected that the project purpose will be achieved by the end of the Project.

7. Recommendations

7.1. Recommendations addressed to the Project

1) Reconsideration of activity options

There are currently many activities supported by the Project, particularly in livelihood development. However some of the current livelihood development activities do not have clear linkage with forest protection and sustainable forest management. This is the right time to sort out all the activities with certain criteria so that the advantages and disadvantages of each activity can be identified. This measure will also help select activities for the new pilot sites in the second phase.

2) Improvement in monitoring system

There have been several systems or methods applied for monitoring activities and other issues. As mentioned, monitoring volunteers have been allocated in each pilot site to monitor mainly endogenous development of the local participants. However, as it was revealed that the system did not properly work, it should be ended and find another method to assess the endogenous development. Again the monitoring system/ method for forest management should be reconsidered to obtain quantitative and qualitative data/ information, particularly regarding changes in the forest status.

3) Improvement of implementation approach

The present planning and implementation approach is focusing on the development of forest management and livelihood development models by providing intensive support to the limited number of villagers. In the second phase, in order to extend the activities to the larger number of villages, it is necessary to improve the current system to be more efficient way. One of the possible options could be to provide training opportunities for all the interested villagers.

4) Compilation and dissemination of good practices

It was revealed that some good practices regarding both forest management and livelihood development had already arisen in many pilot sites, e.g. strict regulations on forest protection, use of pig revolving fund for forest patrolling, use of fund for purchasing more animals. It is crucial to collect and compile those good practices as well as positive impacts, and consider the way to disseminate them to the other areas.

5) Sharing of technical materials

As stated in '4.5. Implementation process', a huge number of documents as many as 121 have been produced by the Project so far. It is recommended to sort out those documents in terms of importance and needs, and share them in different forms, e.g. use of web-site.

6) Modification of PDM

Since the Project is scheduled to be integrated with the Dien Bien REDD+ Pilot Project, the PDM is to be modified. The proposed modified PDM is attached in **Annex 14**.

7.2. Recommendations addressed to the Vietnamese side

1) Disbursement of counterpart budget

It is observed that the delay in counterpart budget disbursement has caused some negative effects in implementing the Project activities. It is recommended the PPC should allocate more funds to DARD.

2) Increase in commitment and awareness of implementing agencies

The commitment of the implementing agencies has been much improved during the course of the Project implementation. However there are still some cases that the commitment is weak, e.g. low rate of attendance of the key persons to important occasions. It is advisable to reassess the roles of the implementing agencies in the project management and to improve its ownership to further facilitate all the Project activities as well as to secure high level of sustainability. As one of options, it is recommended to attach a few fulltime C/P members to the Project Office.

3) Support to working environment

To improve the working environment and further support the Project activities, the Vietnamese side is required to consider to increase office space and give priority of the use of meeting room and driver to the project activities. This will help the Project carry out more work particularly after the integration with the Dien Bien REDD+ Pilot Project.

Annex 1 Schedule of Midterm Review

Date	Day	Place	Main mission	Consultant
2013/1/16	Wed	Japan - Hanoi	Abe, Yamamoto: Move to Hanoi	Move to Hanoi
2013/1/17	Thu	Hanoi-Dien Bien	• Move to DB • Meeting / Interview with project (REDD+, SUSFORM-NOW)	• Move to DB • Meeting / Interview with project (SUSFORM-NOW). • Other necessary Interview
2013/1/18	Fri	Dien Bien	Meeting / Interview with project (REDD+, SUSFORM-NOW)	• Meeting / Interview with project (SUSFORM-NOW) • Other necessary Interview
2013/1/19	Sat	Dien Bien - Hanoi	• Meeting / Interview with project (REDD+, SUSFORM-NOW) • 16:10 Move to Hanoi (VN1705)	• Move to Hanoi • Other necessary Interview
2013/1/20	Sun	Hanoi / Japan-Hanoi	Abe, Yamamoto: Preparation for next week Other members: Move to Hanoi	Other necessary Interview
2013/1/21	Mon	Hanoi	• 11:00-12:00 Meeting with JICA Vietnam Office • 13:30-16:00 Meeting with VNFOREST	
2013/1/22	Tue	Hanoi - Dien Bien	• 11:10 Move to Dien Bien(VN1704) • 16:00 Meeting with JICA experts	
2013/1/23	Wed	Dien Bien	• 08:00-11:30 Meeting with JICA experts • 13:30-16:30 Meeting with DARD	
2013/1/24	Thu	Dien Bien	07:00- Site visit (present SUFRORM-NOW site) 13:00- Site visit: Muong Phan Commune (Dien Bien District) 14:30- Meeting with the leader of Muong Phan Commune 15:30- Join the new year festival in Muong Phan Commune	
2013/1/25	Fri	Dien Bien	AM: Site visit (present SUFRORM-NOW site) (2) PM: Muong Muon Commune (Muong Cha District)	
2013/1/26	Sat	Dien Bien	15:00 Discussion on M/M including the Co-evaluation report (Dr. Hung joins the meeting 1/26-29)	
2013/1/27	Sun	Dien Bien		
2013/1/28	Mon	Dien Bien	08:30-11:00 Discussion, finalizing the M/M including the Co-evaluation report @DARD	
2013/1/29	Tue	Dien-Bien-Hanoi	08:30-11:30 Reporting to JCC (confirmation of draft M/M including the Joint Evaluation Report) (Meeting room at Muong Thanh Hotel) 15:00 Move to Hanoi (VN1705)	
2013/1/30	Wed	Hanoi	08:30- Reporting to VNFOREST (including Dien Bien representative) PM Signing of M/M [including Dien Bien representative](not decided)	
2013/1/31	Thu	Hanoi	14:00-15:00 JICA Vietnam reporting 16:00-17:00 EoJ reporting	

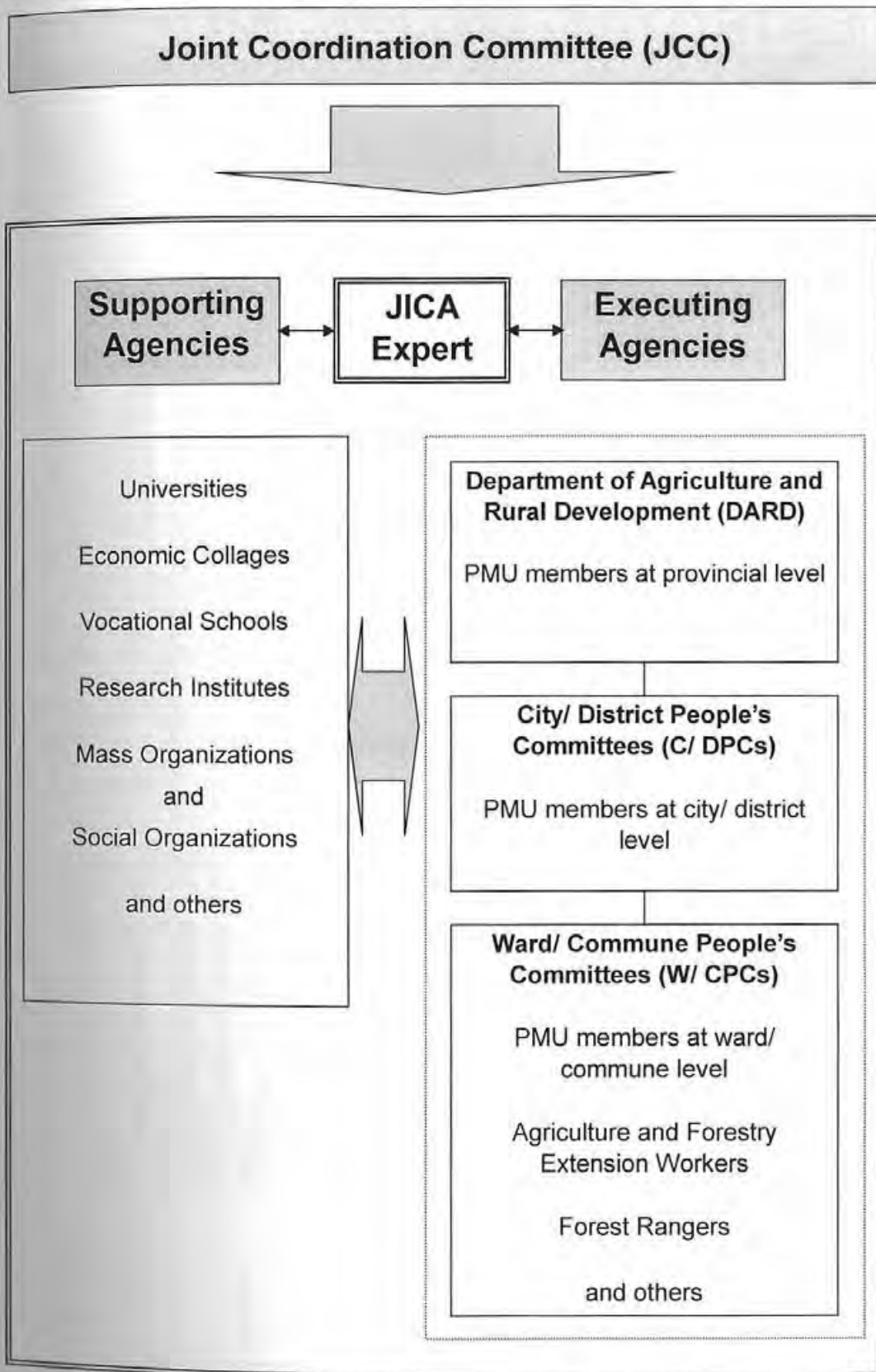
Annex 2 Project Design Matrix (PDM)

Project Title: Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area Project Period: 5 years Ultimate Goal: Increase of forest cover is promoted in the Northwest Watershed Area.		Local context: Implementing agency staff and pilot site groups members		PDM Version 2.0 15 Nov. 2010
Narrative Summary		Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal Participatory forest management and livelihood development are extended to the pilot sites with similar conditions to the Project pilot sites in Dien Bien Province.		<ol style="list-style-type: none"> Number of the sites utilizing the workable approaches of the Project increase to more than 500 by 2020. Forests are managed in accordance with the landscape plans at other sites where workable approaches are adopted. Cash income increases in accordance with livelihood development plan at other sites where workable approaches are adopted. 	<ol style="list-style-type: none"> Annual report by DARD 	The Provincial governments in Northwest region and/or central government mobilizes adequate fund to further implement participatory forest management and livelihood development.
Project Purpose Participatory forest management and livelihood development are mutually sustained in the pilot sites, using approaches also applicable to other areas.		<ol style="list-style-type: none"> By the end of the Project, forests are managed in accordance with the landscape plans at pilot sites where workable approaches are adopted. By the end of the Project, cash income increases in accordance with livelihood development plan at pilot sites where workable approaches are adopted. Note: Both targets need to be concurrently achieved. 	<ol style="list-style-type: none"> Landscape plan Monitoring reports/Project completion report 	The Provincial government of Dien Bien and/or central government mobilizes adequate fund to further implement participatory forest management and livelihood development. Implementing functions developed through the Project are maintained.
Outputs				
1. Workable approaches on landscape plans and land-based livelihood development plans are verified.	<ol style="list-style-type: none"> By 6th month after the commencement of the Project, landscape plan is prepared in accordance with the provincial policy, and livelihood development plan is prepared at initial pilot sites. By the 30th month after the commencement of the Project, landscape plan is prepared in accordance with the provincial policy, and livelihood development plan is prepared at additional pilot sites. By the end of the Project period, mutually sustainable approaches are selected. 	<ol style="list-style-type: none"> Monthly report, landscape plan and livelihood development plan Monthly report, landscape plan and livelihood development plan Project completion report that describes approaches selected. 	Government's forestry policy does not change to limit people's participation in forest management activities. Large scale natural disasters do not occur. Economic conditions do not drastically change. Population in and around the pilot sites does not drastically change.	
2. Technical and institutional capacities of implementing agencies (executing agencies, supporting agencies) are strengthened.	<ol style="list-style-type: none"> By the end of 2010, institutional arrangements for the Project are endorsed. Understandings of participants in the training program reach 80 % of what has been taught. 90 % of participants applies what they have acquired during the training program for their daily activities. 	<ol style="list-style-type: none"> Governmental decision on institutional arrangements M&E Report of training program 		
3. Provincial plan for dissemination of the achievements of pilot activities is adopted for Dien Bien Province.	<ol style="list-style-type: none"> By the beginning of 2013, technical guideline is completed. By the end of the Project, provincial plan for dissemination of the approaches selected through pilot activities is endorsed. 	<ol style="list-style-type: none"> Endorsed provincial plan Technical guideline 		

Activities	Inputs		
	Japanese side	Vietnamese side	
1-1. Select the pilot sites.	Japanese Experts (0202-2020) -Chief advisor / Forest Planning -Income Generating Activity -Administrative Coordinator	Quang Binh -Project Director -Project Manager -Other counterparts and administrative personnel	Government's policy on forest land does not drastically change so that preparation of landscape plan is done as scheduled. Those who participated in the training programs continue to be involved in the Project.
1-2. Clarify and gain stakeholder's consent on current status of land use and land use rights through socio-economic survey in the selected pilot sites.			
1-3. Mobilize local people for formulation and introduction of pilot activities.			
1-4. Formulate participatory forest management and livelihood development plans (i.e. landscape plans and land-based livelihood development plans) in each pilot site.	Japanese Experts (short-term) -Agroforestry -Product Marketing		
1-5. Facilitate implementation of the plans developed in Activity 1-4 in the pilot sites.	Machinery and equipment To be determined.		
1-6. Monitor the progress of pilot activities.			
1-7. Evaluate and analyze pilot activity results and share lessons learned.			
2-1. Identify the roles of implementing agencies, develop implementation structure and work plan.		Facility, machinery and equipment Project office, meeting room, necessary machinery and equipment	Pre-conditions Local governments including DPCs and CPCs agree to participate in the Project.
2-2. Provide support to implementing agencies in carrying out pilot activities (as "on-the-job training" (OJT)).	Training Training in Japan or third country		PPC will submit a request to Central Government to allocate annual counterpart budget for the Project.
2-3. Provide technical training to implementing agency staff (non-OJT).			
2-4. Evaluate the effectiveness of the implementation structure and provide recommendations for improvement.			
3-1. Review the existing guiding documents for participatory forest management and livelihood development plans.	Project budget		
3-2. Review the existing governmental fund, as well as other outside funding sources, that can be utilized for similar activities.		Project counterpart budget	
3-3. Integrate existing guiding documents and those developed by the Project into one technical guideline.			
3-4. Provincial plan for dissemination of the achievements of pilot activities is prepared for Dien Bien Province.			
3-5. Submit recommendations to central government and related agencies.			

Fun

Annex 4 Implementation structure



Annex 5 Evaluation grid

Criteria	Question	Evaluation questions		Basis of judgment	Required data	Information source	Data collection method	
		Sub-question						
Performance	Planned inputs	Have the Japanese JICA experts dispatched as planned?	-		<ul style="list-style-type: none"> Records on Japanese JICA experts (Field, number, period, timing) 	<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, C/P training related reports, etc. C/P, JICA experts 	Literature review, interview, site visit (facilities such as office), etc.	
		Have the equipment and machinery provided as planned?	-		<ul style="list-style-type: none"> Records on procurement of equipment and machinery (type, quantity, amount, purpose) 			
		Have the physical facilities provided as planned?	-		<ul style="list-style-type: none"> Records on facilities (type, quantity, amount, purpose) 			
		Has the counterpart training conducted as planned?	-		<ul style="list-style-type: none"> C/P training record (position, number, period, subjects) 			
		Have the budgets to cover operational costs allotted as planned?	-		<ul style="list-style-type: none"> Activity cost record (budget, expenditure, contents) 			
	Prospect of producing the outputs	Project management and supporting system	-			<ul style="list-style-type: none"> Project organisation / Organisational chart, supporting system 	<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. C/P, JICA experts 	Literature review, questionnaire survey, interview, site visit, etc.
		Inputs by recipient government	-			<ul style="list-style-type: none"> C/P allocation record (position, field, number, period, full time / part time) Provision of facilities such as office(s) Local cost record 		
		1. Workable approaches on landscape plans and land-based livelihood development	-			<ul style="list-style-type: none"> Data / information for indicators 		
		2. Technical and institutional capacities of implementing agencies (executing agencies, supporting agencies) are strengthened.	-			<ul style="list-style-type: none"> Opinions of stakeholders 		
		3. Provincial plan for dissemination of the achievements of pilot activities is adopted for Dien Bien Province.	-					
Prospect of achieving the project purpose	'Participatory forest management and livelihood development are mutually sustained in the pilot sites, using approaches also applicable to other areas.'	-			<ul style="list-style-type: none"> Data / information for indicators 	<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. C/P, JICA experts 	Literature review, questionnaire survey, interview, site visit, etc.	
	Have the activities been timely implemented?	-			<ul style="list-style-type: none"> Opinions of stakeholders 			
	Has there been any change in the activities and schedule of implementation from the original PO?	-			<ul style="list-style-type: none"> Outcomes, Activity achievement 			
	Has the technical transfer been properly made?	-			<ul style="list-style-type: none"> Opinions of stakeholders 			
	Has the methods of the technology transfer been appropriate?	-			<ul style="list-style-type: none"> Records on technology transfer 			
Technology transfer	Has the technical transfer been properly made?	-			<ul style="list-style-type: none"> Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, Plan and achievement comparison table of PO and APO, C/P training related reports C/P, JICA experts 	Literature review, questionnaire survey, interview, site visit, etc.	
	Has the methods of the technology transfer been appropriate?	-			<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, Plan and achievement comparison table of PO and APO, C/P training related reports C/P, JICA experts 			
Project management system	Have the Project activities been properly monitored? (Has the monitoring system been	-			<ul style="list-style-type: none"> Opinions of stakeholders Achievement of monitoring, Agenda and contents of regular meetings / JCC 	<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, 	Literature review, questionnaire	

Criteria	Evaluation questions		Basis of judgment	Required data	Information source	Data collection method
	Question	Sub-question				
Relevance		appropriate? How the PDM and PO are utilized? Has the supporting system of the Project been functional?		meetings ● Opinions of stakeholders	JICA experts' reports, Plan and achievement comparison table of PO and APO, etc. ● C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office	survey, interview, site visit, etc.
		Has the decision making mechanism of the Project been functional?	-	● Opinions of stakeholders	● C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office ● Target group members	Interview
		Has the communication among the JICA Head Office, JICA country Office, the implementing agencies and the Project been smooth?	-	● Opinions of stakeholders	● C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office	Interview
		Has the communication among the Project personnel been smooth?	-	● Opinions of stakeholders	● C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office ● Target group members	Questionnaire survey, interview
		Ownership of the implementing agencies has been appropriate? (participation to the activities, allocation of counterpart budget and C/P) Functions in overall planning, implementation, monitoring and co-ordination have been appropriate?	-	● Record on inputs by recipient government ● C/P allocation record ● Opinions of target groups ● Opinions of stakeholders	● Midterm Review Self Evaluation Table ● List of C/P allocation ● Target group members ● C/P, JICA experts	Literature review, questionnaire survey, interview, etc.
		Collaboration with the stakeholders and co-operation with other agencies	-	● Information / record on collaboration and co-operation ● Opinions of stakeholders	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. ● C/P, JICA experts	Literature review, interview
		Others	-	● Information on project activities ● Opinions of stakeholders	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. ● C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office	Interview
		Consistency with development policies of the recipient country	Confirmation of details of development plan(s) and priority	● National and regional development policy, policy and plan of relevant sector (forestry) ● Information from stakeholders	● C/P organisation ● C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office	Literature review, interview
		Consistency with the Japan's foreign assistance policy for the recipient country	Comparison in assistance policy between the beginning of the Project and present	● Information and documents at the ex-ante evaluation ● Relevant documents on assistance for Vietnam by the Japanese Government and JICA ● Information from stakeholders	● Ex-ante Evaluation Report ● Japan's Foreign Assistance Policy, JICA's Country Assistance Program ● JICA Vietnam Office	Literature review, interview
		Consistency with the needs of the target area	Degree of consistency with the needs	● Response to requests or needs by the target group ● Opinions of target groups ● Opinions of stakeholders	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. ● Target group members ● C/P, JICA experts	Literature review, questionnaire survey, interview
	Appropriateness of the	Is the selection of target groups (beneficiaries)	● Appropriateness of size and	● Target group members	Interview	

Criteria	Evaluation questions		Basis of judgment	Required data	Information source	Data collection method
	Question	Sub-question				
Effectiveness (prospect)	target group selection	appropriate?	characteristics of the target group	<ul style="list-style-type: none"> Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> C/P, JICA experts 	
	Advantage of Japan's technologies / experiences	Are there effectiveness and/or technical know-how that Japan can extend?	Comparison with similar services provided in Vietnam	<ul style="list-style-type: none"> Past achievement and experience, and supremacy of assistance in the sector by the Japanese Government Supremacy Opinions of target groups Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> Ex-ante Evaluation Report Target group members C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office 	Literature review, questionnaire survey, interview
	Changes in the environment of the Project	Have there been any changes in the biophysical, socio-economic, political and other conditions assumed prior to the commencement of the Project?	Comparison with the situation at the ex-ante evaluation	<ul style="list-style-type: none"> Information and documents at the ex-ante evaluation Contents of relevant reports and discussions at meetings Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> Ex-ante Evaluation Report Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office 	Literature review, interview
	Adequateness of the project planning	Were the implementation plan and approach adequate? (including logicity of PDM)	Confirmation of progress	<ul style="list-style-type: none"> Information and documents at the ex-ante evaluation Contents of relevant reports and discussions at meetings Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> Ex-ante Evaluation Report, R/D Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office 	Literature review, questionnaire survey, interview
	Specificity of the Project purpose	Are the objectively verifiable indicators, target figures and means of verification in the PDM appropriate? Is the Project purpose specific?	-	Opinions of stakeholders	<ul style="list-style-type: none"> C/P, JICA experts 	Questionnaire survey, interview
	Prospect of achieving the Project purpose	Is the prospect of achieving the Project purpose considered to be high comparing the achievement of inputs and outputs, and the progress of activities?	Comparison with the data / information for indicators	Data / information for indicators	<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. C/P, JICA experts 	Literature review, questionnaire survey, interview, site visit, etc.
	Appropriateness of setting the outputs to achieve the Project purpose	Are the outputs necessary conditions of achieving the project purpose?	Comparison with the data / information for indicators	Opinions of stakeholders	<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. C/P, JICA experts 	Literature review, questionnaire survey, interview, site visit, etc.
	Promoting and hindering factors to the achievement of the project purpose	What are the promoting factors to the achievement of the project purpose?	Influence of the promoting factors on the achievement of the project purpose	Contents of relevant reports and discussions at meetings	<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office 	Literature review, questionnaire survey, interview
	Influence of external factors (important assumptions) on the achievement of the project purpose	What are the hindering factors to the achievement of the project purpose?	Influence of the hindering factors on the achievement of the project purpose	Opinions of stakeholders	<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office 	Literature review, questionnaire survey, interview
	Appropriateness of the	Have the external factors (important assumptions) been fulfilled? How have the external factors (important assumptions) influenced the achievement of the project purpose? How has the project coped with the factors?	The project's reaction to the external factors	Information on external factors (Contents of relevant reports and discussions at meetings)	<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office 	Literature review, questionnaire survey, interview
Appropriateness of the	Have the timing, number, duration and fields	Confirmation of inputs made	Records on Japanese JICA experts	<ul style="list-style-type: none"> R/D 	Literature review,	

Criteria	Question	Evaluation questions	Basis of judgment	Required data	Information source	Data collection method
<p>inputs to produce the outputs</p> <p>Question</p> <p>Sub-question</p>	of Japanese JICA experts dispatched been appropriate?	and judgment of their appropriateness, comparison in plan and achievement	(Field, number, period, timing, capacity)	<ul style="list-style-type: none"> ● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. ● C/P, JICA experts 	interview, site visit (facilities such as office), etc.	
	Have the timing, volume and specification of provision of equipment been appropriate?		<ul style="list-style-type: none"> ● Opinions of stakeholders ● Records on procurement of equipment and machinery (type, quantity, amount, purpose) ● Maintenance and management of provided equipment ● Opinions of stakeholders ● Records on facilities (type, quantity, amount, purpose) ● Maintenance and management of provided facilities ● Opinions of stakeholders ● C/P training record (position, number, period, subjects) ● Current situation of training participants (position, roles in the Project) ● Opinions of stakeholders ● Activity cost record (budget, expenditure, contents) ● Opinions of stakeholders ● C/P allocation record (position, field, number, period, full time / part time) ● Opinions of stakeholders ● Records on facilities (type, quantity, amount, purpose) ● Maintenance and management of provided facilities ● Opinions of stakeholders ● Activity cost record (budget, expenditure, contents) ● Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> ● R/D ● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. ● C/P, JICA experts ● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. ● C/P, JICA experts ● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. ● C/P, JICA experts 	<ul style="list-style-type: none"> ● Literature review, interview ● Literature review, questionnaire survey, interview ● Literature review, interview 	
	Were the physical facilities supported by JICA sufficient to implement the Project activities?					
	Have the timing, duration, contents of counterpart training been appropriate?					
	Have the timing, amount and purpose of budget provided by JICA been appropriate?					
	Have the timing, number, duration and fields of counterpart personnel (C/P) been appropriate?					
	Were the physical facilities provided by the Vietnamese side sufficient to implement the Project activities?					
	Have the timing, amount and purpose of local budget provided by the Vietnamese side been appropriate?					
	Appropriateness of the outputs in relation to the planned inputs	—	Confirmation and comparison of inputs and outputs	<ul style="list-style-type: none"> ● Data / information on inputs ● Achievement of outputs ● Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> ● R/D ● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. ● C/P, JICA experts 	Literature review, interview
	Factors contributing or hindering to the efficiency of the Project	Have there been any factors contributing to the efficiency of the Project? Have there been any factors hindering to the efficiency of the Project?	Influence of the promoting factors on efficiency Influence of the hindering factors on efficiency	<ul style="list-style-type: none"> ● Data / information on project activities ● Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> ● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. ● C/P, JICA experts 	Literature review, questionnaire survey, interview
Outcomes by collaboration with the other JICA projects and co-operation with other	—	Influence of the outcomes that affect the outputs	<ul style="list-style-type: none"> ● Data / information on outputs ● Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> ● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. ● C/P, JICA experts 	Literature review, interview	

Criteria	Evaluation questions		Basis of judgment	Required data	Information source	Data collection method
	Question	Sub-question				
Appropriateness of the project management	Changes and influence in important assumptions from the activities to outputs	Have the inputs been properly managed towards achievement of the project purpose?	Conduct of regular meetings and JCC meetings and issues determined	Information on regular meetings / JCC meetings	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc.	Literature review, interview
		Has the Joint Coordinating Committee (JCC) been functional?	Positioning of JCC and contents of JCC meetings	Opinions of stakeholders	● C/P, JICA experts	
		Have the important assumptions been fulfilled? What influences were made by the important assumptions? If there were any changes, any appropriate responses were made?	Relations between the project and external factors	Information on external factors (Contents of relevant reports and discussions at meetings)	● JICA experts' reports, etc.	● C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office
Prospect of achieving the overall goal	Prospect of achieving the overall goal	Is the overall goal achieved as the result of the project?	Comparison with the data / information for indicators	Data / information on outputs	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc.	Literature review, interview
		Can achievement of the overall goal impact development plans / policies of the Vietnam Government?	-	Opinions of stakeholders	● C/P, JICA experts	Interview
		Are the overall goal and project purpose still consistent?	-	Opinions of stakeholders	● C/P, JICA experts	Interview
Effects of the project implementation and unintended effects	Effects of the project implementation and unintended effects	Are there any policy, technical, cultural and social impacts?	Comparison with the conditions before the Project commencement	Data / information on project activities	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc.	Literature review, questionnaire survey, interview
		Have there been unintended effects (both positive and negative) the project has brought about?	Comparison with the conditions before the Project commencement	Opinions of stakeholders	● C/P, JICA experts	
		Have the important assumptions been fulfilled? What influences were made by the important assumptions? If there were any changes, any appropriate responses were made?	Relations between the project and external factors	Information on external factors (Contents of relevant reports and discussions at meetings)	● JICA experts' reports, etc.	● C/P, JICA experts, JICA Head Office & Vietnam Office
Policy and system	Policy and system	C/P's position in terms of national and regional policies		Current situation	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc.	Literature review, interview
		Have the relevant policies and laws established or will be established?		Opinions of stakeholders	● C/P, JICA experts	
		C/P's assignment of counterpart personnel	Confirmation of the current conditions and future prospects	Current situation	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc.	● C/P, JICA experts
Institutional sustainability	Institutional sustainability	C/P's direction in future		Current situation	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc.	Literature review, interview
		C/P's management and decision-making system		Opinions of stakeholders	● C/P, JICA experts	
		Project management		Current situation	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc.	● C/P, JICA experts
Financial sustainability	Financial sustainability	C/P's budget for the project		Current situation	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc.	Literature review, interview
		Transparency of C/P's finance		Opinions of stakeholders	● C/P, JICA experts	
		C/P's technical skills		Current situation	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc.	● C/P, JICA experts
Technical sustainability	Technical sustainability	C/P's technical skills		Current situation	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc.	Literature review, interview
				Opinions of stakeholders	● C/P, JICA experts	
				Current situation	● Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc.	● C/P, JICA experts

Handwritten mark

Handwritten signature

Criteria	Evaluation questions		Basis of judgment	Required data	Information source	Data collection method
	Question	Sub-question				
	Social, cultural and environmental sustainability	Operation and maintenance of equipment and machinery		<ul style="list-style-type: none"> Opinions of stakeholders 	JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. <ul style="list-style-type: none"> C/P, JICA experts 	interview
		Mechanism of technical extension				
		Information management				
Other sustainability	Are there any negative influences on sustainability because of lack of consideration to women, the poor, and the socially vulnerable groups?	<ul style="list-style-type: none"> Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> C/P, JICA experts 	interview	
	Are there any negative influences on sustainability because of lack of consideration to environment?					
	Are there any other factors hindering sustainability?	<ul style="list-style-type: none"> Current situation Opinions of stakeholders 	<ul style="list-style-type: none"> Midterm Review Self Evaluation Table, JCC meeting proceedings, Biannual reports, JICA experts' reports, etc. C/P, JICA experts 	Literature review, interview		



Annex 6 List of JICA experts dispatched to the Project

#	Category	Name	Title	Period
1	Long-term	Mr. Kazuhiro Goseki	Chief Advisor/ Forest Planning	10/06/2010 - 09/06/2013
2		Ms. Hiromi Nonaka	Project Coordinator	20/07/2010 - 07/04/2012
3		Mr. Baku Takahashi	Project Coordinator	19/03/2012 - 18/03/2014
4	Short-term	Dr. Maki Tsumagari	Livelihoods Development	15/07/2011 - 27/09/2011
5		Mr. Kazuhito Suga	Facilitation Skills	27/02/2012 - 30/03/2012
6		Mr. Toyokazu Nakata	Facilitation Skills	08/08/2012 - 18/09/2012
7		Mr. Kazuhito Suga	Facilitation Skills	23/10/2012 - 03/11/2012
8	Team of short-term experts for LDC	Dr. Maki Tsumagari	Qualitative Analysis of Participant Observation Data	07/11/2012 - 24/12/2012
9		OPMAC Corporation KRI International Corporation Global Link Management	Livelihood Development	12/10/2011 - 29/03/2013

Annex 7 List of C/P trained in Japan

#	Training title	Period (Duration in Japan)	No. of participants	Participants' name	Participant title & Affiliation (at the time of participation)
1	Enhancement of Community Capacity and Rural Development Promotion Function for Vietnamese Michinoeki (J10-22080)	28/11/2010 - 21/12/2010	2	Ms. Dang Thi Thu Hien Ms. Nguyen Thi Duyen	Head, Planning and Technology Section, Sub-DoF, Dien Bien DARD Deputy Head, Agriculture and Rural Development Division, DB District
2	Forest Management Plan Training (J10-22078)	02/03/2011 - 19/03/2011	2	Mr. Nguyen Duc Duyen Mr. Tran Van Thuong	Vice-Chairman, DBP City People's Committee Vice-Chairman, DBD District People's Committee
3	Enhancement of Community Capacity and Rural Development Promotion Function for Vietnamese Michinoeki (J11-22379)	04/10/2011 - 29/10/2011	2	Mr. Mai Xuan Chi Mr. Pham Cong Nguyen	Specialist, Agriculture and Rural Development Division, DBD District Vice Head, Forest Protection Unit, DB District
4	Integrated Agriculture and Rural Development through the Participation of Local Farmers (A) (J11-00695)	07/2011 - 12/2011 09/08/2011 - 23/09/2011	2	Mr. Bui Nam Thai Mr. Vu Van Dung	Vice Head, Planning and Technology Section, Sub-DoF, Dien Bien DARD Head, Economic Division, DBP City
5	Livelihood Development and Life improvement in Rural Area of Japan (J12-21510)	04/04/2012 - 27/04/2012	12	Mr. Ha Luong Hong Ms. Cao Thi Tuyet Lan Mr. Lo Van Cuong Mr. Nguyen Hong Thang Mr. Nguyen Van Hoa Mr. Nguyen Trong Hue Mr. Nguyen Thanh Ha Mr. Vang Quoc Minh Mr. Lo Van Kho Mr. Truong Van Hung Mr. Nguyen Duy Tan Mr. Lo Van Sam	Vice Director, Sub-DoF, Dien Bien DARD Director, Sub-Department of Animal Health, Dien Bien DARD Head, Natural Resources and Environment Division, DB District Vice Head, Agriculture and Rural Development Division, DB District Vice Chairman, Nua Ngam CPC, DB District Officer, Agriculture and Rural Development Division, DBD District Officer, Fishery and Agriculture Extension Station, DBD District Chairman, Keo Lom CPC, DBD District Chairman, Na Son CPC, DBD District Expert, Economic Division, DBP City Chairman, Ta Leng CPC, DBP City Vice Head, Forest Protection Division, DBP City
6	Integrated Agriculture and Rural Development through the Participation of Local Farmers (A) (J12-00826)	08/2012 - 01/2013 03/09/2012 - 04/10/2012	4	Mr. Tran Ngoc Son Mr. Vu Van Hoanh Ms. Nguyen Thi Mai Mr. Quang Van Suong	Vice Head, Economic Division, DBP City Vice Head, Agriculture and Rural Development Division, DBD District Staff, Agriculture and Rural Development Division, DB District Staff, Sub-DoF, Dien Bien DARD
7	Forest Management Plan Training (J12-22056)	06/01/2013 - 19/01/2013	5	Mr. Do Duc Vuong Mr. Do Van Ruan Mr. Le Trong Khoi Mr. Lo Quang Chieu Mr. Nguyen Duy Chinh	Secretary, City Communist Party, DBP City Secretary, District Communist Party, DBD District Secretary, District Communist Party, DB District Vice Director, Dien Bien DARD Head, Sub-DPP, Dien Bien DARD
	TOTAL		29		

Annex 8 List of equipment provided by the Japanese side

#	Item	Specification	Procured in	Unit price	Qty	Total amount		Procurement date	Location
						VND	JPY		
1	Printer	Canon L11121E	Vietnam	2,900,000	1	2,900,000	11,586	28/Jul/2010	Project Office
2	Air conditioner	LG	Vietnam	9,210,000	2	18,420,000	73,588	4/Aug/2010	Project Office
3	PC	Desktop, monitor, Win7, Office 2007, Kaspersky, UPS	Vietnam	23,060,000	1	23,060,000	92,125	20/Aug/2010	Project Office
4	PC	Desktop, monitor, Win7, Office 2007, Kaspersky, UPS	Vietnam	21,410,000	1	21,410,000	85,533	26/Aug/2010	Project Office
5	Projector	Mitsubishi XD221U	Vietnam	14,000,000	1	14,000,000	55,930	27/Aug/2010	Project Office
6	Projector screen	H+PEC	Vietnam	2,140,000	1	2,140,000	8,549	27/Aug/2010	Project Office
7	Video camera	Sony DCR-SR-88E	Vietnam	10,500,000	1	10,500,000	41,948	27/Aug/2010	Project Office
8	Digital camera	Sony DSC-W310	Vietnam	3,600,000	1	3,600,000	14,382	27/Aug/2010	(lost)
9	GPS	Garmin Etrex Legend HCx	Vietnam	6,300,000	4	25,200,000	100,674	27/Aug/2010	Project Office
10	Fax machine	Panasonic KX-PP206CX	Vietnam	2,000,000	1	2,000,000	7,990	27/Aug/2010	Project Office
11	Printer	HP Deskjet K209A	Vietnam	2,600,000	1	2,600,000	10,387	27/Aug/2010	Project Office
12	Generator	Hyundai HY2200F	Vietnam	8,800,000	1	8,800,000	35,156	27/Aug/2010	Project Office
13	PC	Desktop, monitor, Win7, Office 2007, Kaspersky, UPS	Vietnam	21,700,000	1	21,700,000	86,692	20/Dec/2010	Project Office
14	Cabinet	4 door x 2, bookshelf x 2	Vietnam	2,600,000	4	10,400,000	41,548	23/Dec/2010	Project Office
15	PC	Desktop, monitor, Win7, Office 2007, Kaspersky, UPS	Vietnam	22,000,000	1	22,000,000	87,890	27/Dec/2010	Project Office
16	Printer	Canon Image Class MF4320d	Vietnam	6,050,000	1	6,050,000	24,170	29/Dec/2010	Project Office
17	Cabinet	N/A	Vietnam	2,350,000	2	4,700,000	18,777	5/Jan/2011	Project Office
18	Printer	Canon IP100	Vietnam	6,400,000	1	6,400,000	25,568	1/Mar/2011	Project Office
19	Digital camera	Samsung ES65	Vietnam	2,050,000	7	14,350,000	57,328	1/Mar/2011	Project Office
20	PC	Desktop, monitor, Win7, Office 2007, Kaspersky, UPS	Vietnam	21,600,000	1	21,600,000	86,292	8/Mar/2011	Project Office
21	PC	Laptop, Dell Inspiron N4030, Win7, Office 2007, Kaspersky	Vietnam	26,500,000	1	26,500,000	105,868	8/Mar/2011	Project Office
22	Telephone	Panasonic KX-TG1100CX & KX-TG1102CX	Vietnam	3,300,000	1	3,300,000	13,184	23/Mar/2011	Project Office
23	Vehicle*	Toyota Land Cruiser Prado	Vietnam	743,631,000	1	743,631,000	2,970,806	13/May/2011	Project Office
24	Vehicle*	Toyota HiAce Commuter	Vietnam	739,465,000	1	739,465,000	2,954,163	13/May/2011	Project Office
25	Digital camera	Sony DSC-WX10	Vietnam	7,300,000	2	14,600,000	58,327	28/Sep/2011	Project Office
26	Digital camera	Samsung ES65	Vietnam	2,300,000	2	4,600,000	18,377	2/Feb/2012	Project Office
27	Digital camera	Samsung ST66	Vietnam	2,690,000	1	2,690,000	10,747	13/Sep/2012	Project Office
28	Scanner	EPSON V33	Vietnam	2,500,000	1	2,500,000	9,988	16/Oct/2012	DB Office
29	Scanner	EPSON V33	Vietnam	2,500,000	1	2,500,000	9,988	27/Nov/2012	DBD Office
	Sub-Total (2010)					194,780,000	778,146		
	Sub-Total (2011)					1,574,546,000	6,290,311		
	Sub-Total (2012)					12,290,000	49,099		
	Sub-Total (JFY2010)					271,630,000	1,085,162		
	Sub-Total (JFY2011)					1,502,296,000	6,001,673		
	Sub-Total (JFY2012)					7,690,000	30,722		
	TOTAL VALUE					1,781,616,000	7,117,556		

Note: 1) The above list includes only major equipment items procured by the project.
 2) The items with * denote that those had been procured in USD and the prices are converted into VND with the exchange rate of USD 1=VND 20,830.

Annex 9 Project cost provided by Japanese side

Budget Line	JFY2010	JFY2011	JFY2012*	Total*	(JPY)**
General	492,032,708	3,339,835,672	4,577,864,035	8,409,732,415	33,596,881
Travel	269,205,000	858,550,775	910,918,008	2,038,673,783	8,144,502
Personnel	319,815,087	722,977,636	499,296,766	1,542,089,489	6,160,648
Conference	12,253,000	13,549,000	11,719,000	37,521,000	149,896
Local consultant	1,210,169,011	1,391,104,711	-	2,601,273,722	10,392,089
Construction	-	-	-	-	0
GRAND TOTAL	2,303,474,806	6,326,017,794	5,999,797,809	14,629,290,409	58,444,015

* Tentative figure as of 11 Dec 2012.

** With the exchange rate of VND 1 = JPY 0.003995.

Annex 10 List of C/P

#	#	Name	Level	Position at PMU	Current position at local government	Remarks
1	1	Mr. Pham Duc Hien	Province	Director	Director, Dien Bien DARD	
2	2	Mr. Nguyen Dinh Ky	Province	Vice Director	Vice Director, Dien Bien DARD	
3	3	Ms. Dang Thi Thu Hien	Province	Project Manager	Vice Head, Dien Bien Sub-DOF	
4	4	Ms. Nguyen Thi Van	Province	Accountant	Accountant, Dien Bien Sub-DOF	
5	5	Mr. Bui Nam Thai	Province	Member	Vice Head, Technology - Planning Section, Dien Bien Sub-DOF	
6	6	Ms. Ta Thi Thanh Bac	Province	Member	Staff, Administrative Section, Dien Bien Sub-DOF	
7	7	Mr. Vo Anh Tuan	Province	Member	Staff, Administrative Section, Dien Bien Sub-DOF	
8	1	Mr. Tran Van Thuong	District (DBD)	Member	Vice Chairman, DBD DPC	New member
9	2	Mr. To Quang Tiep	District (DBD)	Member	Head, Agriculture and Rural Development Division, DBD District	
10	3	Mr. Mai Xuan Chi	District (DBD)	Member	Staff, Agriculture and Rural Development Division, DBD District	
11	4	Mr. Lo Van Minh	District (DBD)	Member	Head, Forest Protection Division, DBD District	
12	5	Mr. Ca Van Thanh	District (DBD)	Member	Head, Agriculture and Fisheries Extension Center, DBD District	New member
13	6	Mr. Lo Van Kho	Commune	Member	Chairman, Na Son CPC, DBD District	New member
14	7	Mr. Vu A Thong	Commune	Member	Chairman, Pu Nhi CPC, DBD District	New member
15	8	Mr. Van Quoc Minh	Commune	Member	Chairman, Keo Lom CPC, DBD District	New member
16	1	Mr. Pham Van Bach	District (DB)	Member	Vice Chairman, DB DPC, DBD District	New member
17	2	Ms. Nguyen Thi Duyen	District (DB)	Member	Vice Head, Agriculture and Rural Development Division, DB District	
18	3	Mr. Pham Cong Nguyen	District (DB)	Member	Vice Head, Forest Protection Division, DB District	
19	4	Mr. Pham Van Kien	District (DB)	Member	Head, Agriculture and Fisheries Extension Center, DB District	
20	5	Mr. Nguyen Ngoc Hung	District (DB)	Member	Staff, Veterinary Station, DB District	New member
21	6	Mr. Pham Lam Muoi	Commune	Member	Vice Chairman, Thanh An CPC, DB District	New member
22	7	Mr. Nguyen Van Doa	Commune	Member	Vice Chairman, Nua Ngam CPC, DB District	New member
23	1	Mr. Nguyen Duc Duyen	City (DBP)	Member	Vice Chairman, DBP CPC, DB District	New member
24	2	Mr. Vu Van Dung	City (DBP)	Member	Head, Economic Division, DBP City	
25	3	Mr. Truong Van Hung	City (DBP)	Member	Staff, Economic Division, DBP City	
26	4	Ms. Chu Thi Mai	City (DBP)	Member	Head, Veterinary Station, DBP City	New member
27	5	Mr. Nguyen Trong Muoi	City (DBP)	Member	Vice Head, Forest Protection Division, DBP City	New member
28	6	Ms. Dang Thi Hong	Commune	Member	Agriculture Staff, Ta Leng Commune, DBP City	New member
29	7	Mr. Luong Van Toan	Ward	Member	Vice Chairman, Nam Thanh WPC, DBP City	New member
30	8	Mr. Lo Van Phan	Ward	Member	Agriculture Staff, Noong Bua Ward, DBP City	New member

Note: The list is based on Decision No.663/QĐ-UBND dated 8 July 2011, modified in December 2012 according to the current set-up.

Annex II List of training courses organized by the Project

#	Subject	Unit duration (days)	Start date	End date	Venue	Target	No. of participants	Trainer
1	TOT on VDP formulation	7.0	8/May/2011	14/May/2011	Dien Bien Phu City	Prov, Dist, City	13	VFU
2	OJT on VDP formulation and completion	7.0	15/May/2011	22/Jun/2011	Sai Luong, Hang tro B, Phieng Ban, Tia Ghenth C, Na Phat A, Huoi Mua A	Communes	14	VFU
3	2nd Regional Forum for People and Forest	2.0	8/Aug/2011	9/Aug/2011	Bangkok (Thailand)	Prov + villager (1)	2	--
4	OJT on Ta Leng plan formulation and completion	5.0	15/Aug/2011	15/Sep/2011	Ke Nenh, Na Nghe, Phieng Bua	Communes, Wards, village leaders	N/A	VFU
5	Sow breeding	1.0	29/Aug/2011	29/Aug/2011	Sai Luong	Villagers	25	Extensionist
6	JICA's Facilitation Skill Seminar	0.5	7/Sep/2011	7/Sep/2011	Hanoi	Dist	3	JICA Expert
7	Porcupine raising	1.0	15/Sep/2011	15/Sep/2011	Phieng Ban	Villagers	2	Extensionist
8	MIA Training	2.0	10/Oct/2011	22/Oct/2011	Na Phat A, Tia Ghenth C, Huoi Mua A, Hang Tro B	Villagers	20	Extensionist
9	On-site training on animal care	1.0	22/Nov/2011	25/Nov/2011	Huoi Mua A, Hang Tro B, Na Phat A, Phieng Ban	Villagers	36	Extensionists
10	Improved cooking stove	1.0	9/Jan/2012	10/Mar/2012	Tia Ghenth C, Na Phat A, Huoi Mua A, Phieng Ban, Sai Luong, Na Nghe, Han Tro B, Phieng Bua	Villagers	230	LDC
11	Organic farming/vegetable	1.0	11/Jan/2012	5/Mar/2012	Hang Tro B, Na Phat A, Sai Luong, Huoi Mua A, Tia Ghenth C, Phieng Ban, Na Nghe, Phieng Bua, Ke Nenh	Villagers	153	LDC
12	PE-type biogas installation	1.0	12/Jan/2012	8/Mar/2012	Sai Luong, Phieng Bua	Villagers	53	LDC
13	Tofu production	1.0	20/Feb/2012	22/Feb/2012	Hang Tro B, Tia Ghenth C	Villagers	36	LDC
14	Mong Cai sow raising	1.0	20/Feb/2012	29/Feb/2012	Tia Ghenth C, Sai Luong	Villagers	33	LDC
15	Facilitation skill	4.0	5/Mar/2012	8/Mar/2012	DBP City and others	Prov, Dist, City, Wards, Communes	22	i-i Net (Mr. Suga)
16	Fodder grass	0.5	19/Mar/2012	5/Apr/2012	Hang Tro B, Huoi Mua A, Tia Ghenth C, Na Phat A, Ke Nenh, Phieng Bua	Villagers	132	LDC
17	Livestock raising	0.5	23/Mar/2012	23/Mar/2012	Sai Luong, Phieng Ban	Villagers	41	LDC
18	Product marketing (for Dien Bien Festival)	0.5	5/Apr/2012	6/Apr/2012	Ke Nenh, Phieng Bua, Sai Luong, Phieng Ban, Na Nghe	Villagers	98	LDC

#	Subject	Unit duration (days)	Start date	End date	Venue	Target	No. of participants	Trainer
10	Fish raising	0.5	12/Apr/2012	20/Apr/2012	Sai Luong, Phiang Bua, Hang Tro B, Na Nghe, Phiang Ban, Huoi Mua A, Na Phat A	Villagers	74	LDC
20	Afforestation technique	0.5	12/Apr/2012	10/May/2012	Phiang Ban, Ke Nenh, Na Nghe, Phiang Bua, Na Phat A	Villagers	138	DB & DBD Dist forest ranger
21	Forest fire prevention technique	0.5	20/Apr/2012	20/Apr/2012	Huoi Mua A	Villagers	33	DB Dist forest ranger
22	Product marketing (@ Dien Bien Festival)	1.0	21/Apr/2012	28/Apr/2012	DBP City	Villagers	73	LDC
23	IG regulation and fund management	1.0	17/May/2012	17/May/2012	DBP City	Prov, Dist, City, Wards, village heads (24)	40	N/A
24	A-frame making and hole digging for tree planting	0.5	21/May/2012	26/May/2012	Huoi Mua A, Tia Ghenh C, Phiang Ban, Sai Luong, Na Nghe, Ke Nenh, Hang Tro B, Na Phat A, Phiang Bua	Villagers	235	LDC
25	Mong Pe wine production	1.0	27/Jun/2012	27/Jun/2012	Tia Ghenh C	Villagers	7	LDC
26	FMP & LDP formulation (village workshop)	1.5	3/Jul/2012	3/Aug/2012	Long Hom, Ta Leng, Pom Loi, Hong Luu, Khe Chit, Noong Bua	Villagers	234	CPMU
27	PE-type biogas installation	1.0	4/Aug/2012	9/Aug/2012	Na Phat A	Villagers	38	LDC
28	Animal raising	1.0	13/Aug/2012	5/Sep/2012	Phiang Ban, Sai Luong, Na Nghe, Ke Nenh, Tia Ghenh C, Huoi Mua A, Hang Tro B	Villagers	145	LDC
29	Participant observation	3.0	18/Aug/2012	20/Aug/2012	VFU	MV's	12	Prof. Nguyen Cong Thao
30	Facilitation skills (1st follow-up)	5.0	20/Aug/2012	24/Aug/2012	DBP City and others	Prov, Dist, City	22	i-i Net (Mr. Nakata)
31	Fish raising	1.0	29/Sep/2012	1/Oct/2012	Na Nghe, Hang Tro, Huoi Mua, Phiang Ban, Sai Luong, Na Phat A, Phiang Bua	Villagers	52	LDC
32	Forest management and livelihood development	2.0	4/Oct/2012	5/Oct/2012	DBP City	Prov, Dist, City, Wards, village heads (24)	56	N/A
33	Pig raising	0.5	7/Oct/2012	7/Nov/2012	Phiang Ban, Hang Tro B, Ke Nenh, Na Nghe, Huoi Mua A	Villagers	72	LDC
34	Fruit tree pruning and site	1.0	15/Oct/2012	20/Oct/2012	Tia Ghenh C, Huoi Mua A,	Villagers	111	LDC

#	Subject	Unit duration (days)	Start date	End date	Venue	Target	No. of participants	Trainer
	selection for contour cropping				Nà Phat A, Nà Nghe, Phieng Bua, Hang Tro B, Phieng Ban, Ke Nenh			
35	Facilitation skills (2nd follow-up)	5.0	24/Oct/2012	30/Oct/2012	DBP City and others	Prov, Dist, City	20	i-i Net (Mr. Suga)
36	Chicken raising	0.5	5/Nov/2012	18/Nov/2012	Nà Phat A, Phieng Ban, Phieng Bua, Sai Luong, Hang Tro B, Tia Ghenh C, Huoi Mua A	Villagers	54	LDC+Supplier
37	Mong Pe wine production	3.0	18/Nov/2012	20/Nov/2012	Tia Ghenh C	Villagers	5	LDC
38	Planning and implementation manual utilization	2.0	19/Nov/2012	20/Nov/2012	Ta Leng CPC	Communes	19	LDC
39	Broom making	5.0	26/Nov/2012	30/Nov/2012	Sai Luong	Villagers	7	LDC + Hoa Binh Sanda Company
40	Biogas training course (basic course on building, operation & maintenance of brick-type biogas facilities)	9.0	10/Dec/2012	18/Dec/2012	LDC Office & Sai Luong	Villagers	8	LDC
41	Training course on enhancing implementation capacity (TOT for commune staff)	2.0	7/Jan/2013	8/Jan/2013	LDC Office	Communes	15	LDC
42	Training course on enhancing implementation capacity (of village heads by commune staff)	2.0	9/Jan/2013	10/Jan/2013	LDC Office	Villagers	33	LDC
43	Biogas training course (advance course on building, operation & maintenance of PE-type & brick-type biogas facilities)	2.0	14/Jan/2013	15/Jan/2013	LDC Office & Phieng Bua	Villagers	14	LDC
Total							2,430	

Annex 12 List of in-country/ regional study tours organized by the Project

#	Subject	Unit duration (days)	Start date	End date	Venue	Target	Participants	Facilitator
1	Study tour to Hoa Binh Province	4.0	6/Sep/2010	9/Sep/2010	Hoa Binh	Province	4	Goseki
2	Study tour to Lao Cai Province	4.0	3/Nov/2010	6/Nov/2010	Lao Cai	Province	8	Goseki & Nonaka
3	Study tour to Da Lat & Hue Province	3.0	21/Feb/2011	24/Feb/2011	Da Lat + Hue	Province	12	Nonaka
4	Study tour to Hoa Binh Province	4.0	15/Jun/2011	18/Jun/2011	Hoa Binh	Province	2	Goseki & Nonaka
5	Study tour to Hoa Binh Province	2.0	29/Aug/2011	30/Aug/2011	Hoa Binh	District	2	Goseki
6	Study tour to PAREDD	6.0	21/Sep/2011	26/Sep/2011	Luang Phabang (Laos)	Province	2	Goseki
7	Study tour to Ha Long (observation of collaboration between JOCV and Safe Crop Project)	2.0	25/Oct/2011	26/Oct/2011	Ha Long	Province	1	Goseki
8	Study tour to Hoa Binh Province	4.0	9/Nov/2011	12/Nov/2011	Hoa Binh	Communes	11	Nonaka
9	Study tour to Son La (on cooking stoves and biogas facilities)	1.0	11/Dec/2011	11/Dec/2011	Son La	Villagers	9	LDC
10	Study tour to Son La Province	2.0	23/Feb/2012	24/Feb/2012	Son La	Communes	22	Goseki & LDC
11	Study tour to Kon Tum (on agroforestry and livestock)	5.0	27/Mar/2012	31/Mar/2012	Kon Tum	PMU, district veterinarians, communes, villagers (9)	16	LDC
12	Study tour to Pe Luong Fishery Cooperative on fish fingerling selection	0.5	11/May/2012	11/May/2012	Thanh Nua Commune (DB Dist.)	Dist, Communes, Villagers (16)	19	LDC
13	Study tour to biogas model in Sai Luong	0.5	2/Jul/2012	9/Jul/2012	Sai Luong	Villagers	48	LDC
14	Study tour to animal supplier on animal raising	0.5	17/Oct/2012	17/Oct/2012	Animal supplier (DBP City)	Villagers	5	LDC
15	Study tour to Son La Province & Hanoi	4.0	20/Oct/2012	23/Oct/2012	Son La+ Ha Noi	Province	2	Goseki
16	Study tour to Hoa Binh (on broom making)	3.0	9/Nov/2012	11/Nov/2012	Hoa Binh	Communes, Sai Luong villagers (7)	10	LDC
Total							173	

Annex 13 Major activities and progress (as of 18 January 2013)

District/city	Dien Bien			Dien Bien Dong				Dien Bien Phu				
	Nua Ngam	Thanh An	Keo Lom	Tia Ghenh C	Huoi Mua A	Na Son	Pu Nhi	Ta Leng	Na Nghe	Ke Nenh	Noong Bua	Phieng Bua
Village	Sai Luong	Phieng Ban					Hang Tro B					
Population	524	399	172	172	167	282	215					
No. of HH	46 Thai	64 Thai	32 H'Mong, 7 Kinh	49 Thai	27 Thai, 8 H'Mong, 2 Kho Mu, 1 Kinh		35 H'Mong	30 Kho Mu, 15 Thai, 5 H'Mong	48 Thai, 1 H'Mong, 1 Kho Mu, 1 Kinh		67 Thai (only 28 HHs related to forestry)	
Land area (ha)	363.90	93.76	247.50	171.70	172.71	171.70	196.05	295.6	178.85		64.92	
Forest land area (ha)	180.74	61.10	179.00	61.00	122.10	61.00	114.00	204.7	71.07		-	
Natural forest (ha)	112.00	21.30	179.00	57.00	95.00	57.00	114.00	102.6	17.34		-	
No. of HH participating in the Major Activities												
Cow raising	-	-	-	-	6	-	6	-	-	-	-	-
Pig raising	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
Mong Cai sow	12	-	12	-	5	-	3	4	4		-	-
Cross hog	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
Fish raising	9	3	-	-	3	9	6	9	1		12	-
Chicken raising	0	9	9	3	3	5	4	4	5		4	-
Biogas	13	5	12	-	0	-	5	0	0		1	-
PE-type	1	2	1	14	0	14	0	1	1		5	-
Vegetable	9	20	11	12	10	12	20	25	11		14	-
Spring-summer season												
Autumn-Winter season	44	44	17	12	27	12	7	26	26		32	-
Fruit tree plantation	47	39	39	33	33	33	26	42	52		29	-
Contour planting	-	-	-	-	-	-	-	-	1		-	-
Improved cookstove	22	41	14	17	17	13	12	15	0		24	-
Mong Pe wine	-	-	1	-	-	-	-	-	-		-	-
Broom	1	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-

Annex 14 Proposed modified PDM

Project title: Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area (SUSFORM-NOW)

Project period: August 2010 – August 2015

Target group: Implementing agency staff and pilot site villagers

Project site: Dien Bien Province

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal: Participatory forest management and livelihood development are promoted in the areas with similar conditions to the additional project pilot sites in Dien Bien Province through the implementation of the Provincial REDD+ Action Plan (PRAP).</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. By 2020, more than XX REDD+ action plans are developed in Dien Bien Province. 2. More than 80% of the targets in the forest management plans defined in the REDD+ action plans are achieved. 3. Cash income of more than 80% of the households is increased by the contribution of the implementation of livelihood development plans defined in the REDD+ action plans. 	<p>Annual reports by DARD</p>	<p>Dien Bien Province and/or central government mobilize adequate funding to further implement the REDD+ action plans in other areas that have similar conditions to the project pilot sites.</p>
<p>Project Purpose: Participatory forest management and livelihood development are promoted (in the project pilot sites) through the implementation of the PRAP.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. By the end of the Project, more than 80% of forest management targets [as defined in the REDD+ action plans] are achieved in the additional project pilot sites. 2. By the end of the Project, more than 80% of the forest management targets [as defined in the participatory forest management plans] are achieved in the initial project pilot sites. 3. By the end of the Project, cash income of more than 80% of the households in the additional project pilot sites is increased through the implementation of [livelihood development plan defined in] the REDD+ action plans. 4. By the end of the Project, cash income of more than 80% of the households of the initial project pilot sites is increased through the implementation of livelihood development plans. 	<p>Project monitoring reports Project completion report</p>	<p>Dien Bien Province and/or central government mobilize adequate funding to further implement the REDD+ action plans. Implementing functions developed through the Project are maintained.</p>

<p>Outputs:</p> <p>1. The effectiveness and feasibility of the REDD+ action plans in the additional project pilot sites are verified.</p>	<p>1.1. By 6th month after the commencement of the Project, participatory forest management and livelihood development plans are agreed between the Project and villagers in the initial project pilot sites.</p> <p>1.2. By the 37th month after the commencement of the Project, the REDD+ action plans in the additional project pilot sites are approved by the local authorities.</p> <p>1.3. By the end of the Project, the effective and feasible REDD+ pilot activity planning and implementation processes are identified.</p> <p>1.4. By the end of the Project, the effective and feasible REDD+ measures for Dien Bien province are identified.</p>	<p>1.1. Monthly reports and participatory forest management and livelihood development plans</p> <p>1.2. Monthly reports, and the REDD+ action plans</p> <p>1.3. Project reports</p> <p>1.4. Project reports</p>	<p>Forestry policies do not change to limit people's participation in forest management activities.</p> <p>Large scale natural disasters do not occur.</p> <p>Economic conditions do not drastically change.</p> <p>Population in and around the pilot sites does not drastically change.</p>
<p>2. Technical and institutional capacities of executing and partner agencies in implementing the PRAP are strengthened.</p>	<p>2.1. By December 2010, the institutional arrangement for the project implementation is endorsed.</p> <p>2.2. By February 2013, the Provincial REDD+ Steering Committee is established.</p> <p>2.3. Understanding of the participants in training programs reaches more than 80 %.</p> <p>2.4. More than 80% of the training participants apply what they have acquired to their daily work.</p>	<p>2.1. Provincial decision on the institutional arrangement</p> <p>2.2. Provincial decisions</p> <p>2.3. M&E report of the training programs</p> <p>2.4. M&E report of the training programs</p>	
<p>3. Necessary plans and technical documents are prepared for the implementation of the provincial REDD+ in Dien Bien Province.</p>	<p>3.1. By the end of the project, technical guidelines for PRAP implementation are compiled.</p> <p>3.2. By the end of the Project, the PRAP is revised as necessary and approved by Dien Bien Province.</p> <p>3.3. At least 5 presentations are made in seminars/workshops to disseminate the project experience.</p>	<p>3.1. Technical guidelines</p> <p>3.2. Endorsed provincial plans</p> <p>3.3. Seminar/workshop reports</p>	

<p>Activities:</p> <p>1-1 Select pilot sites.¹²</p> <p>1-2 Conduct a socio-economic survey.¹³</p> <p>1-3 Clarify and gain stakeholders' agreement on the current status of land use and forest use rights.¹⁴</p> <p>1-4 Mobilize local people for introduction and formalization of pilot activities through consultation meetings.¹⁵</p> <p>1-5 Formulate a REDD+ action plan in each additional pilot site.¹⁶</p> <p>1-6 Implement the REDD+ action plan in each additional pilot site.⁵</p> <p>1-7 Monitor the progress of the pilot activities.¹⁷</p> <p>1-8 Evaluate and analyze the results of the pilot activity.</p> <p>1-9 Share lessons learned with relevant stakeholders.</p> <p>2-1 Identify the roles of the implementing agencies and develop the PRAP implementation structure and annual work plans.</p> <p>2-2 Support the implementing agencies in carrying out the PRAP.</p> <p>2-3 Train technically the implementing agency staff for PRAP implementation.</p> <p>2-4 Evaluate the effectiveness of the implementation structure as well as capacity of the implementing agencies and provide recommendations for improvement.</p> <p>3-1 Review existing guiding documents for participatory forest management and livelihood development.</p> <p>3-2 Review existing government funds and other outside funding sources that can be utilized for the PRAP implementation.</p> <p>3-3 Integrate existing guiding documents, available fund information, and know-how acquired through pilot activities into technical guidelines.</p> <p>3-4 Implement the PRAP and review the results of the REDD+ pilot activities in Dien Bien Province.</p> <p>3-5 Revise the PRAP for Dien Bien Province as necessary.</p> <p>3-6 Formulate and submit recommendations to central government and related agencies.</p>	<p>Inputs:</p> <p>(1) Japanese side:</p> <p>Japanese Experts (long-term)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Chief Advisor/REDD+ planning and implementation structure • Administrative Coordinator • Other long-term experts, if necessary <p>Japanese Experts (short-term)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Measurement, Reporting and Verification (MRV) system • GIS database development and maintenance • Other short-term experts, if necessary <p>Machinery and equipment</p> <ul style="list-style-type: none"> • As necessary <p>Training</p> <ul style="list-style-type: none"> • Training in Japan or third country <p>Project budget</p> <p>(2) Vietnamese side:</p> <p>Counterpart staff</p> <ul style="list-style-type: none"> • Project Director • Vice Project Director • Project Manager • Other technical and administrative personnel <p>Facility, machinery, and equipment</p> <ul style="list-style-type: none"> • Project office, meeting room, necessary machinery and equipment <p>Project counterpart budget</p>	<p>Government's policies on forest land do not drastically change so that the preparation of the REDD+ action plans is done as scheduled.</p> <p>Those who participated in the training programs continue to be involved in the Project.</p> <p>Pre-conditions:</p> <p>Local governments including C/DPCs and W/CPCs agree to participate in the Project.</p> <p>PPC will submit a request to central government to allocate annual counterpart budget for the Project.</p>
--	---	--

¹² "Pilot sites" consist of (1) the initial pilot sites (seven pilot sites selected in the first half of the Project and (2) the additional pilot sites (sites selected in the last half of the Project). The additional project pilot sites will be selected (Maong Moua and Maong Phang Communes).

¹³ Socio-economic surveys have been completed for the initial project pilot sites and will be conducted for the additional project pilot sites.

¹⁴ This activity has been completed for the initial project pilot sites and will be implemented in the additional project pilot sites.

¹⁵ Consultation has been completed for the initial project pilot sites and will be conducted for the additional project pilot sites.

¹⁶ Only participatory forest management plans and livelihood development plans will be implemented in the initial project pilot sites. The activities defined in the REDD+ action plans will be implemented in the additional project pilot sites.

¹⁷ "Pilot activities" mean the activities conducted according to the respective plans of the initial project pilot sites and the additional project pilot sites.

**MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIET NAM
ON
THE PROJECT FOR SUSTAINABLE FOREST MANAGEMENT
IN THE NORTHWEST WATERSHED AREA
OF THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIET NAM**

The Japanese Mid-Term Review Team (hereinafter referred to as “the Team”) organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”), headed by Mr. Hiroki Miyazono, Senior Advisor, JICA, had a series of discussions with authorities concerned of the Socialist Republic of Viet Nam for the purpose of the Mid-Term Review to consider the future direction of the technical cooperation project concerning “The Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area of the Socialist Republic of Viet Nam” (hereinafter referred to as “SUSFORM-NOW”).

As a result of discussions, the Japanese side and the Vietnamese side have agreed with the matters referred to in the document attached hereto.

Ha Noi, 30 January 2013

Mr. Hiroki Miyazono
Leader, The Mid-Term Review Team
Senior Advisor
Japan International Cooperation Agency
Japan

Dr. Nguyen Ba Ngai
Deputy Director General
Viet Nam Administration of Forestry
Viet Nam

Mr. Hoang Van Nhan
Vice Chairman
Dien Bien Provincial People's Committee
Viet Nam

ATTACHED DOCUMENT

I. BACKGROUND OF THE MID-TERM REVIEW

The Socialist Republic of Viet Nam has been making efforts to increase forest area as well as to uplift rural peoples' livelihoods through implementation of the "Decision by the Prime Minister on Objectives, Tasks, Policies and Organization for the Establishment of Five Million Hectares of New Forest (661 Program)" since 1998 and the Forest Development Strategy (2006-2020) developed by the Ministry of Agriculture and Rural Development (MARD). As a result of these initiatives, the country's forest cover, which once declined to as low as 28% in 1995, recovered to 39.7% in 2011. However, forest degradation is still continuing especially in the northwest region due to fuel wood collection, slash-and-burn cultivation, and conversion to farmland, associated with the high poverty ratio.

In order to address these issues and constraints, the Viet Nam Administration of Forestry (VNFOREST) of MARD requested the Government of Japan a technical cooperation project that aimed at sustainable forest management in Dien Bien Province. Responding to the request, JICA started "the Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area (SUSFORM-NOW)" from August 2010 with the planned period of five years.

Since its inception, SUSFORM-NOW has reached at its middle point and the Mid-Term Review was conducted in accordance with the Article V, JOINT EVALUATION, of the Record of Discussions (R/D) of SUSFORM-NOW which was signed and exchanged between JICA and the authorities concerned of the Socialist Republic of Viet Nam on 28 May 2010.

II. THE PURPOSES OF THE MID-TERM REVIEW

There are two main purposes of the Mid-Term Review as follows.

1. Review of the SUSFORM-NOW activities

The first purpose of the Mid-Term Review is to objectively evaluate the level of the achievements of SUSFORM-NOW and to identify the reasons behind it. Based on the results of the evaluation, the review is to give suggestions and recommendations to the concerned organizations with the aim of providing lessons learnt which will be useful for the future direction of SUSFORM-NOW and also for similar projects.

2. Integration of the outputs of the Dien Bien REDD+ Pilot Project to SUSFORM-NOW

The second purpose of the Mid-Term Review is to integrate the outputs of the Dien Bien REDD+ Pilot Project to SUSFORM-NOW. The Dien Bien REDD+ Pilot Project started on April 2012 with the aim of Viet Nam to strengthen its capacity on integrating REDD+ into the development of the forestry sector. Dien Bien Province was selected as the pilot province after considering various aspects, such as, i) potential of REDD+ implementation, ii) coordination effort to distribute donor supports into different regions, and iii) JICA's advantage of implementing SUSFORM-NOW in the same province.

In that context, as described in the Minutes of Meetings dated 1 February 2012, it was agreed among the VNFOREST, Dien Bien Province and JICA that the outputs of the Dien Bien REDD+ Pilot Project should be integrated into SUSFORM-NOW after the termination of the Dien Bien REDD+ Pilot Project in September 2013. In the same Minutes of Meetings, it was also agreed that, for the purpose of integration, necessary modifications to the framework of SUSFORM-NOW be made at the time of the Mid-Term Review.

III. RESULTS OF THE MID-TERM REVIEW

1. Joint Evaluation Report

The result of the Mid-Term Review, which includes review of SUSFORM-NOW activities, conclusions and recommendations, was compiled as the Joint Evaluation Report jointly signed by Mr. Hiroki Miyazono, Leader of the Japanese Mid-Term Review Team, and Mr. Lo Quang Chieu, Leader of the Vietnamese Mid-Term Review Team attached as Appendix 1. The Joint Evaluation Report was submitted to the Joint Coordinating Committee (JCC) of SUSFORM-NOW on 29 January 2013 and JCC approved it.

2. Modification to Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operations (PO) of SUSFORM-NOW

Based on the result of the Mid-Term Review and with the aim of integration of the outputs of the Dien Bien REDD+ Pilot Project to SUSFORM-NOW, the authorities concerned of the Socialist Republic of Viet Nam and JICA had a series of discussions to modify PDM and PO of SUSFORM-NOW and agreed the revised PDM and PO attached as Appendix 2 and 3 respectively. Both side also agreed that the revised PDM and PO will be effective from 1 February 2013.

IV. OTHER IMPORTANT MATTERS

1. Contribution to the promotion of the National REDD+ Action Program (NRAP)

In an effort to accelerate the implementation of REDD+, the Socialist Republic of Viet Nam issued the Prime Minister's Decision No. 799/QĐ-TTg, dated 27 June 2012, the National REDD+ Action Program (NRAP). The NRAP indicates necessary steps to be taken by the government and relevant stakeholders from 2012 to 2020 by applying phased-approach. SUSFORM-NOW is expected to contribute to the promotion of NRAP through the implementation of the Dien Bien Provincial REDD+ Action Plan (PRAP) and pilot activities on the ground.

2. Official nomination of Dien Bien Province as one of the pilot provinces under the NRAP

According to the NRAP, at least eight (8) provinces will be selected as pilots. Dien Bien Province is the first province in the country that initiated the development of the PRAP. From that viewpoint, JICA and Dien Bien Province requested MARD to consider the nomination of Dien Bien Province as one of the pilot provinces under the NRAP in order to share its experiences with other potential pilot provinces.

3. Strengthening the project structure

In order to secure the smooth and effective implementation of SUSFORM-NOW, it is necessary to strengthen the implementation structure of SUSFORM-NOW. In particular, an active involvement of VNFOREST including Department of Science, Technology and International Cooperation (DOSTIC) and Viet Nam REDD+ Office (VRO) is inevitable. For the sake of such a purpose, it is expected that the implementation structure of SUSFORM-NOW attached as Appendix 4 will be established and the staff of DOSTIC/VRO will be allocated as the focal point of VNFOREST as soon as possible. The JCC approved the proposed revised composition of the JCC for VNFOREST to be Co-Chairperson as Appendix 5, and JICA and Dien Bien Province requested MARD to nominate VNFOREST as the Co-Chairperson of the JCC.

4. Effective utilization of data produced by “the JICA REDD+ Study”

The JICA REDD+ Study which was implemented from September 2009 to March 2012, in collaboration with VNFOREST and Forest Inventory and Planning Institute (FIPI), has produced various sets of nation-wide data that can be widely utilized for REDD+ in Viet Nam, as well as the forestry sector in general. These include data sets such as the revised forest maps (1990, 1995, 2000, 2005 and 2010), forest change maps, AR-CDM maps, digitization of key National Forest Inventory (NFI) data, and so on. It was agreed in the meeting (June 2012) among VNFOREST, FIPI, Finland Embassy, Development of Management Information System for Forestry Sector (FORMIS) Project and JICA, that these data sets shall be made accessible as soon as possible, to the concerned

plan

Dien Bien
 P. S. S. S.

stakeholders, through the FORMIS portal (and also through other possible means). As the data sharing mechanism is not yet in place, VNFOREST is requested to accelerate this process by providing necessary instructions to the concerned parties.

5. Improvement of the working environment

In order to secure the smooth implementation of SUSFORM-NOW, there is a need to improve the working environment, such as full disbursement of counterpart (C/P) budget committed by Provincial People's Committee (PPC), allocation of fulltime C/P staff, provision of appropriate project office space and drivers.

Appendix 1: JOINT EVALUATION REPORT

Appendix 2: REVISED PDM

Appendix 3: REVISED PO

Appendix 4: PROJECT IMPLEMENTATION STRUCTURE

Appendix 5: PROPOSED REVISED COMPOSITION OF JCC

han

Han
P. Makun

Lu

<p>Outputs:</p> <p>1. The effectiveness and feasibility of the REDD+ action plans in the additional project pilot sites are verified.</p>	<p>1.1. By 6th month after the commencement of the Project, participatory forest management and livelihood development plans are agreed between the Project and villagers in the initial project pilot sites.</p> <p>1.2. By the 37th month after the commencement of the Project, the REDD+ action plans in the additional project pilot sites are approved by the local authorities.</p> <p>1.3. By the end of the Project, the effective and feasible REDD+ pilot activity planning and implementation processes are identified.</p> <p>1.4. By the end of the Project, the effective and feasible REDD+ measures for Dien Bien province are identified.</p>	<p>1.1. Monthly reports and participatory forest management and livelihood development plans</p> <p>1.2. Monthly reports, and the REDD+ action plans</p> <p>1.3. Project reports</p> <p>1.4. Project reports</p>	<p>Forestry policies do not change to limit people's participation in forest management activities.</p> <p>Large scale natural disasters do not occur.</p> <p>Economic conditions do not drastically change.</p> <p>Population in and around the pilot sites does not drastically change.</p>
<p>2. Technical and institutional capacities of executing and partner agencies in implementing the PRAP are strengthened.</p>	<p>2.1. By December 2010, the institutional arrangement for the project implementation is endorsed.</p> <p>2.2. By February 2013, the Provincial REDD+ Steering Committee is established.</p> <p>2.3. Understanding of the participants in training programs reaches more than 80 %.</p> <p>2.4. More than 80% of the training participants apply what they have acquired to their daily work.</p>	<p>2.1. Provincial decision on the institutional arrangement</p> <p>2.2. Provincial decisions</p> <p>2.3. M&E report of the training programs</p> <p>2.4. M&E report of the training programs</p>	
<p>3. Necessary plans and technical documents are prepared for the implementation of the provincial REDD+ in Dien Bien Province.</p>	<p>3.1. By the end of the project, technical guidelines for PRAP implementation are compiled.</p> <p>3.2. By the end of the Project, the PRAP is revised as necessary and approved by Dien Bien Province.</p> <p>3.3. At least 5 presentations are made in seminars/workshops to disseminate the project experience.</p>	<p>3.1. Technical guidelines</p> <p>3.2. Endorsed provincial plans</p> <p>3.3. Seminar/workshop reports</p>	

Handwritten signature and text:
Ha
 PRAP

<p>Activities:</p> <p>1-1 Select pilot sites.¹</p> <p>1-2 Conduct a socio-economic survey.²</p> <p>1-3 Clarify and gain stakeholders' agreement on the current status of land use and forest use rights.³</p> <p>1-4 Mobilize local people for introduction and formulation of pilot activities through consultation meetings.⁴</p> <p>1-5 Formulate a REDD+ action plan in each additional pilot site.⁵</p> <p>1-6 Implement the REDD+ action plan in each additional pilot site.⁶</p> <p>1-7 Monitor the progress of the pilot activities.⁶</p> <p>1-8 Evaluate and analyze the results of the pilot activity.</p> <p>1-9 Share lessons learned with relevant stakeholders.</p> <p>2-1 Identify the roles of the implementing agencies and develop the PRAP implementation structure and annual work plans.</p> <p>2-2 Support the implementing agencies in carrying out the PRAP.</p> <p>2-3 Train technically the implementing agency staff for PRAP implementation.</p> <p>2-4 Evaluate the effectiveness of the implementation structure as well as capacity of the implementing agencies and provide recommendations for improvement.</p> <p>3-1 Review existing guiding documents for participatory forest management and livelihood development.</p> <p>3-2 Review existing government funds and other outside funding sources that can be utilized for the PRAP implementation.</p> <p>3-3 Integrate existing guiding documents, available fund information, and know-how acquired through pilot activities into technical guidelines.</p> <p>3-4 Implement the PRAP and review the results of the REDD+ pilot activities in Dien Bien Province.</p> <p>3-5 Revise the PRAP for Dien Bien Province as necessary.</p> <p>3-6 Formulate and submit recommendations to central government and related agencies.</p>	<p>Inputs:</p> <p>(1) Japanese side:</p> <p>Japanese Experts (long-term)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Chief Advisor/REDD+ planning and implementation structure • Administrative Coordinator • Other long-term experts, if necessary <p>Japanese Experts (short-term)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Measurement, Reporting and Verification (MRV) system • GIS database development and maintenance • Other short-term experts, if necessary <p>Machinery and equipment</p> <ul style="list-style-type: none"> • As necessary <p>Training</p> <ul style="list-style-type: none"> • Training in Japan or third country <p>Project budget</p> <p>(2) Vietnamese side:</p> <p>Counterpart staff</p> <ul style="list-style-type: none"> • Project Director • Vice Project Director • Project Manager • Other technical and administrative personnel <p>Facility, machinery, and equipment</p> <ul style="list-style-type: none"> • Project office, meeting room, necessary machinery and equipment <p>Project counterpart budget</p>	<p>Government's policies on forest land do not drastically change so that the preparation of the REDD+ action plans is done as scheduled.</p> <p>Those who participated in the training programs continue to be involved in the Project.</p> <p>Pre-conditions :</p> <p>Local governments including C/DPCs and W/CPCs agree to participate in the Project.</p> <p>PPC will submit a request to central government to allocate annual counterpart budget for the Project.</p>
--	---	---

¹ "Pilot sites" consist of (1) the initial pilot sites (seven pilot sites selected in the first half of the Project) and (2) the additional pilot sites (sites selected in the last half of the Project). The additional project pilot sites will be selected (Muong Moum and Muong Phang Communes).

² Socio-economic surveys have been completed for the initial project pilot sites and will be conducted for the additional project pilot sites.

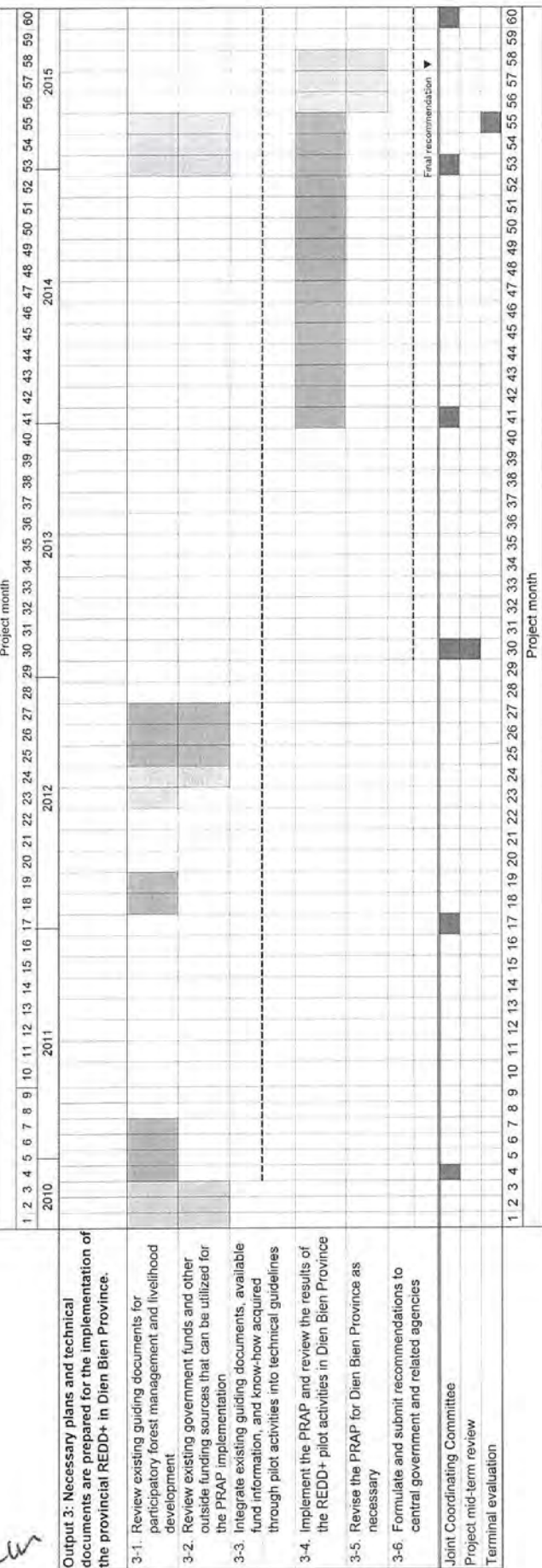
³ This activity has been completed for the initial project pilot sites and will be implemented in the additional project pilot sites.

⁴ Consultation has been completed for the initial project pilot sites and will be conducted for the additional project pilot sites.

⁵ Only participatory forest management plans and livelihood development plans will be implemented in the initial project pilot sites. The activities defined in the REDD+ action plans will be implemented in the additional project pilot sites.

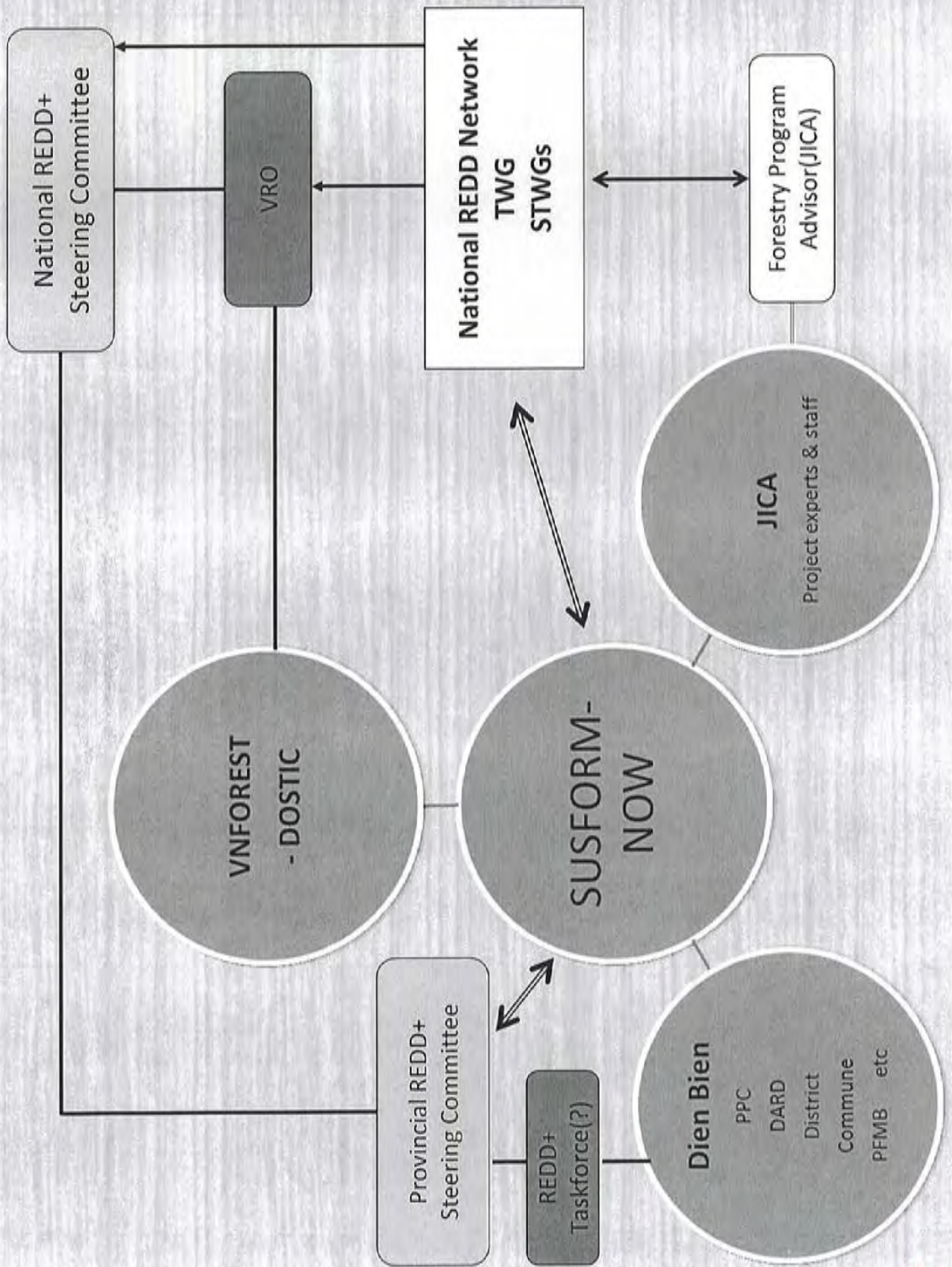
⁶ "Pilot activities" mean the activities conducted according to the respective plans of the initial project pilot sites and the additional project pilot sites.

Handwritten signatures:
 Haa
 P. S. Quia



Idea
Pradua

APPENDIX 4: PROJECT IMPLEMENTATION STRUCTURE



Handwritten mark

Handwritten signature: Iben
Handwritten signature: P. Adina

APPENDIX 5 : PROPOSED REVISED COMPOSITION OF JCC

1. Function

The Joint Coordinating Committee (JCC) will meet at least once a year or whenever necessity arises and will work:

- (1) To review and approve the Project Design Matrix (PDM);
- (2) To monitor the progress of the project activities according to the Plan of Operation (PO);
- (3) To approve an Annual Plan of Operation (APO); and
- (4) To discuss and advise on major issues that arise during the project period.

2. Member of the Committee

The JCC will be composed of its chairperson, co-chairperson, vice chairperson, and members. The JCC will accept the participation of observers; however, the chairperson may call for closed sessions without observers when the need arises. The rules and regulations for the management of the JCC will be formulated at the initial stage of the Project.

(1) Chairperson

- Vice Chairperson of People's Committee of Dien Bien Province

(2) Co-chairperson

- Vietnam Administration of Forestry (VNFOREST)

(3) Vice Chairperson

- Director of Department of Agriculture and Rural Development (DARD)

(4) Vietnamese members

- Department of Natural Resources and Environment (DONRE)
- Department of Planning an Investment (DPI)
- Department of Finance (DOF)
- Department of Science and Technology (DOSTE)
- City/District People's Committees of the pilot sites

(5) Japanese members

- Chief Advisor of the Project
- Other experts appointed by Chief Advisor of the Project
- Chief Representative of JICA Viet Nam Office or other staff appointed by JICA Viet Nam

HL

*1/2004
P. N. N. N.*

Office

- Personnel dispatched by JICA

Note: Official(s) of the Embassy of Japan may attend the Joint Coordinating Committee meeting as observer(s). The JCC Chairperson can add new members upon the agreement of the JCC.

Ken

Iken
P. 118

